

第2章 障がい者調査結果の詳細

◆横軸と縦軸の説明

重要度（横軸）：①～②⑩の項目について、重要である（100点）・重要でない（0点）とした場合の平均点

満足度（縦軸）：①～②⑩の項目について、満足（100点）・ふつう（50点）・不満（0点）とした場合の平均点

◆各項目の位置付け

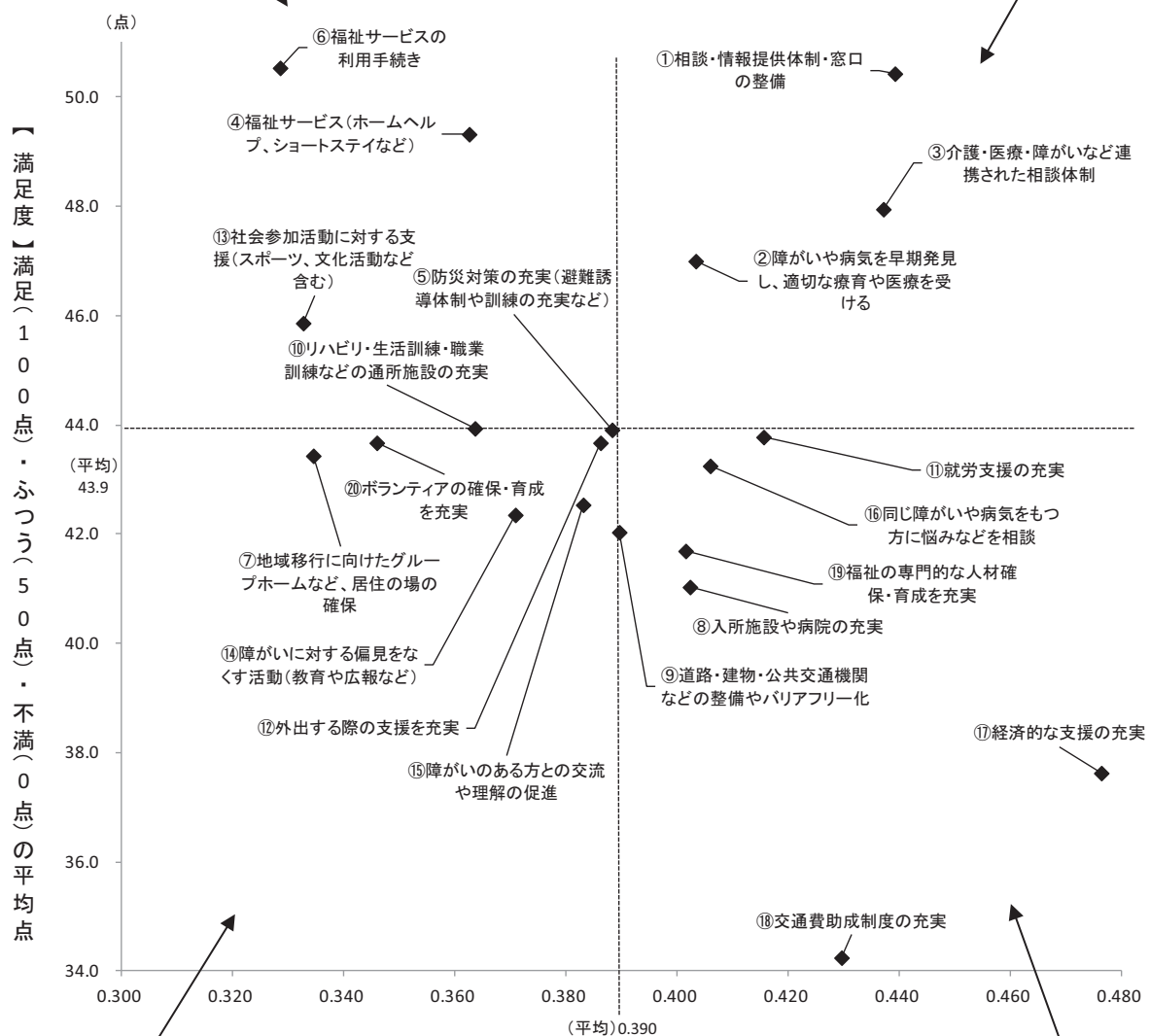
	重要度（横軸）	満足度（縦軸）
①相談・情報提供体制・窓口の整備	95.1	50.4
②障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける	95.3	47.0
③介護・医療・障がいなど連携された相談体制	94.5	47.9
④福祉サービス（ホームヘルプ、ショートステイなど）	87.4	49.3
⑤防災対策の充実（避難誘導體制や訓練の充実など）	89.1	43.9
⑥福祉サービスの利用手続き	89.1	50.5
⑦地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保	86.2	43.4
⑧入所施設や病院の充実	93.3	41.0
⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化	89.2	42.0
⑩リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実	88.5	43.9
⑪就労支援の充実	88.0	43.8
⑫外出する際の支援を充実	80.1	43.7
⑬社会参加活動に対する支援（スポーツ、文化活動など含む）	69.5	45.9
⑭障がいに対する偏見をなくす活動（教育や広報など）	87.0	42.4
⑮障がいのある方との交流や理解の促進	79.0	42.5
⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談	78.5	43.2
⑰経済的な支援の充実	94.8	37.6
⑱交通費助成制度の充実	93.6	34.3
⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実	90.3	41.7
⑳ボランティアの確保・育成を充実	80.9	43.7

◎江別市の「暮らしやすさ」と江別市の取り組みの「満足度」の関係

「⑧入所施設や病院の充実」「⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化」「⑪就労支援の充実」「⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談」「⑰経済的な支援の充実」「⑱交通費助成制度の充実」「⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実」は、＜【D】「暮らしやすさ」との関係性が強く、「満足度」が低い項目＞の象限に位置しています。そのため、今後はこれらの取り組みを充実させることで、“障がいのある方にとって暮らしやすいまち”という評価につながると推測できます。

【B】「暮らしやすさ」との関係性が弱く、「満足度」が高い項目

【A】「暮らしやすさ」との関係性が強く、「満足度」も高い項目



【相関係数】江別市の取り組みの満足度×江別市の暮らしやすさから算出した係数
暮らしやすい(100点)・ふつう(50点)・暮らしにくい(0点)

【C】「暮らしやすさ」との関係性が弱く、「満足度」も低い項目

【D】「暮らしやすさ」との関係性が強く、「満足度」が低い項目

第2章 障がい者調査結果の詳細

◆横軸と縦軸の説明

相関係数（横軸）：①～⑳の満足度と江別市の暮らしやすさで暮らしやすい（100点）、ふつう（50点）、暮らしにくい（0点）とした場合の相関係数＜関係性の強さ＞

《相関係数の数値の意味》

0.0～0.2	(ほぼ)相関がない
0.2～0.4	弱い相関がある
0.4～0.7	相関がある
0.7～0.9	強い相関がある
0.9～1.0	(ほぼ)完全な相関がある

満足度（縦軸）：①～⑳の項目について、満足（100点）・ふつう（50点）・不満（0点）とした場合の平均点

◆各項目の位置付け

	相関係数(横軸)	満足度(縦軸)
①相談・情報提供体制・窓口の整備	0.439	50.4
②障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける	0.403	47.0
③介護・医療・障がいなど連携された相談体制	0.437	47.9
④福祉サービス(ホームヘルプ、ショートステイなど)	0.363	49.3
⑤防災対策の充実(避難誘導体制や訓練の充実など)	0.388	43.9
⑥福祉サービスの利用手続き	0.329	50.5
⑦地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保	0.335	43.4
⑧入所施設や病院の充実	0.402	41.0
⑨道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化	0.390	42.0
⑩リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実	0.364	43.9
⑪就労支援の充実	0.416	43.8
⑫外出する際の支援を充実	0.386	43.7
⑬社会参加活動に対する支援(スポーツ、文化活動など含む)	0.333	45.9
⑭障がいに対する偏見をなくす活動(教育や広報など)	0.371	42.4
⑮障がいのある方との交流や理解の促進	0.383	42.5
⑯同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談	0.406	43.2
⑰経済的な支援の充実	0.477	37.6
⑱交通費助成制度の充実	0.430	34.3
⑲福祉の専門的な人材確保・育成を充実	0.402	41.7
⑳ボランティアの確保・育成を充実	0.346	43.7

18. 自由記載

問17 今後の障がい福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を自由にお書きください。

今後の障がい福祉施策や障害福祉サービスについては、433人の方から615件のご意見・ご要望をいただきました。以下、15項目に整理し、各項目の主な意見・要望を抜粋、要約して掲載しました。

項目	件数
サービスに関する意見・要望	130
生活・暮らしに関する意見・要望	67
医療に関する意見・要望	23
障がいへの理解に関する意見・要望	23
差別・偏見に関する意見・要望	8
就労に関する意見・要望	29
今後・将来に関する意見・要望	38
外出に関する意見・要望	68
バリアフリーに関する意見・要望	9
交流の機会に関する意見・要望	17
災害時の対応に関する意見・要望	10
関係機関の連携に関する意見・要望	10
情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望	68
行政の対応に関する意見・要望	18
その他	97
計	615

【サービスに関する意見・要望】

- ・精神障がいの利用できるサービスを増やしてほしい。
- ・江別市内にA型事業所をさらに誘致できたらいいと思います。
- ・タクシーの補助を充実させてほしい。ガソリンチケットとタクシーチケットの選択ができる様にしてほしい。
- ・交通費の助成をもっと考えてほしい。

【生活・暮らしに関する意見・要望】

- ・住宅を見付けるのが大変。単身者が動けなくなるまで自立して一人で暮らせる1DKの公営住宅（2万円～3万円）がほしい。
- ・障がい者で一人暮らしを希望する人に対する支援を充実させてほしい。
- ・経済的に安心していけるような障がい福祉施策の充実をお願いしたいです。

【医療に関する意見・要望】

- ・外出が難しいので病院へ行くのが大変で、訪問してくれる病院を探すのがまた難しい。あっても数が少ない。
- ・病院でも福祉サービスの紹介等をしてけると良い。
- ・高度医療を受ける際には札幌の病院を紹介されたりしますが、通院、入院など往復するだけでもひと仕事です。

【障がいへの理解に関する意見・要望】

- ・障がいの重い、軽いに関係なくまず1人の人間である事を分かってほしい。接し方や話し方、挨拶などで特に差別的に感じる事が多い。
- ・精神障がい者への理解が不足しているように感じる。

【差別・偏見に関する意見・要望】

- ・ヘルプマークの認知度が低いせいか、公共交通機関で優先席に座っていたらにらまれた。
- ・行政等はもっと一般市民と障がい者側のすれ違いや偏見等、また一般人の側が障がい者をうとましく感じてしまう要因を取り去る努力をして欲しいと切に願う。

【就労に関する意見・要望】

- ・江別市には、障がい者を使ってくれる企業が全然無いので生きて行くために、職業を選んでいる余裕は無く、自分の体に無理がかかっても、仕事を続けるしかありません。障がい者にも働ける場所が増えてほしいです。
- ・非正規の仕事ばかりで生活が不安定です。企業へ障がいの説明をしようにも障がい者の中にはコミュニケーションがとりにくい人が多いのでそういった障がい周知を行政から雇用主へして欲しいです。
- ・働けないほど辛い障がいではないが自力で正社員になるのは難しいような、グレーゾーン程度の障がい者に対する支援も行ってほしい。

【今後・将来に関する意見・要望】

- ・将来本人一人になった時の事が不安です。グループホームや入所施設は十分整っているのかいつも心配しています。
- ・先のことが心配です。何をしたら良いのか相談、提案、調整してくれる人がいるといいと思います。

【外出に関する意見・要望】

- ・交通の便がもう少しよくなるとありがたいです。
- ・高齢になり免許証を返納したが、そのあとの不便さが大変です。公共交通機関の充実を。
- ・精神障がいの方にも乗り物の支援をお願いします。家に居るだけでは治らないのです。でも金銭面での余裕もないため、外出する事もできずにいます。

【バリアフリーに関する意見・要望】

- ・車いすで行動できる場所をふやしてほしい。(道幅や道路の幅など)
- ・点字ブロックを、もっと増やしてほしい。
- ・バリアフリーの公営住宅の整備・充実。車道と歩道の段差の解消。除雪の迅速な対応を行ってほしい。
- ・冬は駐車的身障者用スペースマークが見えなくなるから看板等を立ててほしい。

【交流の機会に関する意見・要望】

- ・スポーツや趣味、イベントなど交流・活動できる場が増えること。そのような団体にアクセスしやすくなることを要望します。
- ・自立やリハビリに繋がるような料理、体操教室を公民館で開催してほしい。
- ・私の障がいの特性として、他人（障がいの有無にかかわらず）とコミュニケーションをとることに大変難があり、おしゃべりするのも主にネット上です。気軽にコミュニケーションがとれて、セキュリティのしっかりした交流サイトを市で開設していただけると嬉しいです。

【災害時の対応に関する意見・要望】

- ・災害に向けて、簡易ベッドや洋式トイレ、椅子等が整った障がい者、高齢者向けの避難所を多数準備するのはハードルが高すぎてあまり現実的ではないと思っていますが、自宅避難所に向けての市内の生活情報発信は、もう少し充実してもらえると嬉しいです。
- ・自然災害が多くなっていますが、障がい者の避難所に関しての情報がありません。
- ・知的、精神、発達障がいなどで一人暮らししている方に緊急通報システムの導入をしてほしいです。

【関係機関の連携に関する意見・要望】

- ・病院から手順などの説明などを受けて役所へ行ったり自分からやらなければならない事ばかりで病院と区役所などとの連携が少ない様に感じます。
- ・福祉と医療と教育との連携「児者一貫」情報共有して切れ目なく支援してほしい。

【情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望】

- ・障がいがあっても働いている人が多い。5時以降の相談窓口がほしい。
- ・障がい者が使用できるサービスがどれ位あるのかがまったく分からず困ります。どれ位の障がいの程度ならどれ位のサービスを受けられるのか、わかりやすいパンフレットや市の広報などがあればとても助かるのです。
- ・それぞれのできる事できない事があるので、マッチングサービスの的な物があるとありがたいです。自分で探して選ぶのが探すのが大変な事が多い印象です。
- ・福祉施策やサービスの有無すら今まで情報が入って来ず今回このアンケートにより色々有る事を知りました。出来るならば定期的に広報誌や情報誌を送る等のサービスを期待します。

【行政の対応に関する意見・要望】

- ・市から送られてくる郵便物に、いつも障がい福祉課と記載されているが配慮がなさすぎるのではないかと。健康福祉部だけで良いのではないかと。
- ・窓口の方により親身に相談に乗ってくれる方もいるが事務的で「そういうきまりになっています」と冷たい態度の方もいる。心、体に障がいのある者は普通でもつらい思いをしています。
- ・障がい年金の申請・手続きについての周知が、不親切に感じました。

【その他】

- ・江別の子育てに関する制度は充実している方だと思います。反面、障がい者や高齢者に対する制度は全くと言っていいほど不足を感じます。

第2章 障がい者調査結果の詳細

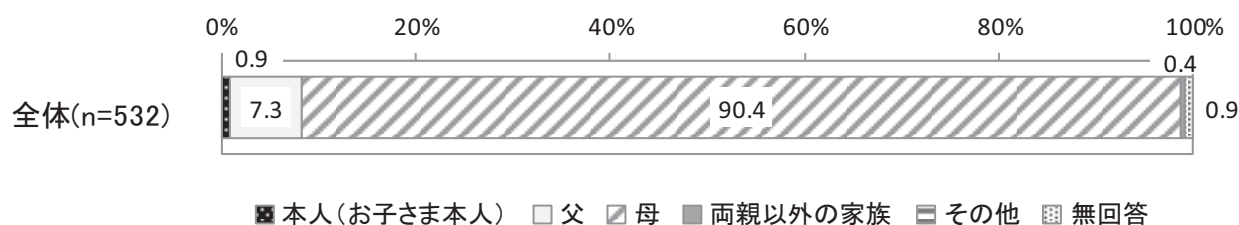
- ・アンケートの内容が難しく、本人が答えられない。ルビを振るほかにも、わかりやすい言葉を用いる、視覚障がい者も見やすい色合いに配慮してほしい。
- ・全ての市民が安心・安全に暮らせる町づくりに取り組んでもらえることを希望します。江別市は暮らしやすい町だと思います。

第3章 障がい児調査結果の詳細

1. 調査票記入者

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。(〇は1つ)

調査票記入者については、「母」が90.4%と最も高く、次いで「父」が7.3%、「本人（お子さま本人）」が0.9%となっています。

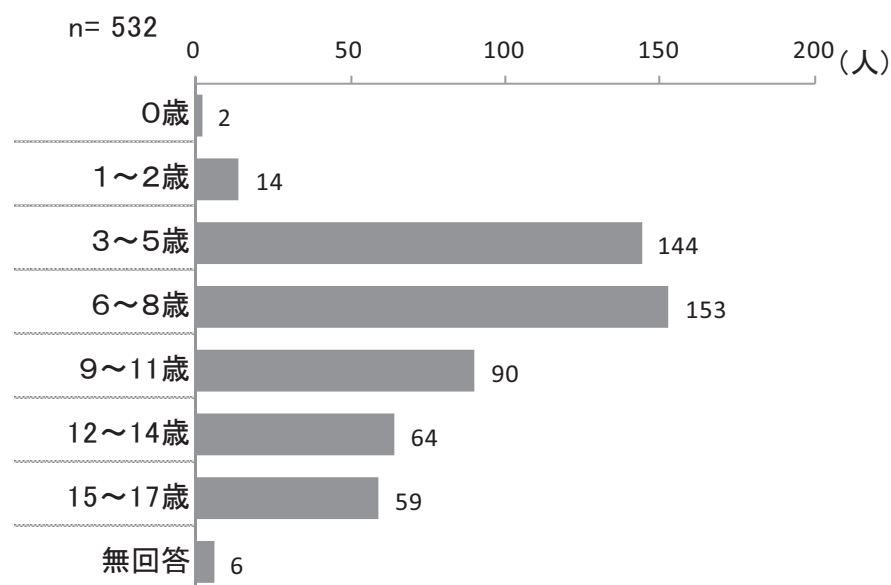


2. 子どものことについて

(1) 子どもの年齢

問1 お子さまの年齢をご記入ください。

子どもの年齢については、「6～8歳」が153人（28.8%）と最も多く、次いで「3～5歳」が144人（27.1%）、「9～11歳」が90人（16.9%）となっています。



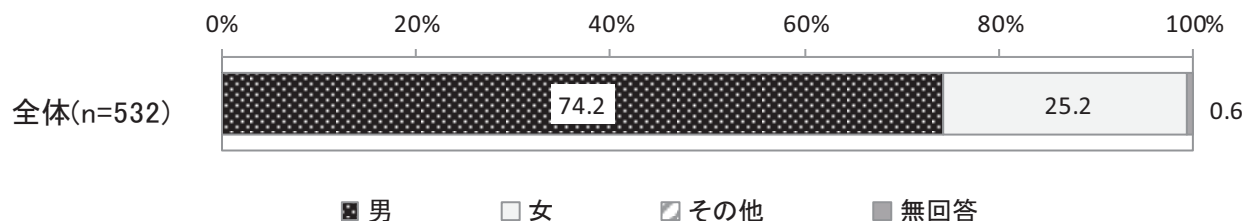
上段: 件 下段: %	n	0歳	1～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12～14歳	15～17歳	無回答
全体	532	2	14	144	153	90	64	59	6
	100.0	0.4	2.6	27.1	28.8	16.9	12.0	11.1	1.1

(2) 子どもの性別

問2 お子さまの性別を教えてください。※1（○は1つ）

※1：戸籍上の区分にこだわらず、選択肢から1つ選んでご記入ください。

子どもの性別については、「男」が74.2%、「女」が25.2%となっています。



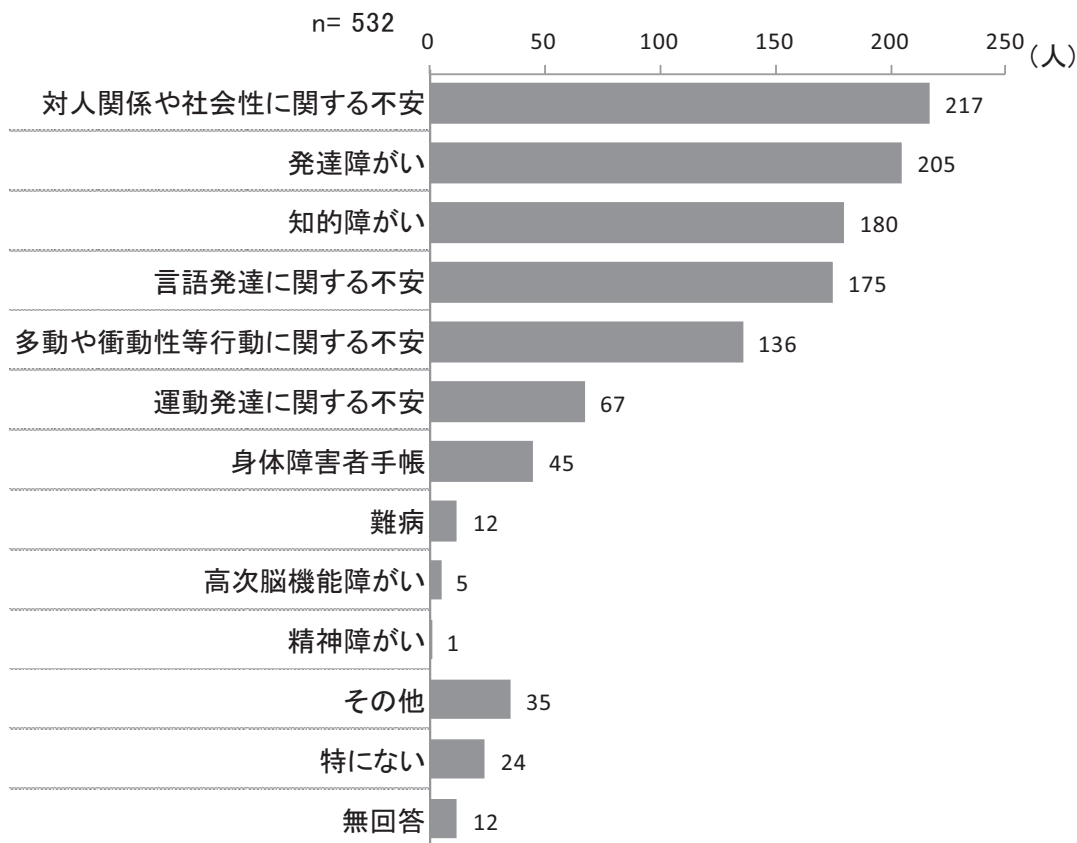
(3) 子どもが所持する手帳や発達の不安

問3 お子さまがお持ちの手帳や発達の不安について教えてください。

（あてはまるものすべてに○をつけ、該当する等級等もご記入・選択してください）

子どもが所持している手帳の種類は、「知的障がい（療育手帳）」が180人（33.8%）、「身体障害者手帳」が45人（8.5%）となっています。

所持手帳以外の発達の不安点では、「対人関係や社会性に関する不安」が217人（40.8%）と最も多く、次いで「発達障がい」205人（38.5%）となっています。



上段:件 下段:%	n	対人関係や社会性に 関する不安	発達障がい	知的障がい	言語発達に関する不安	多動や衝動性等行動に 関する不安	運動発達に関する不安	身体障害者手帳	難病	高次脳機能障がい	精神障がい	その他	特にな い	無回 答
全体	532 100.0	217 40.8	205 38.5	180 33.8	175 32.9	136 25.6	67 12.6	45 8.5	12 2.3	5 0.9	1 0.2	35 6.6	24 4.5	12 2.3

■「その他」の主な内容

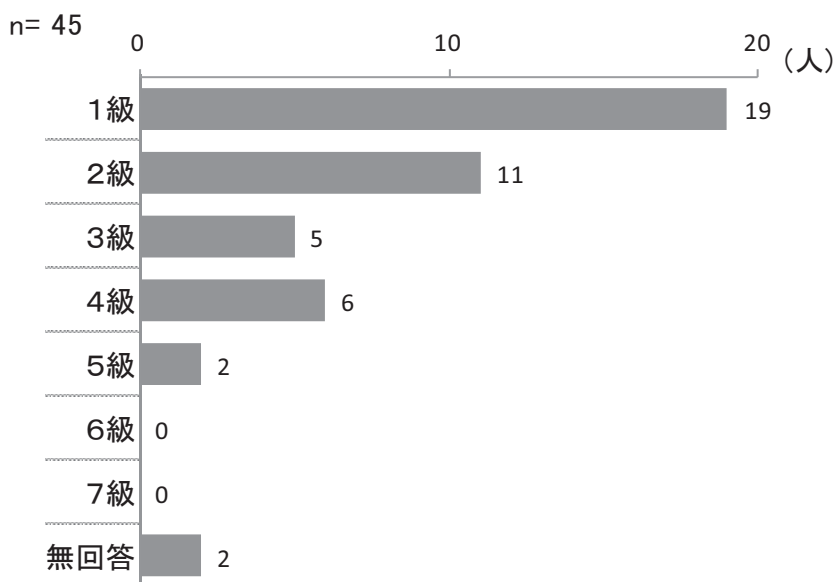
自閉症スペクトラム／てんかん／自立支援医療受給者証 等

【子どもが所持している手帳の種類】

身体障害者手帳の等級は「1級」が19人（42.2%）、「2級」が11人（24.4%）と重度が6割以上と多くなっています。

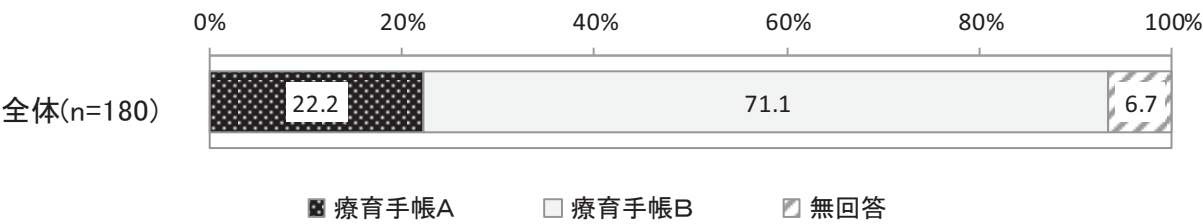
知的障がい（療育手帳）の等級は「A」が40人（22.2%）、「B」が128人（71.1%）となっています。

◎身体障害者手帳の等級



上段:件 下段:%	n	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	無 回 答
全体	45 100.0	19 42.2	11 24.4	5 11.1	6 13.3	2 4.4	— —	— —	2 4.4

◎療育手帳の等級



上段:件 下段:%	n	療育手帳 A	療育手帳 B	無回 答
全体	180	40	128	12
	100.0	22.2	71.1	6.7

◎精神障害者保健福祉手帳の等級

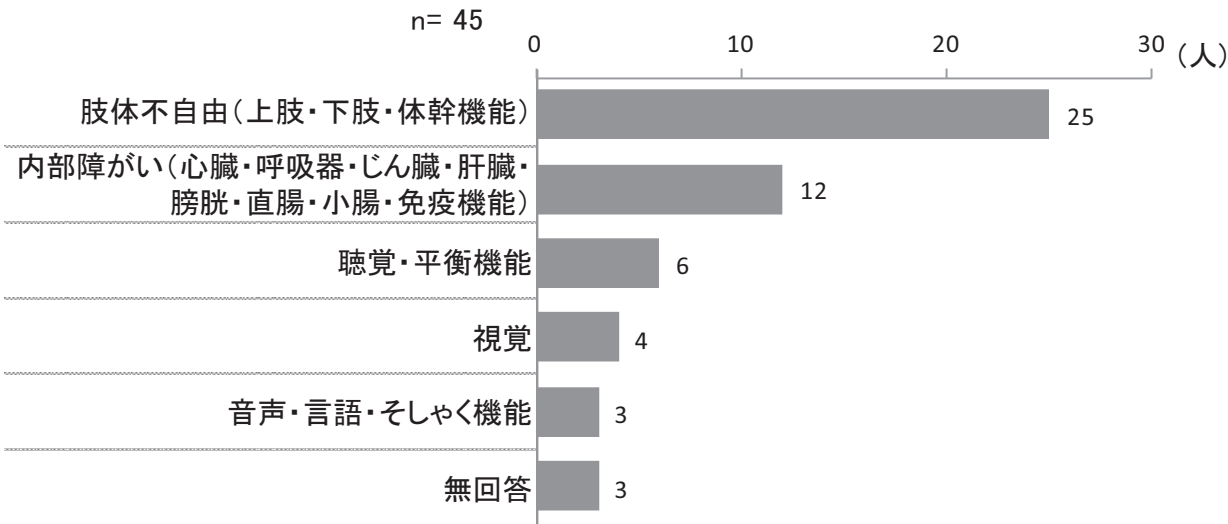
※精神障害者保健福祉手帳を所持しているとの回答が1件ありましたが、等級は無回答です。

(4) 主な障がいの部位

【問3で「身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

問3-1 主な障がいの部位は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

主な障がいの部位については、「肢体不自由(上肢・下肢・体幹機能)」が25人(55.6%)と最も多く、次いで「内部障がい(心臓・呼吸器・じん臓・肝臓・膀胱・直腸・小腸・免疫機能)」が12人(26.7%)、「聴覚・平衡機能」6人(13.3%)となっています。

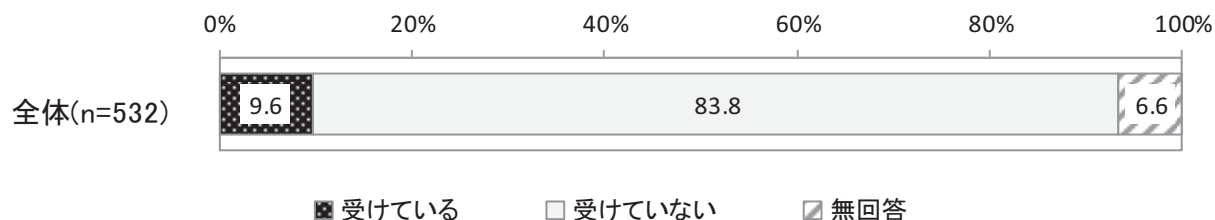


上段:件 下段:%	n	肢体不自由 (上肢・下肢・体幹機能)	内部障がい (心臓・呼吸器・じん臓・肝臓・膀胱・直腸・小腸・免疫機能)	聴覚・平衡機能	視覚	音声・言語・そしゃく機能	無回答
全体	45 100.0	25 55.6	12 26.7	6 13.3	4 8.9	3 6.7	3 6.7

(5) 子どもの日常的な医療的ケアの状況

問4 お子さまは現在、日常的に医療的ケアを受けていますか。(○は1つ)

子どもの日常的な医療的ケアの状況については、医療的ケアを「受けている」が9.6%、「受けていない」が83.8%となっています。



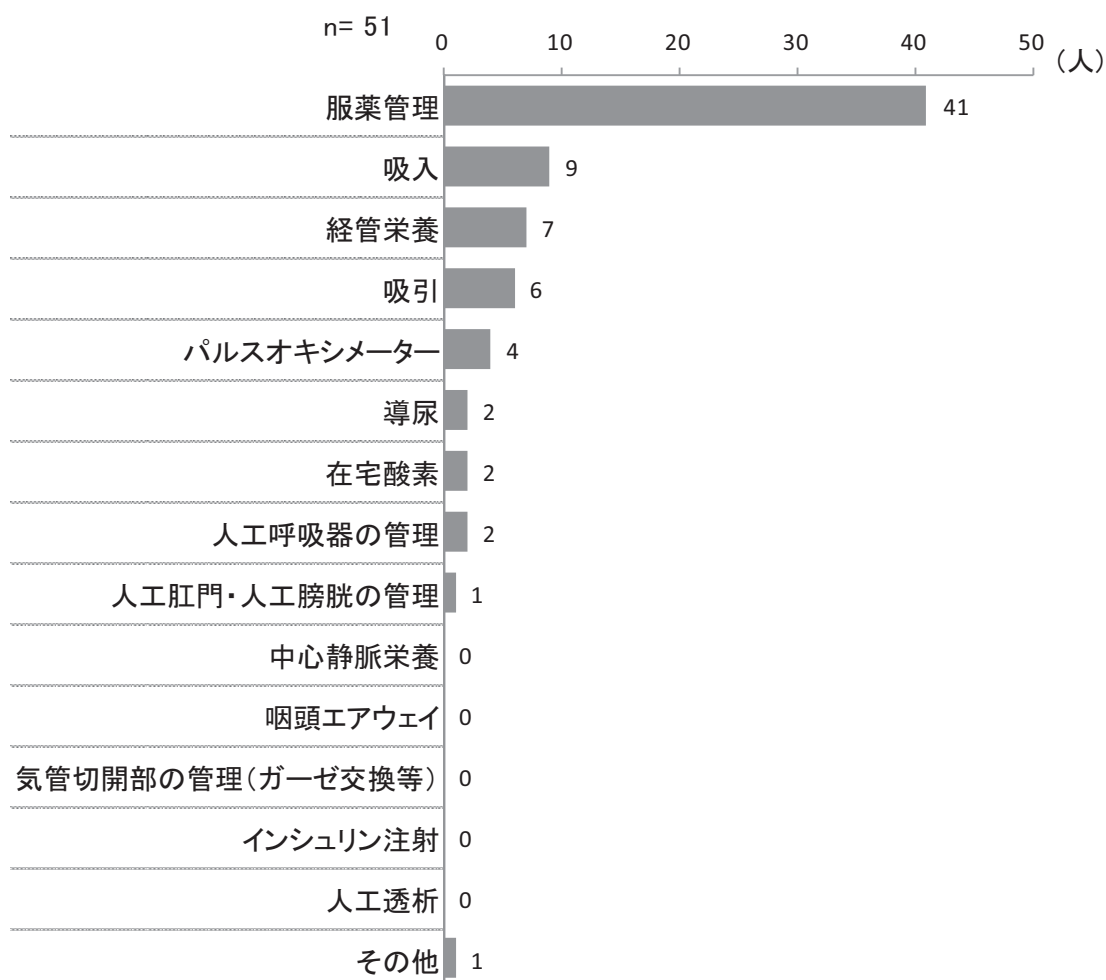
(6) 子どもが現在受けている医療的ケアの種類

【問4で「受けている」と回答した方にお聞きします。】

問4-1 お子さまが現在受けている医療的ケアの種類は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

子どもが現在受けている医療的ケアの種類については、「服薬管理」が41人(80.4%)と最も多く、次いで「吸入」が9人(17.6%)、「経管栄養」が7人(13.7%)となっています。

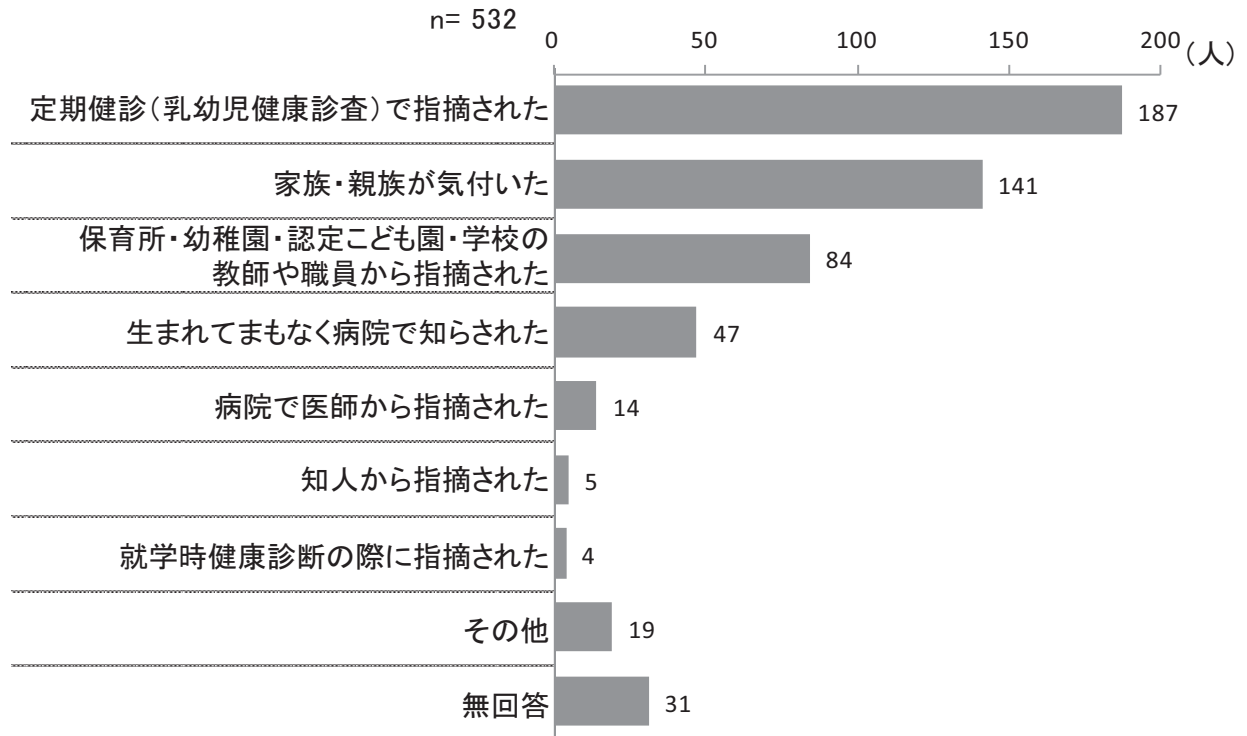


(7) 子どもの発達の不安や障がいに気付いたきっかけ・年齢

問5 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたきっかけは何ですか。また、それはいつ頃ですか。
(○は1つ)

◎発達の不安や障がいに気付いたきっかけ

子どもの発達の不安や障がいに気づいたきっかけについては、「定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された」が187人（35.2%）と最も多く、次いで「家族・親族が気付いた」が141人（26.5%）、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教師や職員から指摘された」が84人（15.8%）となっています。

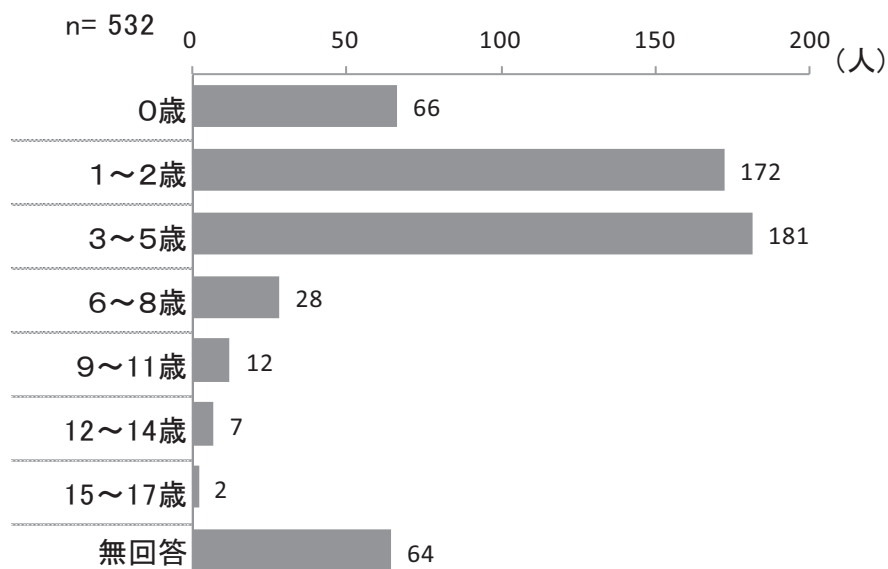


■「その他」の主な内容

生まれる前から／他の子とくらべて／言語の遅れ 等

◎発達の不安や障がいに気付いた時の子どもの年齢

発達の不安や障がいに気付いた時の子どもの年齢については、「3～5歳」が181人（34.0%）と最も多く、次いで「1～2歳」が172人（32.3%）、「0歳」が66人（12.4%）となっています。

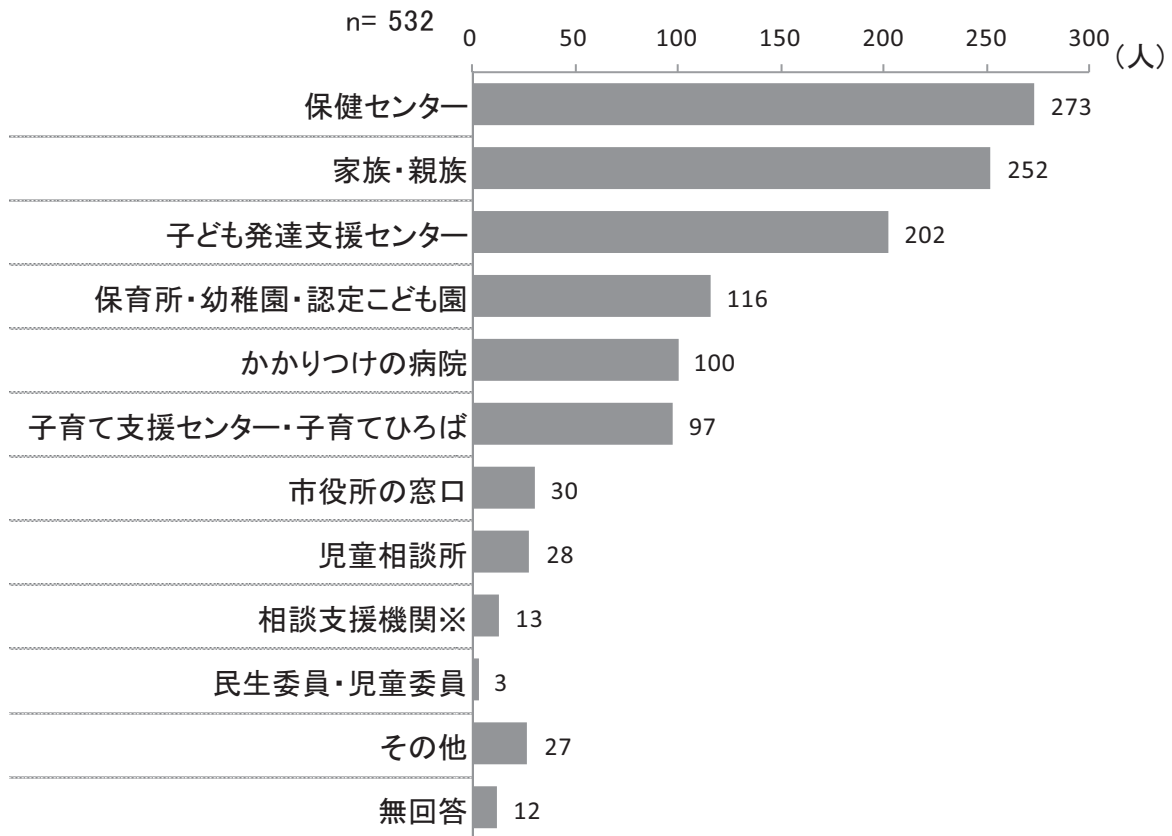


(8) 発達の不安や障がいに気付いたときの相談先

問6 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたとき、誰に（どこに）相談しましたか。
（あてはまるものすべてに○）

※相談支援機関とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

発達の不安や障がいに気付いたときの相談先については、「保健センター」が273人（51.3%）と最も多く、次いで「家族・親族」が252人（47.4%）、「子ども発達支援センター」が202人（38.0%）となっています。



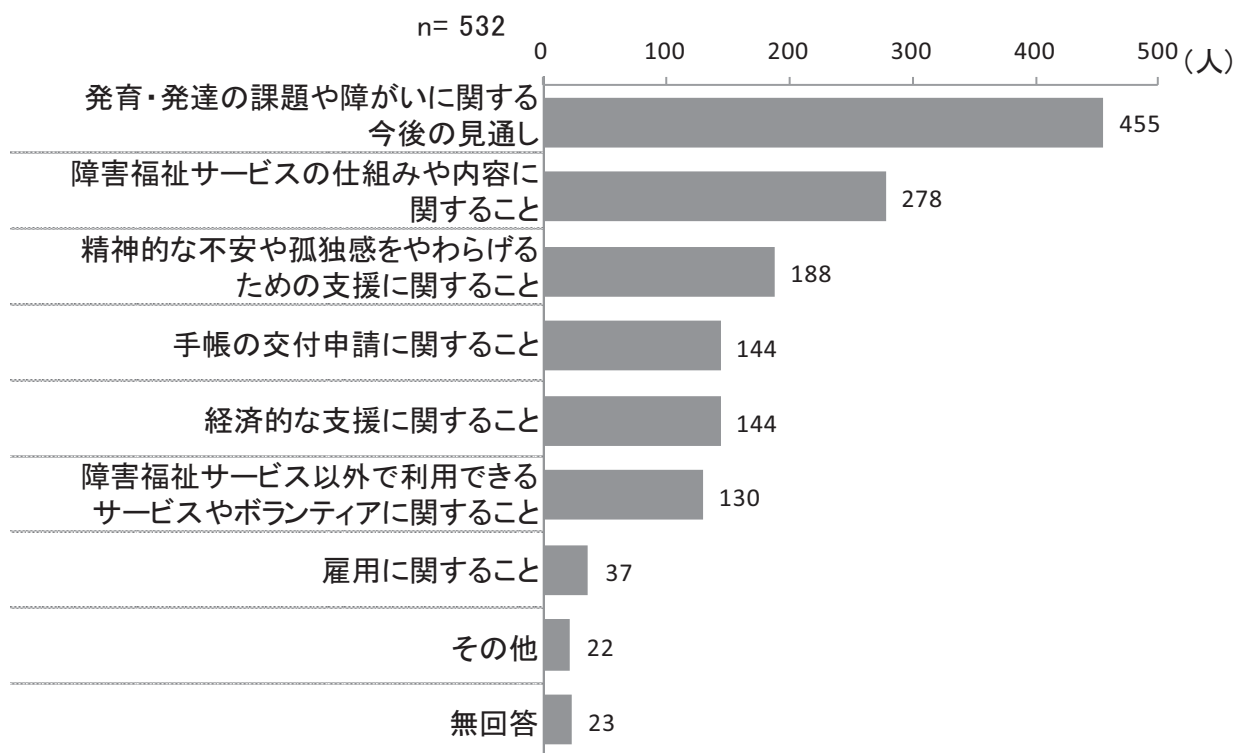
■「その他」の主な内容

学校・教育委員会／友人／助産師／心理士 等

(9) 発達の不安や障がいに気付いたときに、説明してほしかったこと

問7 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。(あてはまるものすべてに○)

発達の不安や障がいに気付いたときに、説明してほしかったことについては、「発育・発達の課題や障がいに関する今後の見通し」が455人(85.5%)と最も多く、次いで「障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること」が278人(52.3%)、「精神的な不安や孤独感をやわらげるための支援に関すること」が188人(35.3%)となっています。



■「その他」の主な内容

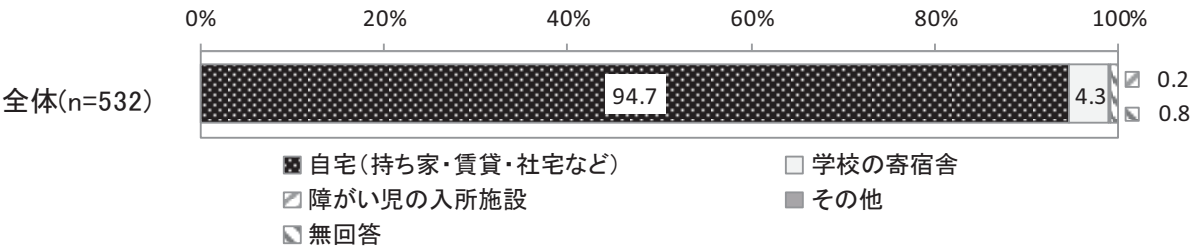
専門的な医療機関の情報／相談サービス（支援機関）／相談機関／患者会の情報／等

3. 子どもの暮らしについて

(1) 現在、子どもが主に暮らしているところ

問8 現在、お子さまが主に暮らしているところは、どこですか。(○は1つ)

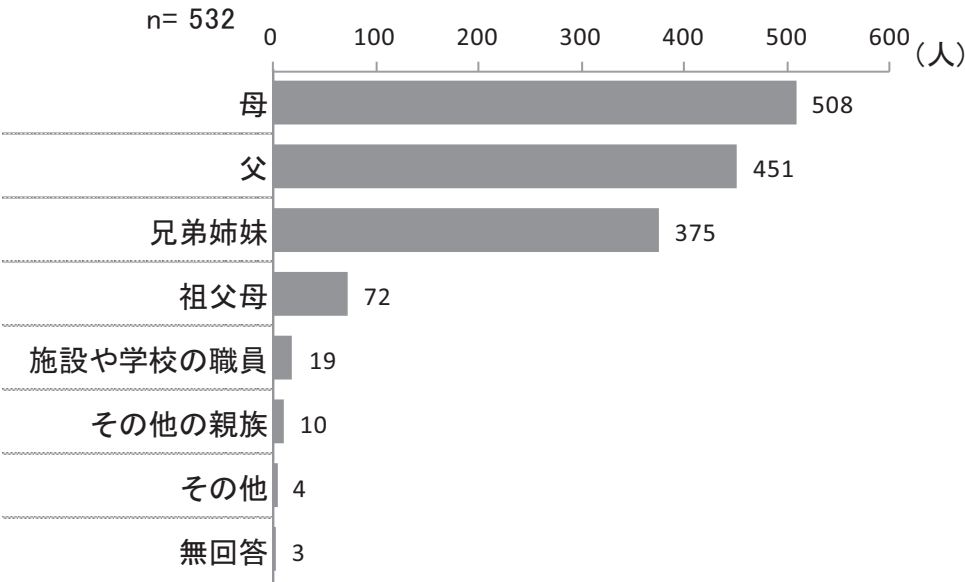
現在、子どもが主に暮らしているところについては、「自宅（持ち家・賃貸・社宅など）」が94.7%と大半を占めています。



(2) 子どもとの同居者

問9 お子さまと一緒に生活されている方は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもと一緒に生活している人は、「母」が508人(95.5%)、「父」が451人(84.8%)、「兄弟姉妹」が375人(70.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

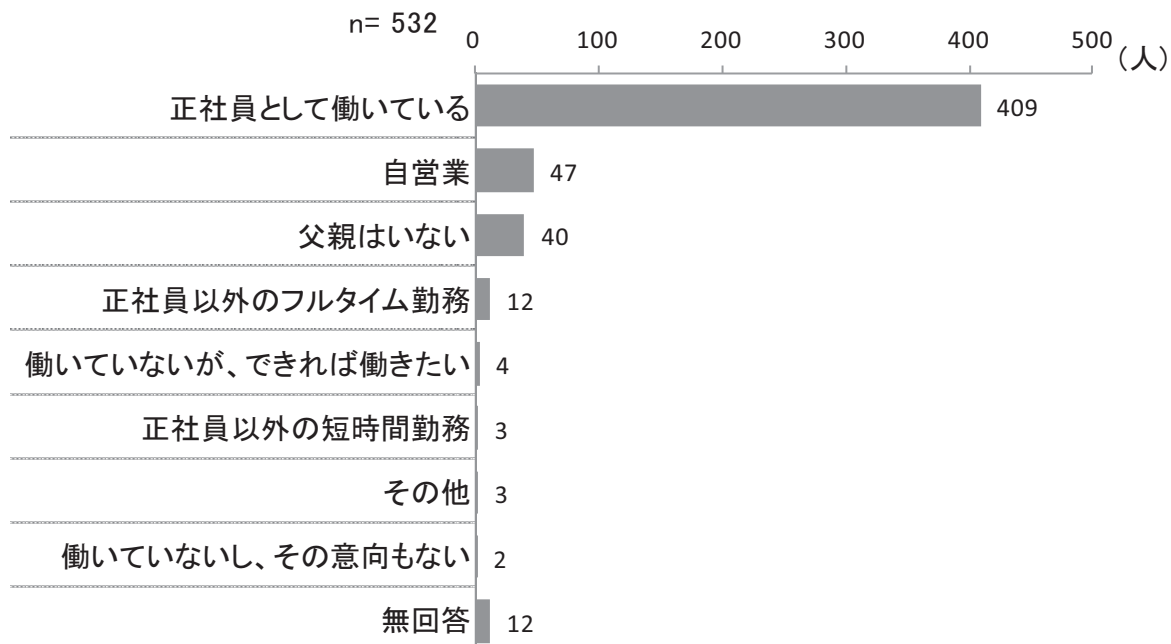
寮母さん 等

(3) 子どもの両親の就労状況

問10 お子さまの父親、母親の就労状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

◎父親の就労状況

父親の就労状況は、「正社員として働いている」が409人(76.9%)、「自営業」が47人(8.8%)となっています。

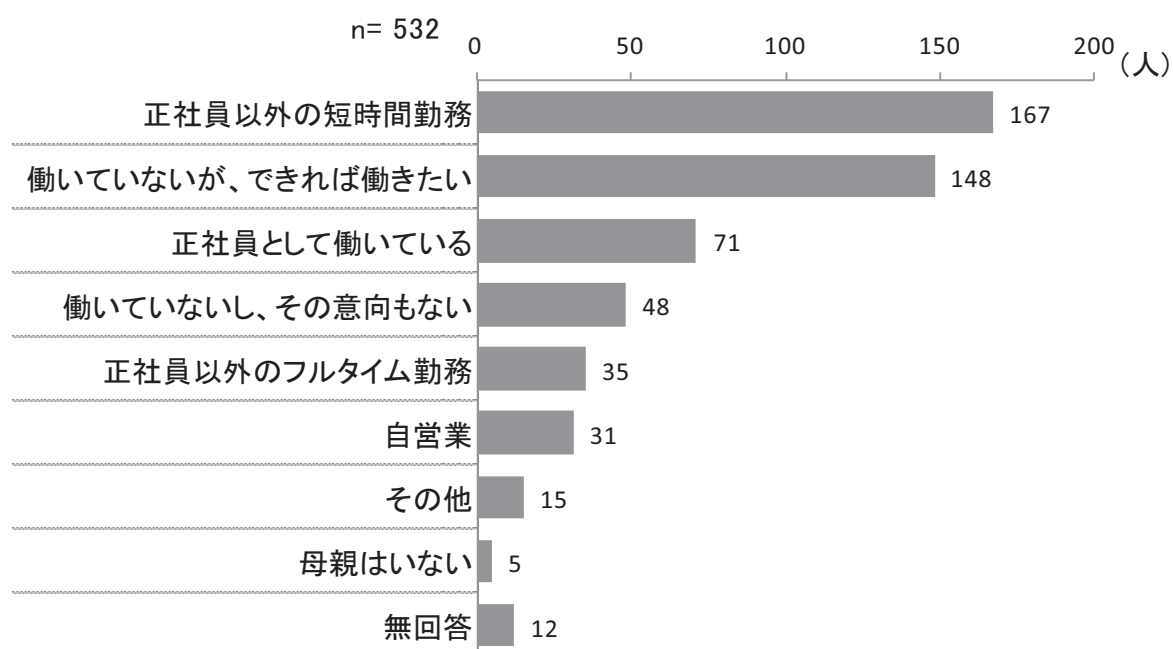


■「その他」の主な内容

病気療養中 等

◎母親の就労状況

母親の就労状況は、「正社員以外の短時間勤務」が167人（31.4%）、「働いていないが、できれば働きたい」が148人（27.8%）、「正社員として働いている」が71人（13.3%）となっています。



■「その他」の主な内容

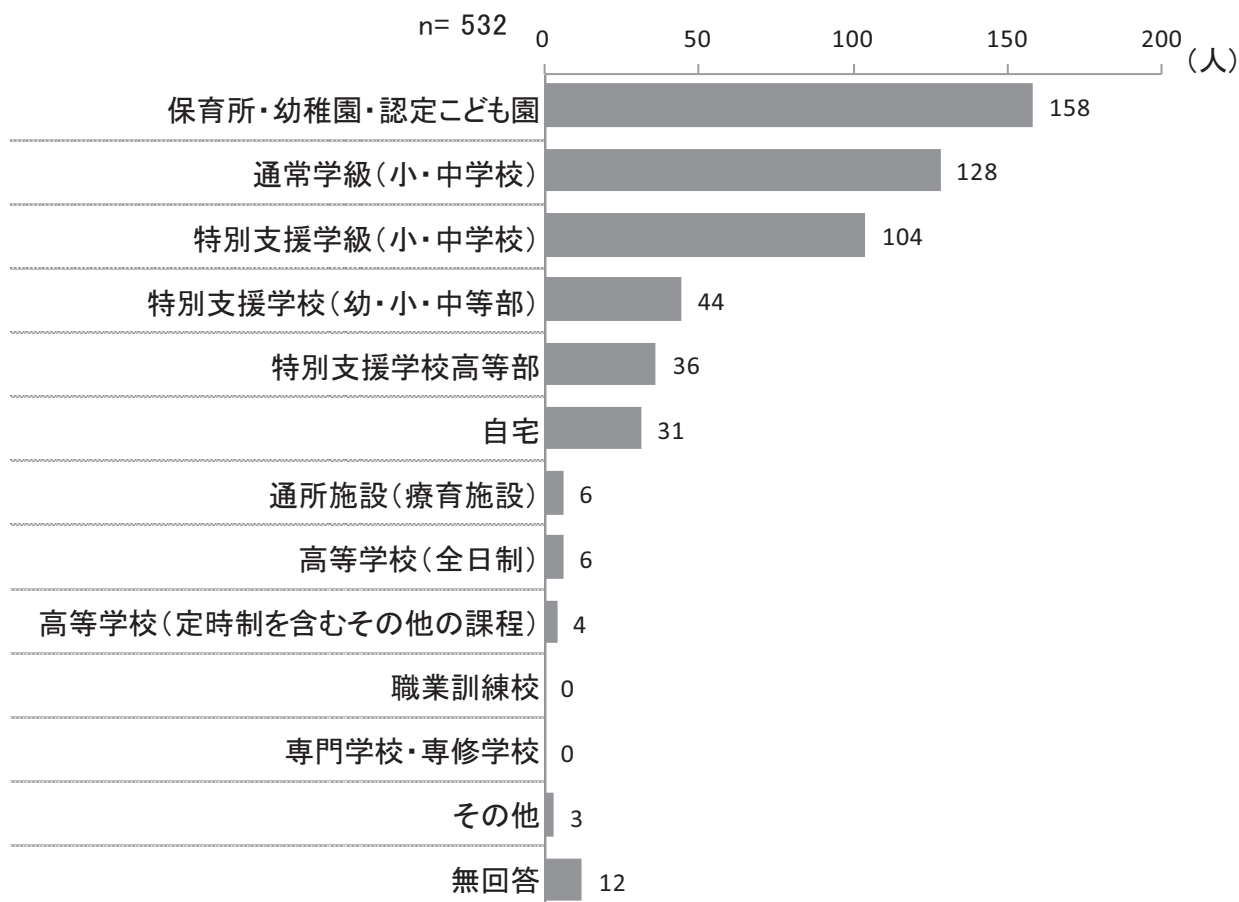
育休中／主婦／休職中／治療中 等

4. 保育や教育について

(1) 子どもが平日の昼間、主に過ごす場所

問11 お子さまは、平日の昼間、主にどこで過ごしていますか。(〇は1つ)

子どもが平日の昼間、主に過ごす場所については、「保育所・幼稚園・認定こども園」が158人 (29.7%)、「通常学級 (小・中学校)」が128人 (24.1%)、「特別支援学級 (小・中学校)」が104人 (19.5%) となっています。



■「その他」の主な内容

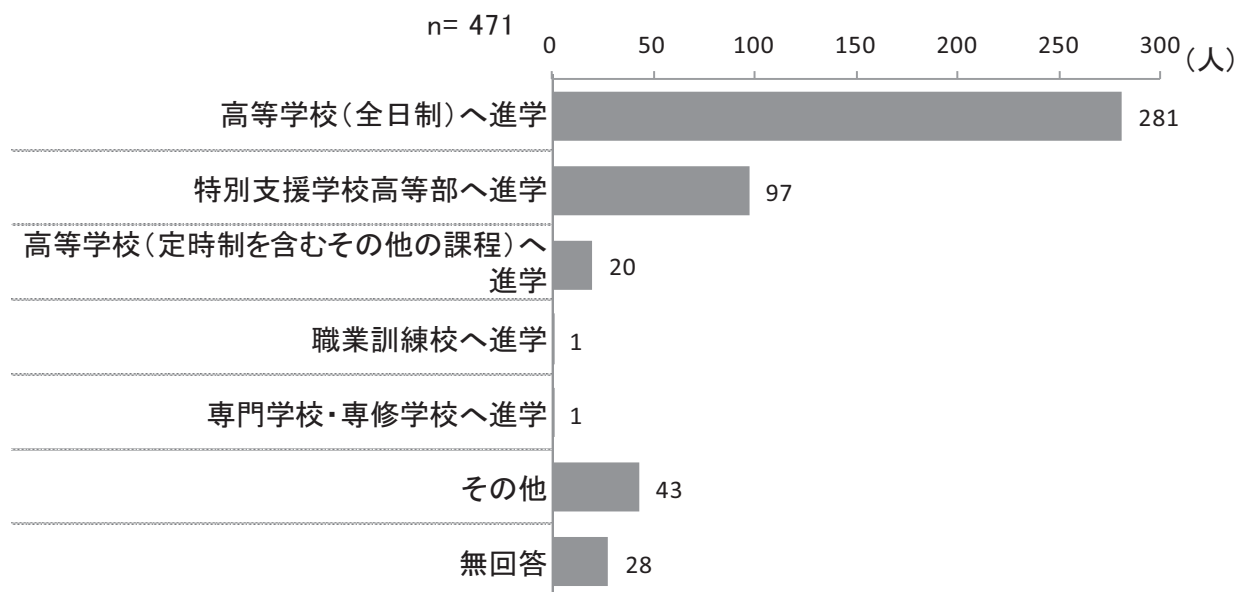
フリースクール／児童デイサービス

(2) 子どもの高等学校期に希望する進路

【問11で「自宅」「保育所・幼稚園・認定こども園」「通所施設（療育施設）」「通常学級（小・中学校）」「特別支援学級（小・中学校）」「特別支援学校（幼・小・中等部）」と回答した方にお聞きします。】

問11-1 お子さまの高等学校期にはどのような進路を希望しますか。（○は1つ）

子どもの高等学校期に希望する進路については、「高等学校（全日制）へ進学」が281人（59.7%）と最も多く、次いで「特別支援学校高等部へ進学」が97人（20.6%）となっています。



■「その他」の主な内容

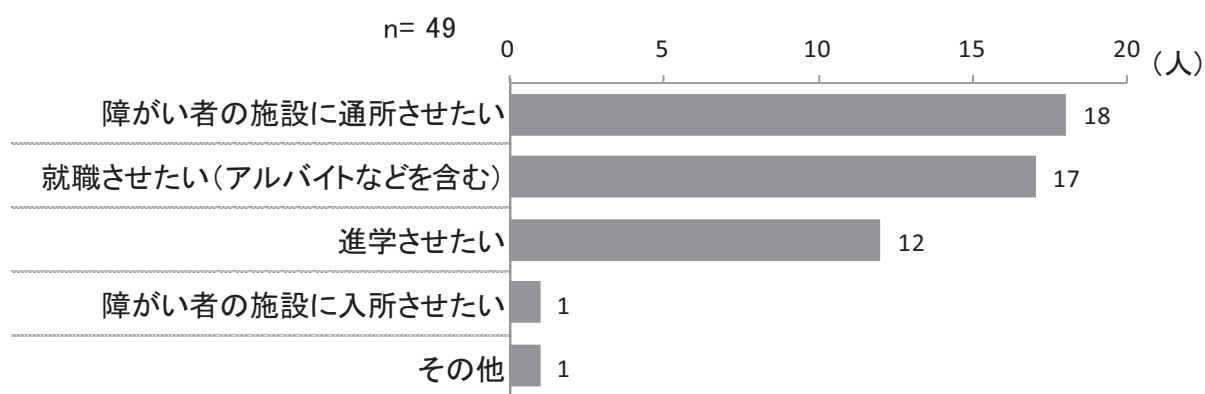
本人の意思を尊重／本人の学力次第／まだわからない、考えていない／行けるところに行ってほしい 等

(3) 子どもの学校等の卒業後に希望する進路

【問11で「高等学校（全日制）」「高等学校（定時制を含むその他の課程）」「特別支援学校高等部」「職業訓練校」「専門学校・専修学校」「その他」と回答した方にお聞きします。】

問11-2 お子さまが現在通っている学校などを卒業した後、どのような進路を希望しますか。
(○は1つ)

子どもが現在通っている学校などを卒業後に希望する進路としては、「障がい者の施設に通所させたい」が18人(36.7%)、「就職させたい(アルバイトなどを含む)」が17人(34.7%)、「進学させたい」が12人(24.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

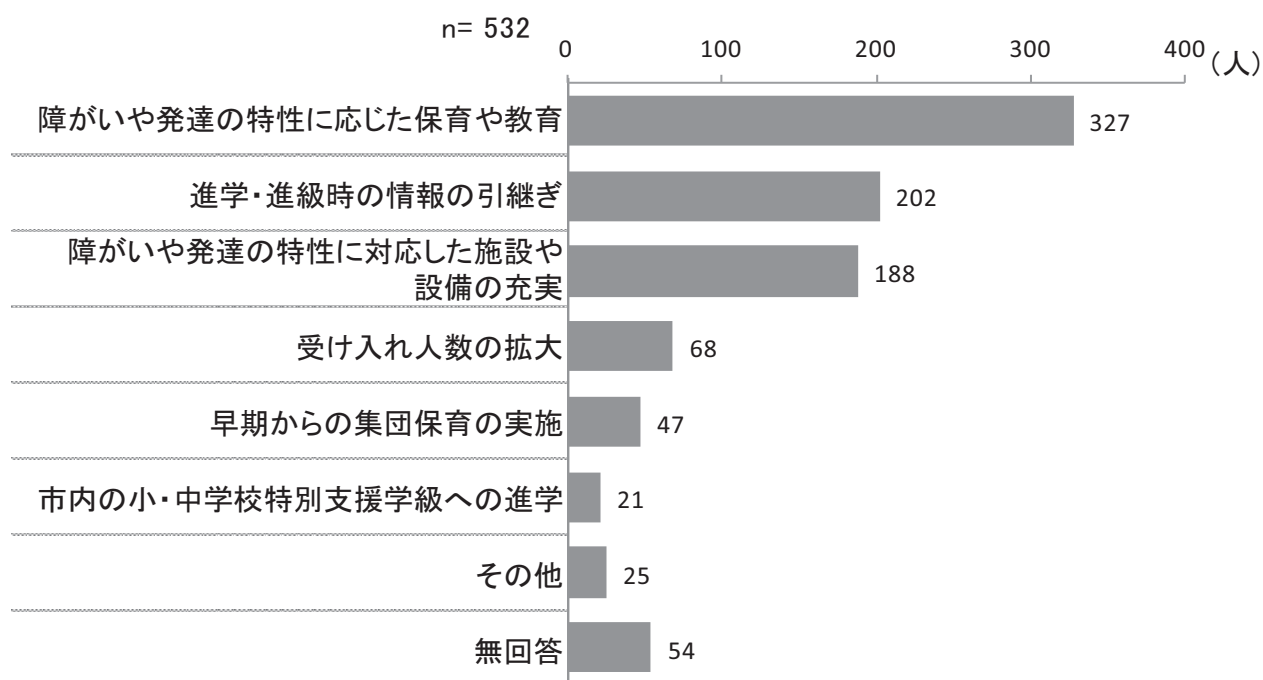
まだわからない、考えていない／現在悩み中 等

(4) 保育や教育のことで希望することや充実させるべき点

問12 保育や教育のことで希望することや充実させるべき点がありますか。

(あてはまるもの2つまで○)

保育や教育のことで希望することや充実させるべき点については、「障がいや発達特性に応じた保育や教育」が327人(61.5%)と最も多く、次いで「進学・進級時の情報の引継ぎ」が202人(38.0%)、「障がいや発達特性に対応した施設や設備の充実」が188人(35.3%)となっています。



■「その他」の主な内容

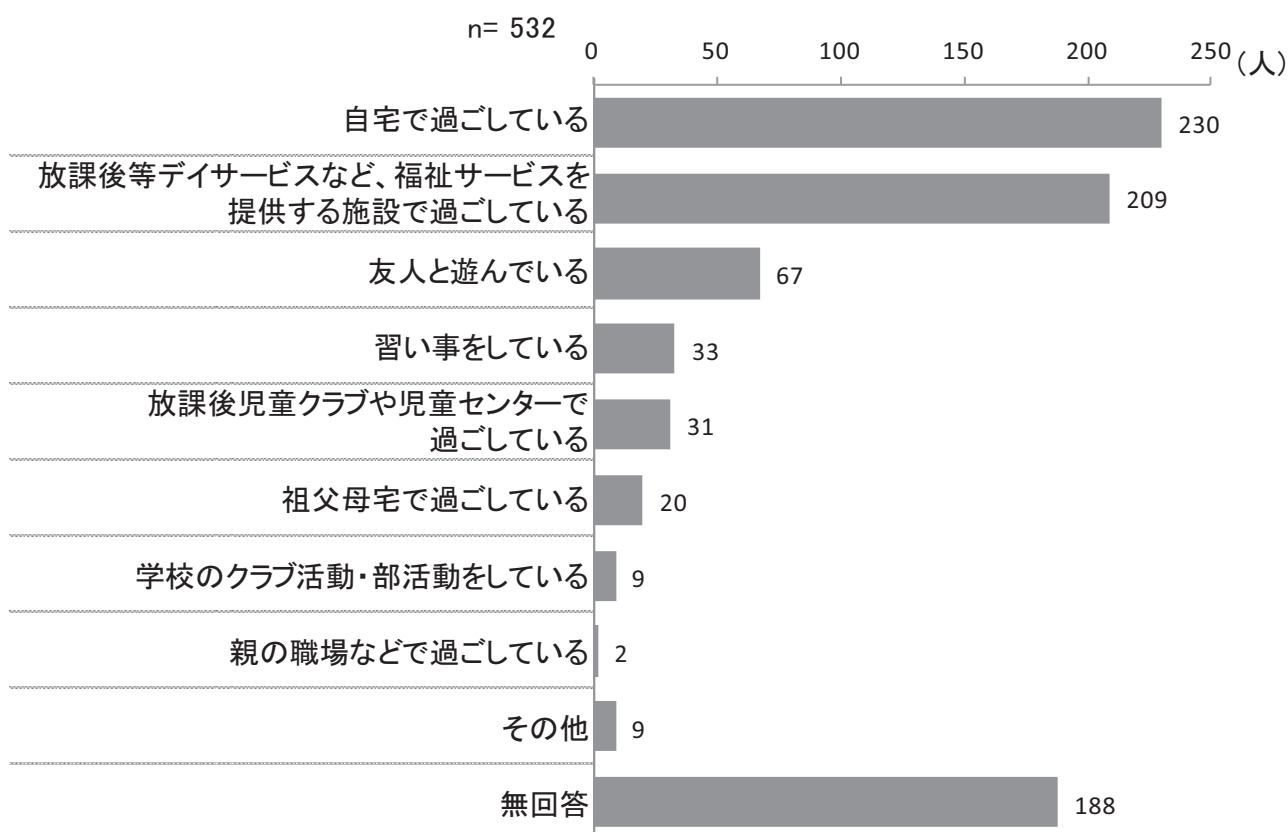
教職員の知識向上／専門家（病院など）との情報共有を図ること／高校生の学習支援／就職や進学に関する相談窓口／市内高等支援学校の設立／加配の割合を増やす 等

(5) 下校後や長期休暇時などの子どもの過ごし方

問13 小学生以上のお子さまがいる方にお聞きます。現在、お子さまは下校後や長期休暇時など、どのように過ごされていますか。(あてはまるもの2つまで○)

※放課後等デイサービスとは…発達に不安のあるお子さまが、学校の授業終了後や学校休業日に通い、専門のスタッフが療育や発達の支援を行うサービスのこと。

小学生以上の子どもがいる家庭について下校後や長期休暇時などの子どもの過ごし方については、「自宅で過ごしている」が230人(43.2%)と最も多く、次いで「放課後等デイサービスなど、福祉サービスを提供する施設で過ごしている」が209人(39.3%)、「友人と遊んでいる」が67人(12.6%)となっています。



■「その他」の主な内容

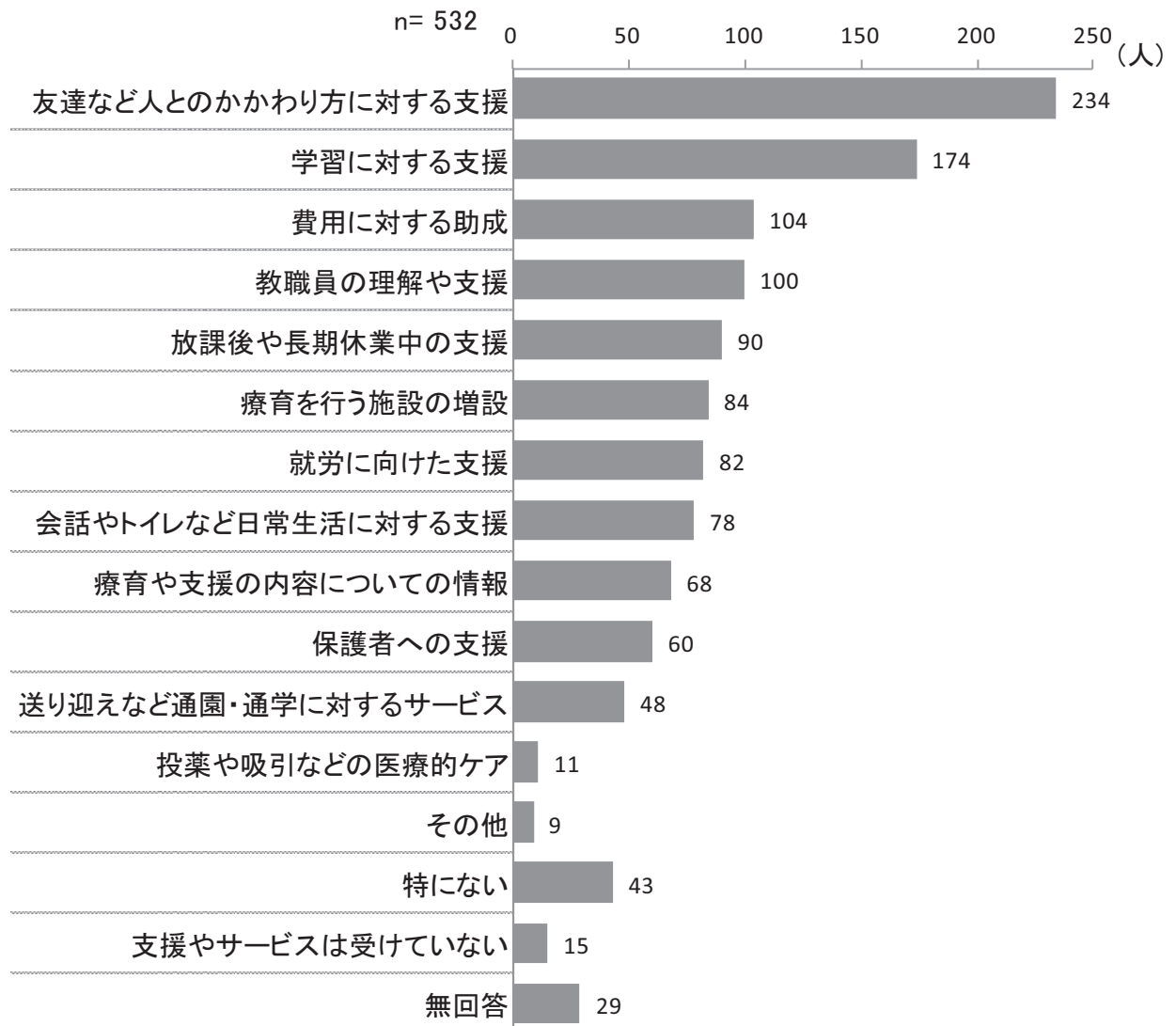
一人で過ごしている／デイサービスでのZOOM／ひとりで外出 等

(6) 子どもが受けている療育や支援で、さらに充実させるべき点

問14 お子さまが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

子どもが受けている療育や支援で、さらに充実させるべき点については「友達など人とのかかわり方に対する支援」が234人(44.0%)と最も多く、次いで「学習に対する支援」が174人(32.7%)、「費用に対する助成」が104人(19.5%)となっています。

なお、「支援やサービスは受けていない」は15人(2.8%)とわずかとなっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、3～11歳では、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が最も高く、次に「学習に対する支援」となっています。

12～17歳では「就労に向けた支援」が最も高く、次に「友達など人とのかかわり方に対する支援」となっています。

上段:件 下段:%		n	友達など人とのかかわり方に対する支援	学習に対する支援	費用に対する助成	教職員の理解や支援	放課後や長期休業中の支援	療育を行う施設の増設	就労に向けた支援	会話やトイレなど日常生活に対する支援	療育や支援の内容についての情報	保護者への支援	送り迎えなど通園・通学に対するサービス	投薬や吸引などの医療的ケア	その他	特になし	支援やサービスは受けていない	無回答
全体		532 100.0	234 44.0	174 32.7	104 19.5	100 18.8	90 16.9	84 15.8	82 15.4	78 14.7	68 12.8	60 11.3	48 9.0	11 2.1	9 1.7	43 8.1	15 2.8	29 5.5
年齢別	0歳	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 50.0	1 50.0	— —
	1～2歳	14 100.0	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1	— —	1 7.1	3 21.4	— —	3 21.4	2 14.3	1 7.1	— —	2 14.3	1 7.1	3 21.4
	3～5歳	144 100.0	63 43.8	49 34.0	18 12.5	16 11.1	25 17.4	23 16.0	4 2.8	36 25.0	27 18.8	24 16.7	19 13.2	2 1.4	3 2.1	15 10.4	1 0.7	9 6.3
	6～8歳	153 100.0	76 49.7	53 34.6	40 26.1	31 20.3	35 22.9	27 17.6	11 7.2	19 12.4	18 11.8	17 11.1	6 3.9	1 0.7	1 0.7	10 6.5	4 2.6	6 3.9
	9～11歳	90 100.0	49 54.4	35 38.9	21 23.3	22 24.4	11 12.2	11 12.2	16 17.8	7 7.8	11 12.2	9 10.0	7 7.8	1 1.1	2 2.2	5 5.6	2 2.2	2 2.2
	12～14歳	64 100.0	21 32.8	19 29.7	16 25.0	18 28.1	8 12.5	9 14.1	23 35.9	9 14.1	5 7.8	3 4.7	6 9.4	2 3.1	2 3.1	6 9.4	2 3.1	4 6.3
	15～17歳	59 100.0	21 35.6	12 20.3	6 10.2	11 18.6	10 16.9	11 18.6	24 40.7	4 6.8	6 10.2	3 5.1	7 11.9	4 6.8	1 1.7	4 6.8	4 6.8	4 6.8

■「その他」の主な内容

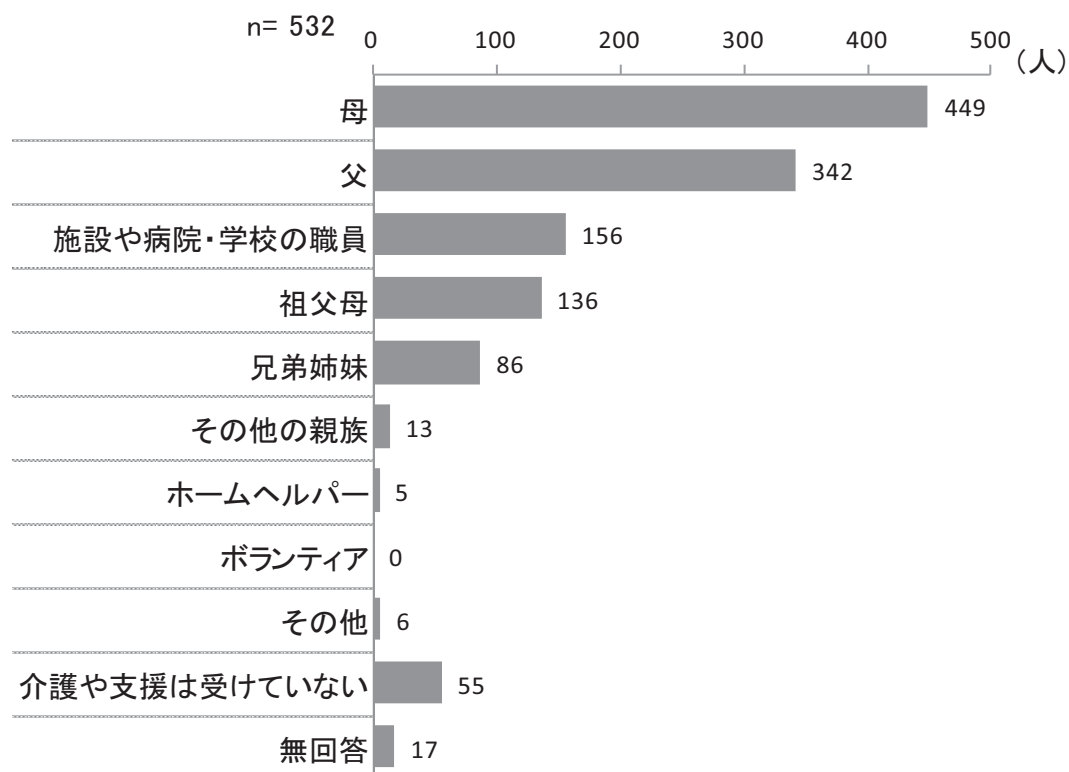
預かり時間の延長／移動支援が充実／ＯＴ、ＰＴ、ＳＴの受けられる施設の増設／卒後も切れ目なく支援できる手段、受入先 等

5. 介護や支援の状況について

(1) 子どもの介護や支援をしている方

問15 お子さまの介護や支援をしている方は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

子どもの介護や支援をしている方は、「母」が449人(84.4%)と最も多く、次いで「父」が342人(64.3%)、「施設や病院・学校の職員」が156人(29.3%)となっています。



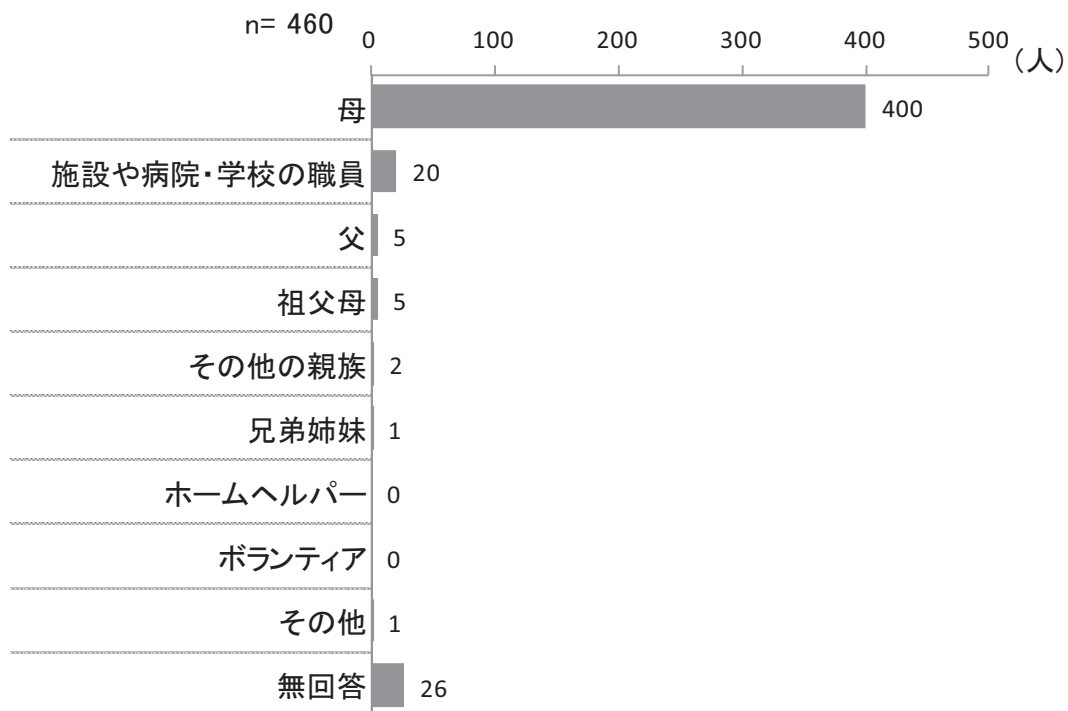
■「その他」の主な内容

ファミリーサポート／ベビーシッター 等

(2) 介護や支援をしている主な方

問16 問15で「父」「母」「祖父母」「兄弟姉妹」「その他の親族」「施設や病院・学校の職員」「ホームヘルパー」「ボランティア」「その他」と回答した方にお聞きします。問15で選ばれた方の中で、主に介護や支援をしている方はどなたですか。

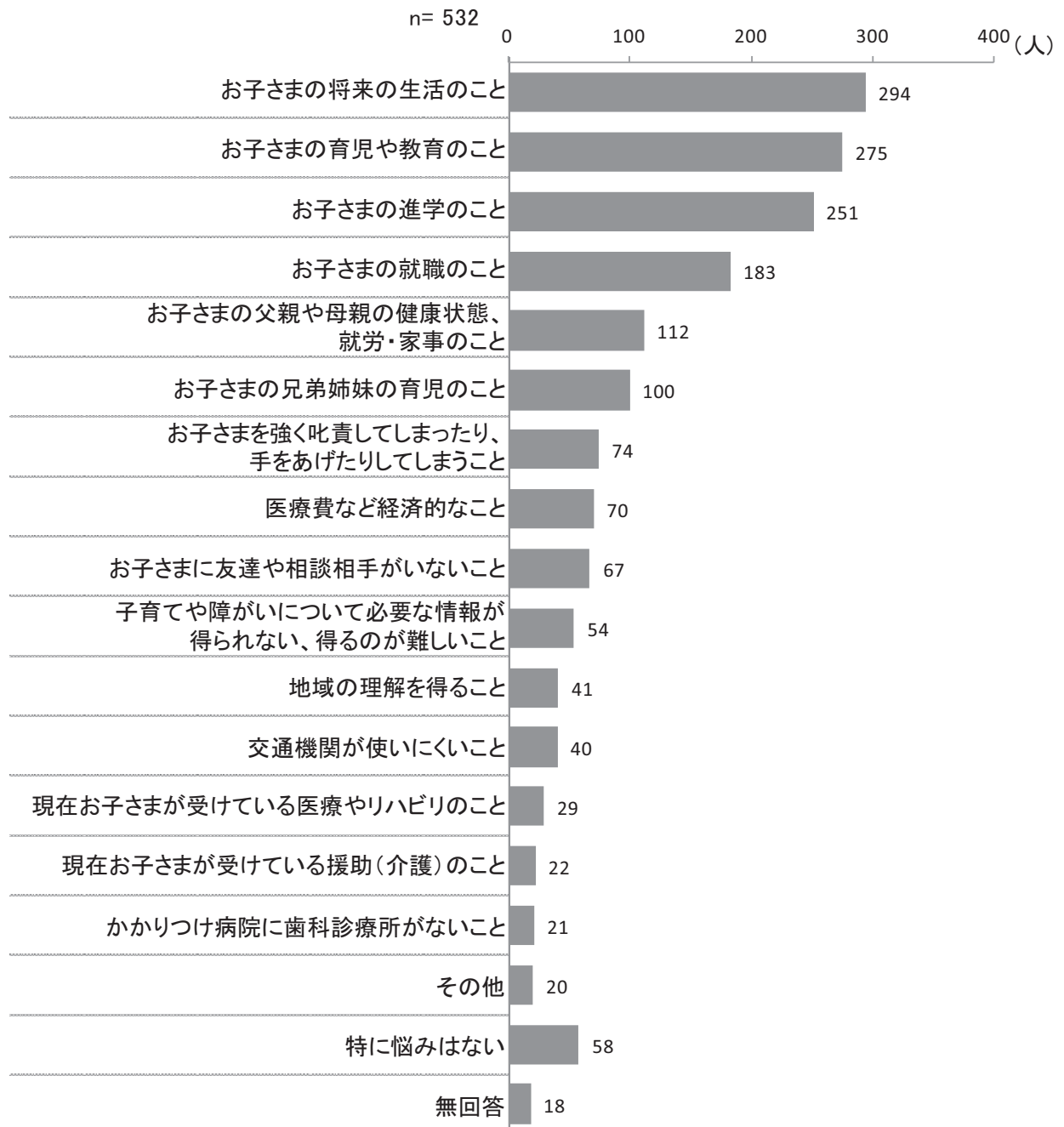
問15であげられた介護・支援者のうち主な介護・支援者としては、「母」が400人（87.0%）と集中して多くなっています。



(3) 子どもや同居する家族のことで悩んだり困っていること

問17 お子さまやお子さまと同居する家族のことで悩んだり困っていることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

子どもや同居する家族のことで悩んだり困っていることについては、「お子さまの将来の生活のこと」が294人(55.3%)、次いで「お子さまの育児や教育のこと」が275人(51.7%)、「お子さまの進学のこと」が251人(47.2%)となっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、1～2歳では、「お子さまの育児や教育のこと」が最も高くなっています。「お子さまの育児や教育のこと」は、1～8歳までが6割以上と多く困りごとの中心となっていますが、9～17歳では、「お子さまの将来の生活のこと」が7割以上と最も高く、次いで「お子さまの進学のこと」、「お子さまの就職のこと」となっており、年齢が上がるにつれて子ども自身の将来に関することがあげられています。

上段:件 下段:%		n	お子さまの将来の生活のこと	お子さまの育児や教育のこと	お子さまの進学のこと	お子さまの就職のこと	お子さまの父兄や母親の健康状態、就労・家事のこと	お子さまの兄弟姉妹の育児のこと	お子さまを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと	医療費など経済的なこと	お子さまに友達や相談相手がないこと	子育てや障がいについて必要な情報が得られない、得るのが難しいこと	地域の理解を得ること	交通機関が使いにくいこと	現在お子さまが受けている医療やリハビリのこと	現在お子さまが受けている援助（介護）のこと	かかりつけ病院に歯科診療所がないこと	その他	特に悩みはない	無回答
全体		532 100.0	294 55.3	275 51.7	251 47.2	183 34.4	112 21.1	100 18.8	74 13.9	70 13.2	67 12.6	54 10.2	41 7.7	40 7.5	29 5.5	22 4.1	21 3.9	20 3.8	58 10.9	18 3.4
年齢別	0歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	— —	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 50.0	—
	1～2歳	14 100.0	7 50.0	10 71.4	7 50.0	2 14.3	2 14.3	2 14.3	3 21.4	2 14.3	1 7.1	1 7.1	3 21.4	— —	3 21.4	1 7.1	— —	— —	1 7.1	1 7.1
	3～5歳	144 100.0	48 33.3	88 61.1	52 36.1	15 10.4	26 18.1	32 22.2	25 17.4	12 8.3	5 3.5	12 8.3	5 3.5	9 6.3	5 3.5	4 2.8	5 3.5	3 2.1	25 17.4	7 4.9
	6～8歳	153 100.0	78 51.0	92 60.1	64 41.8	42 27.5	24 15.7	28 18.3	25 16.3	21 13.7	12 7.8	22 14.4	11 7.2	3 2.0	7 4.6	5 3.3	6 3.9	5 3.3	18 11.8	6 3.9
	9～11歳	90 100.0	64 71.1	43 47.8	59 65.6	46 51.1	23 25.6	16 17.8	11 12.2	13 14.4	19 21.1	5 5.6	9 10.0	5 5.6	2 2.2	2 2.2	4 4.4	7 7.8	3 3.3	—
	12～14歳	64 100.0	46 71.9	27 42.2	45 70.3	37 57.8	17 26.6	11 17.2	5 7.8	11 17.2	17 26.6	5 7.8	9 14.1	10 15.6	5 7.8	4 6.3	5 7.8	3 4.7	4 6.3	1 1.6
	15～17歳	59 100.0	45 76.3	12 20.3	21 35.6	37 62.7	16 27.1	9 15.3	5 8.5	10 16.9	12 20.3	8 13.6	3 5.1	12 20.3	7 11.9	6 10.2	1 1.7	2 3.4	6 10.2	2 3.4

■「その他」の主な内容

家庭環境／夫が子供を理解して関わってくれない 等

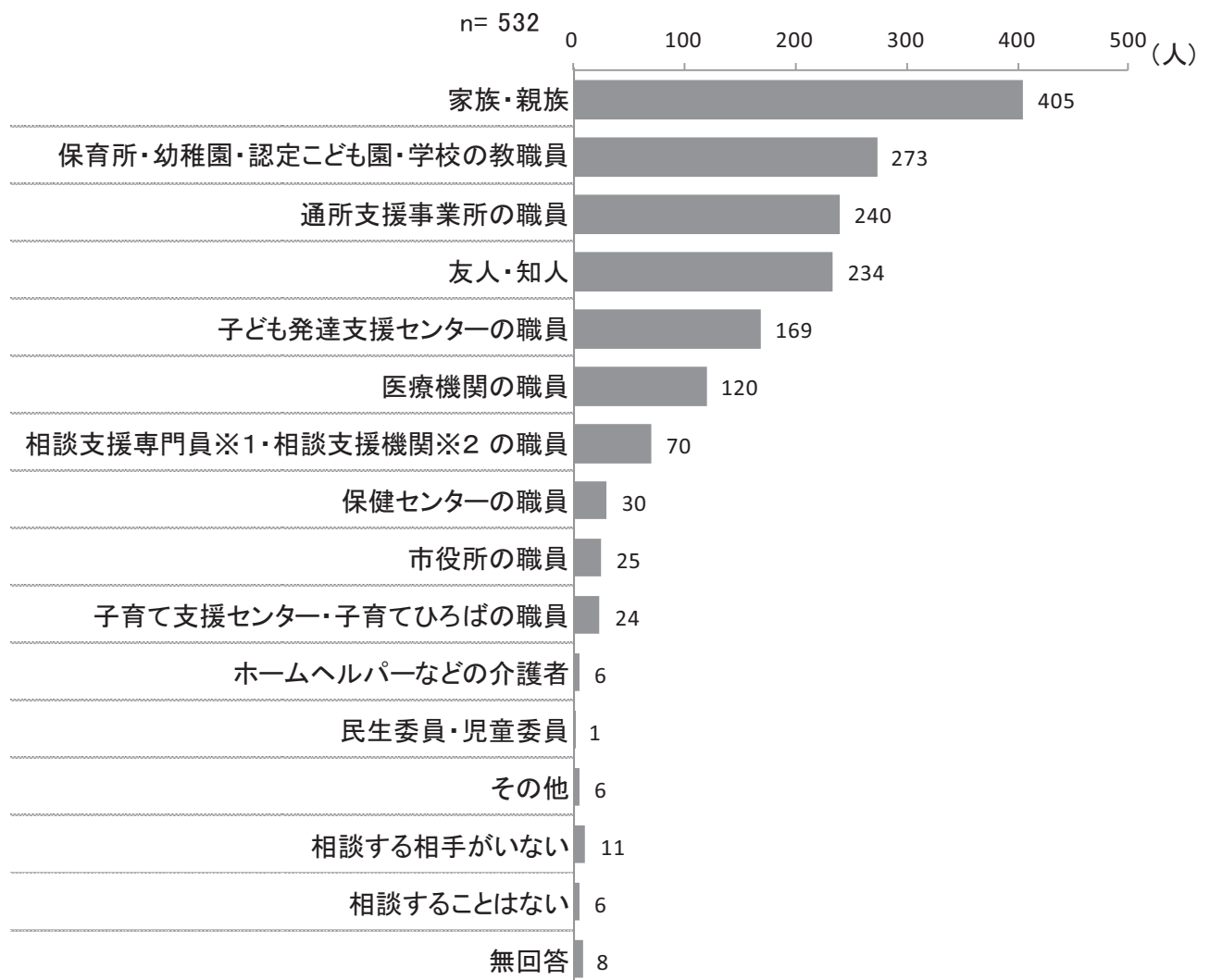
(4) 困ったことや疑問に思うことの相談先

問18 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

※1 相談支援専門員とは…障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある方の全般的な相談支援を行う人のことです。

※2 相談支援機関とは…障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

困ったことや疑問に思うことの相談先については、「家族・親族」が405人（76.1%）と最も多く、次いで「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員」が273人（51.3%）、「通所支援事業所の職員」が240人（45.1%）となっています。



第3章 障がい児調査結果の詳細

年齢別にみると、「家族・親族」はいずれの年齢でも6割以上、「保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員」はいずれの年齢でも、4割以上と年齢を問わず共通した相談先となっています。また、1～5歳までは「子ども発達支援センターの職員」「通所支援事業所の職員」が4割以上、6～14歳では、「通所支援事業所の職員」が4割以上となっています。

上段:件 下段:%		n	家族・親族	保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員	通所支援事業所の職員	友人・知人	子ども発達支援センターの職員	医療機関の職員	相談支援専門員・相談支援機関の職員	保健センターの職員	市役所の職員	子育て支援センター・子育てひろばの職員	介護者 ホームヘルパーなどの	民生委員・児童委員	その他	相談する相手がない	相談することはない	無回答
全体		532 100.0	405 76.1	273 51.3	240 45.1	234 44.0	169 31.8	120 22.6	70 13.2	30 5.6	25 4.7	24 4.5	6 1.1	1 0.2	6 1.1	11 2.1	6 1.1	8 1.5
年齢別	0歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	— —	— —	— —	2 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	1～2歳	14 100.0	12 85.7	6 42.9	6 42.9	4 28.6	7 50.0	3 21.4	2 14.3	5 35.7	2 14.3	1 7.1	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	3～5歳	144 100.0	123 85.4	72 50.0	60 41.7	65 45.1	69 47.9	10 6.9	13 9.0	15 10.4	2 1.4	11 7.6	2 1.4	— —	3 2.1	3 2.1	— —	3 2.1
	6～8歳	153 100.0	109 71.2	86 56.2	82 53.6	64 41.8	54 35.3	38 24.8	24 15.7	10 6.5	6 3.9	11 7.2	1 0.7	— —	— —	2 1.3	2 1.3	2 1.3
	9～11歳	90 100.0	72 80.0	46 51.1	41 45.6	47 52.2	22 24.4	25 27.8	9 10.0	— —	1 1.1	— —	1 1.1	— —	— —	3 3.3	2 2.2	2 2.2
	12～14歳	64 100.0	46 71.9	32 50.0	31 48.4	32 50.0	9 14.1	20 31.3	9 14.1	— —	8 12.5	— —	— —	1 1.6	1 1.6	2 3.1	— —	1 1.6
	15～17歳	59 100.0	36 61.0	27 45.8	18 30.5	18 30.5	6 10.2	21 35.6	13 22.0	— —	3 5.1	1 1.7	2 3.4	— —	2 3.4	1 1.7	2 3.4	— —

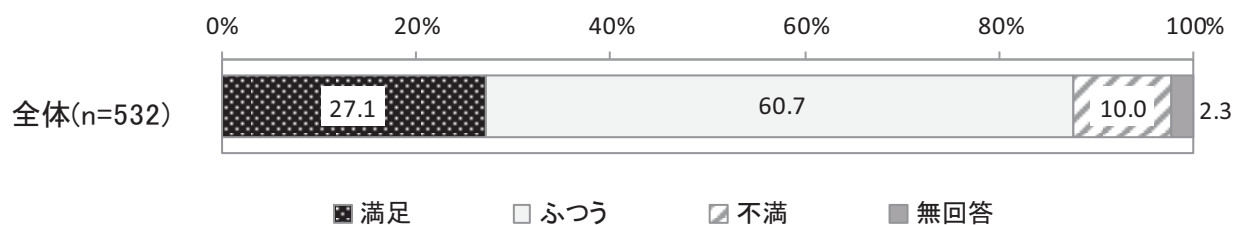
■「その他」の主な内容

ネット・SNS／入所施設の職員・ナース／児童相談所／患者会 等

(5) 現在の相談体制の満足度

問19 現在の相談の体制について満足していますか。(○は1つ)

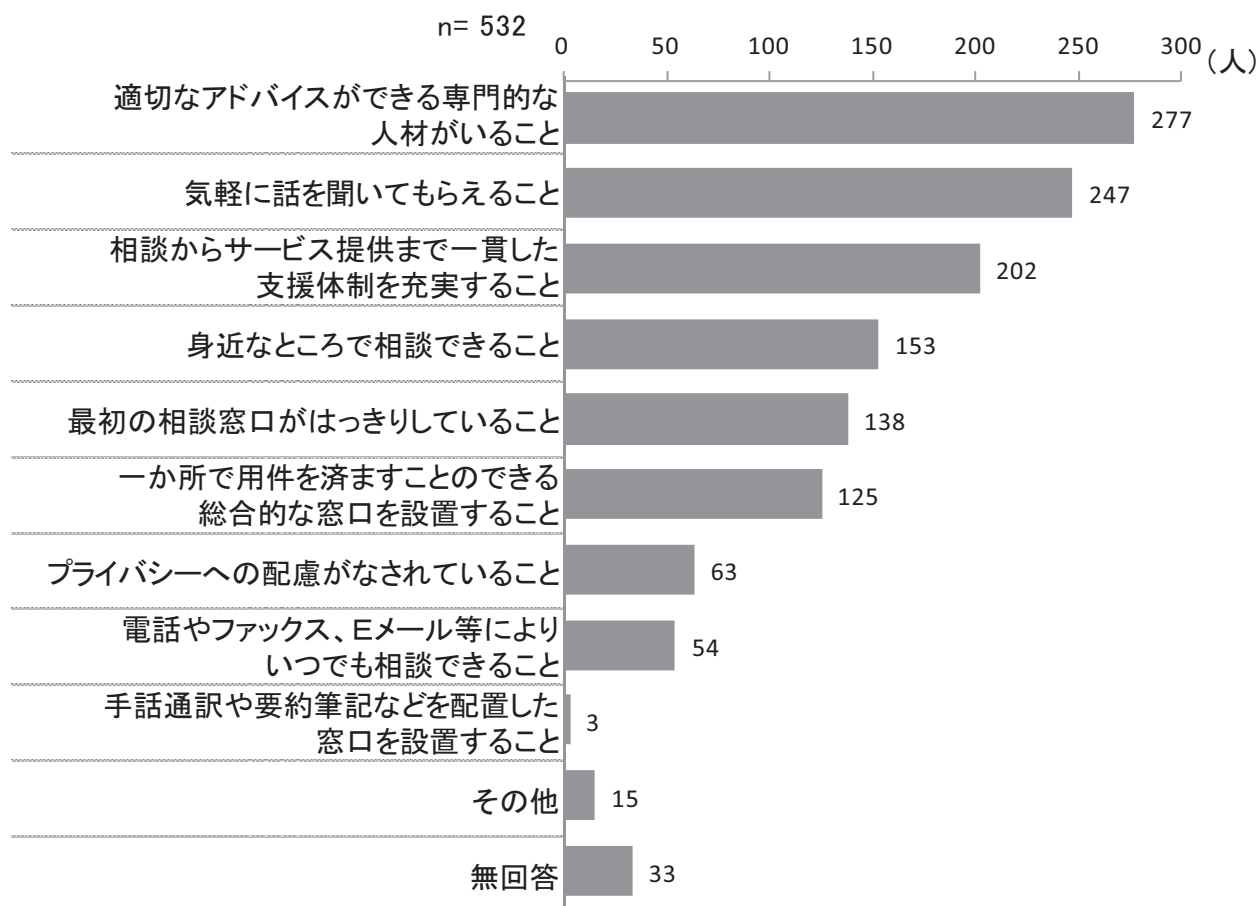
現在の相談体制の満足度については、「満足」が27.1%、「ふつう」が60.7%、「不満」が10.0%となっています。



(6) 相談機能を充実させるために必要なこと

問20 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

相談機能を充実させるために必要なことについては、「適切なアドバイスができる専門的な人材がいること」が277人(52.1%)と最も多く、次いで「気軽に話を聞いてもらえること」が247人(46.4%)、「相談からサービス提供まで一貫した支援体制を充実すること」が202人(38.0%)となっています。



■「その他」の主な内容

相談事業所の増設／市役所の職員間で情報共有／定期的な相談機会／時間の都合がつくこと 等

6. 福祉に関するサービスについて

(1) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

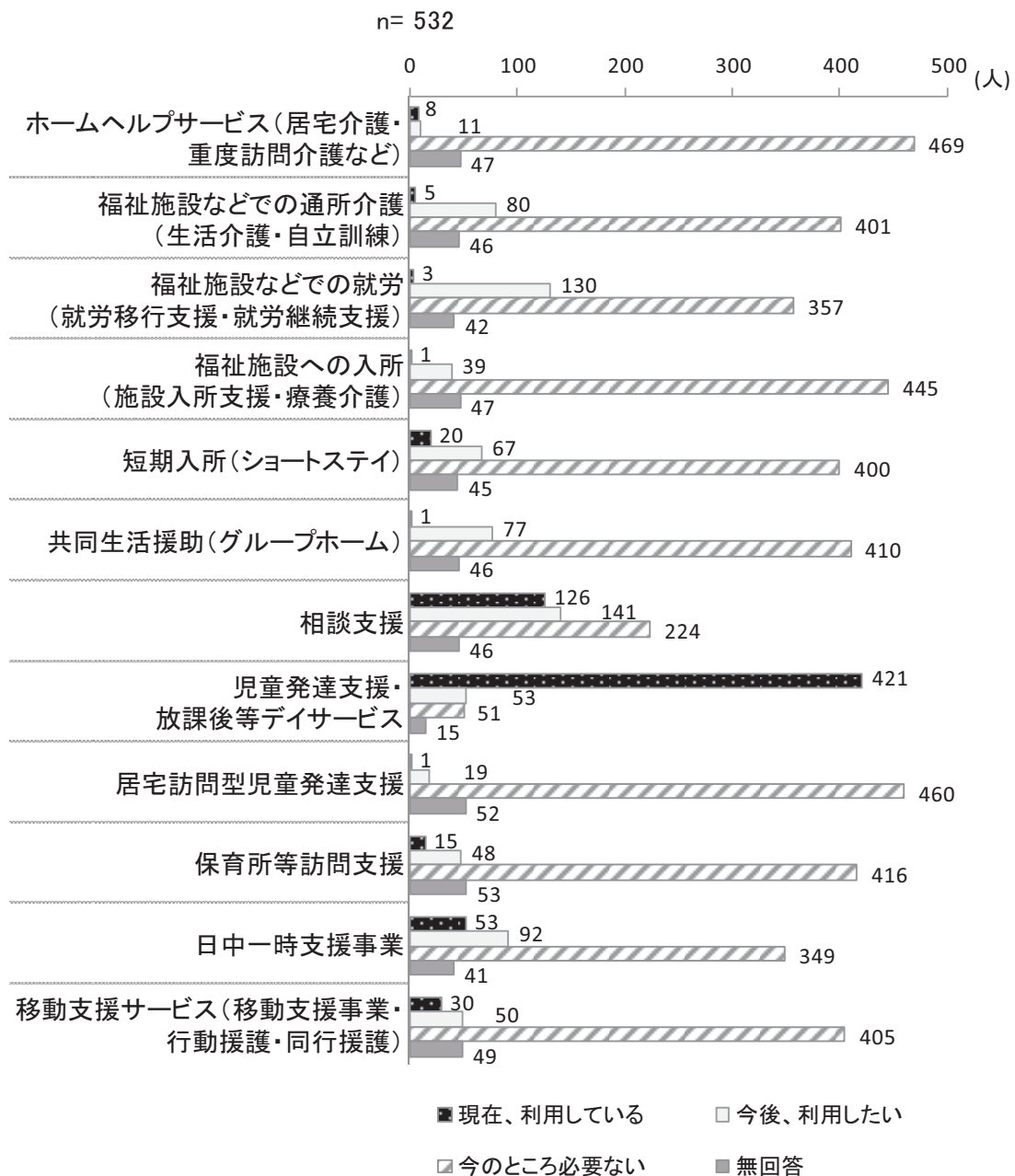
問21 障害福祉サービスについて①現在、利用しているか、②今後、利用したいか、③今のところ必要ないかを、それぞれア～シの各項目の該当する欄に○をつけてください。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

※「②今後、利用したい」は現在の利用の有無を問いません。

障害福祉サービスの現在の利用状況と今後の利用意向については、現在利用している福祉サービスは、「児童発達支援・放課後等デイサービス」が421人（79.1%）、「相談支援」が126人（23.7%）となっています。

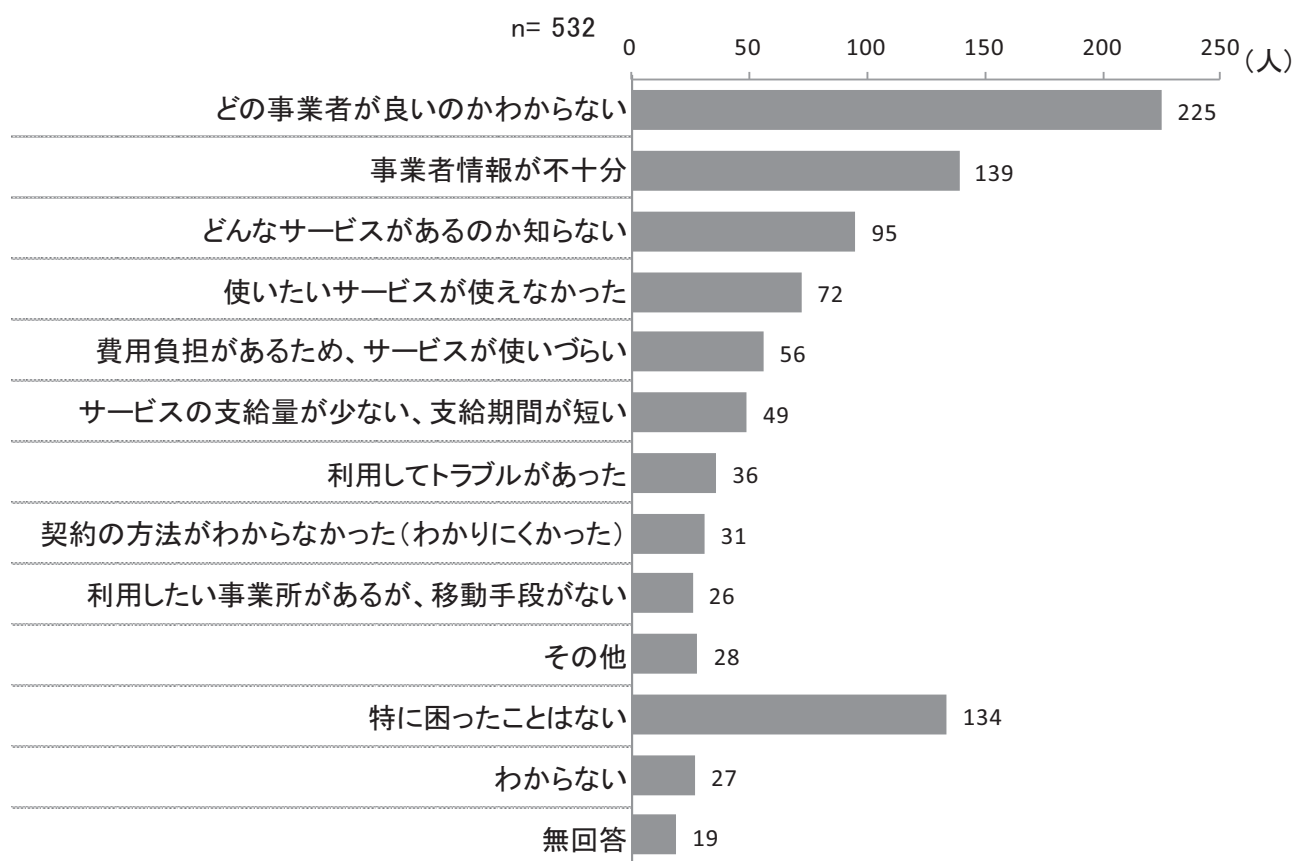
現在の利用状況に対する今後の利用意向（「利用意向」－「利用状況」の差）をみると、多くの項目で利用状況よりも高く、特に「福祉施設などでの就労（就労移行支援・就労継続支援）」「共同生活援助（グループホーム）」「福祉施設などでの通所介護（生活介護・自立訓練）」などで利用意向が高くなっています。



(2) 福祉に関するサービスを利用するときに困ったこと

問22 福祉に関するサービスを利用するときに何か困ったことはありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

福祉に関するサービスを利用するときに困ったことについては、「どの事業者が良いのかわからない」が225人(42.3%)と最も多く、次いで「事業者情報が不十分」が139人(26.1%)、「どんなサービスがあるのかわからない」が95人(17.9%)となっています。



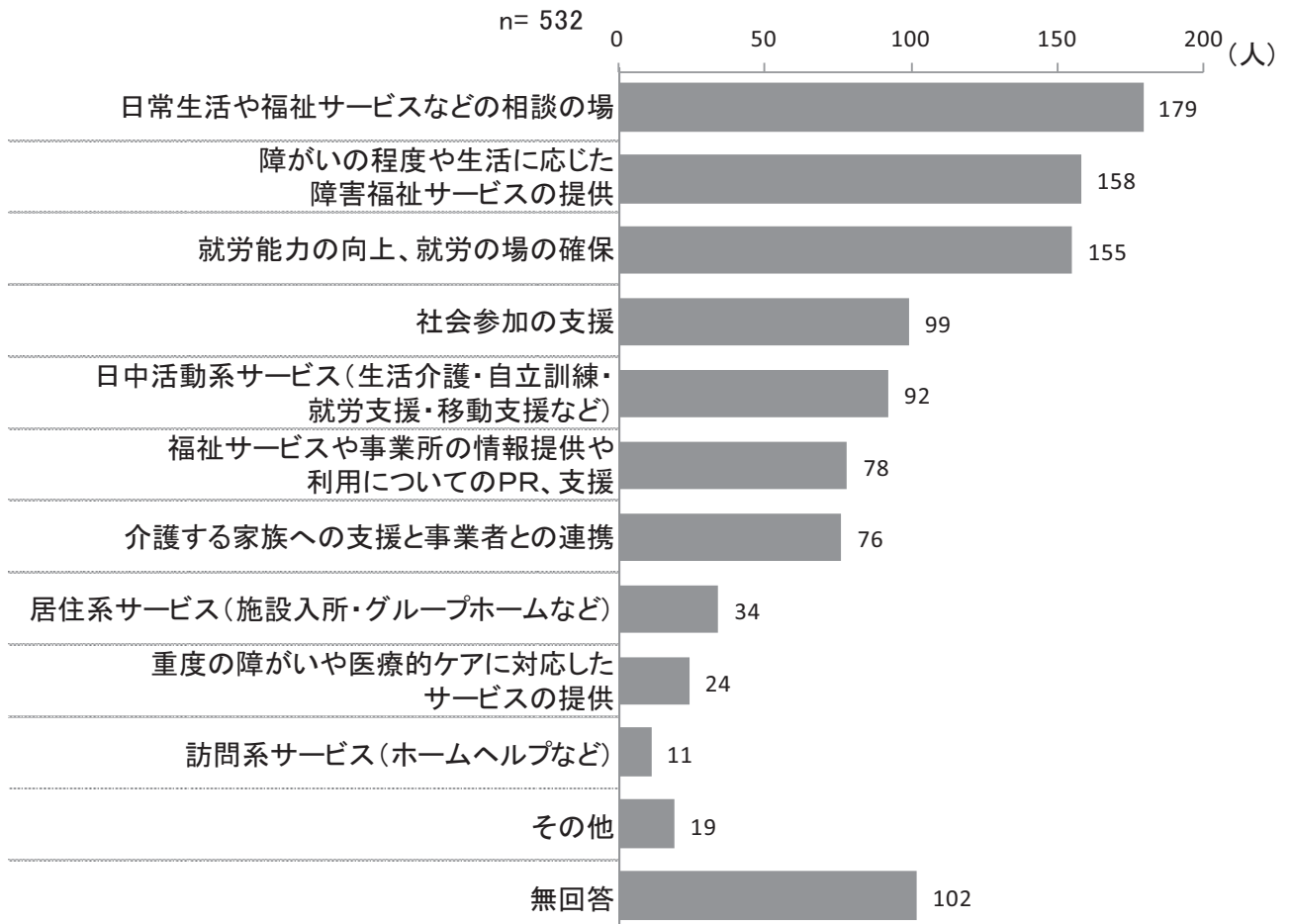
■「その他」の主な内容

年齢が上がると利用できない(中学生・高校生)／時間の都合が合わない／短期で担当者が変わる／見学に時間がかかる 等

(3) 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいこと

問23 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいことについては、「日常生活や福祉サービスなどの相談の場」が179人（33.6%）と最も多く、次いで「障がいの程度や生活に応じた障害福祉サービスの提供」が158人（29.7%）、「就労能力の向上、就労の場の確保」が155人（29.1%）となっています。



■「その他」の主な内容

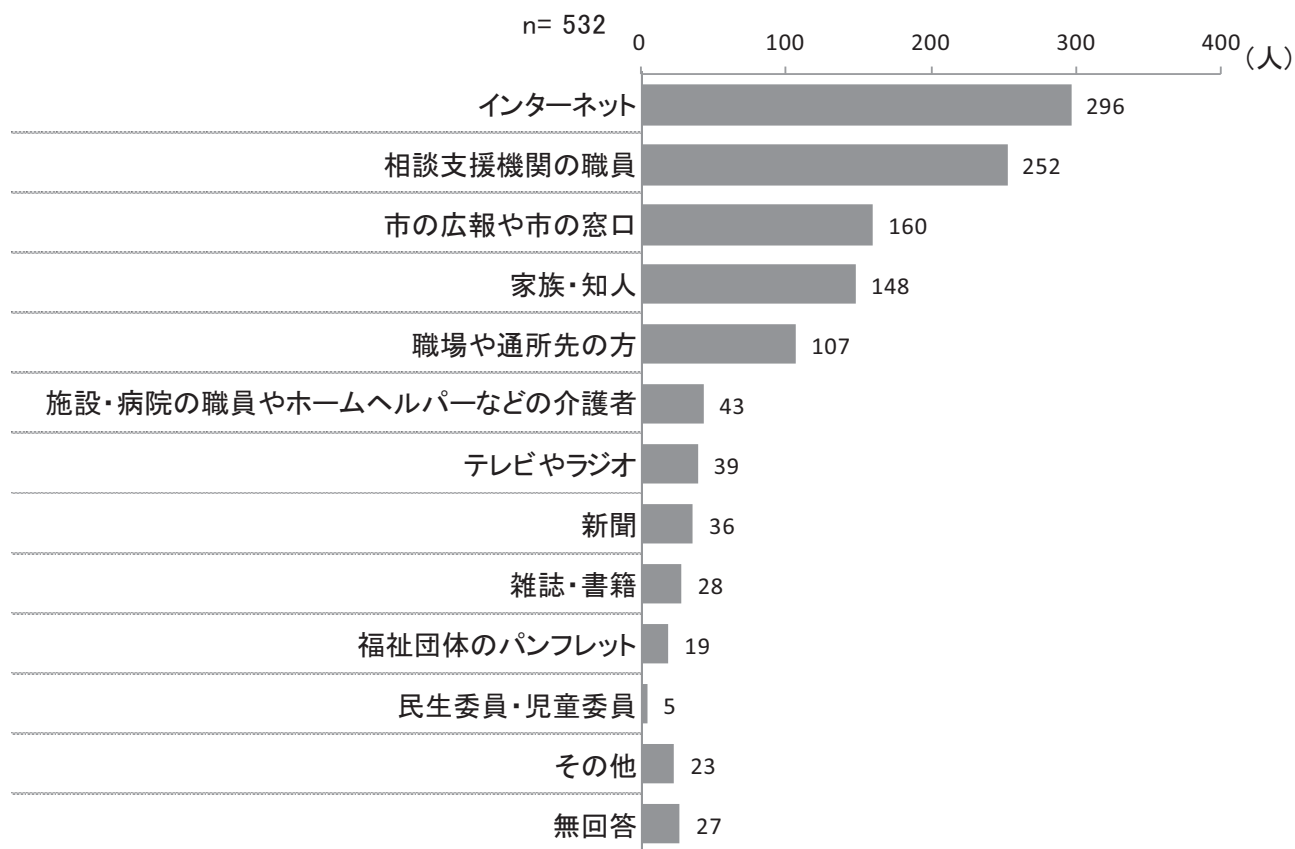
資格を持った人材の充実・専門性の向上／中学生以上の支援・情報提供 等

7. 福祉に関する情報について

(1) 障がい福祉に関する情報の入手手段

問24 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい福祉に関する情報の入手手段については、「インターネット」が296人（55.6%）と最も多く、次いで「相談支援機関の職員」が252人（47.4%）、「市の広報や市の窓口」が160人（30.1%）となっています。



■「その他」の主な内容

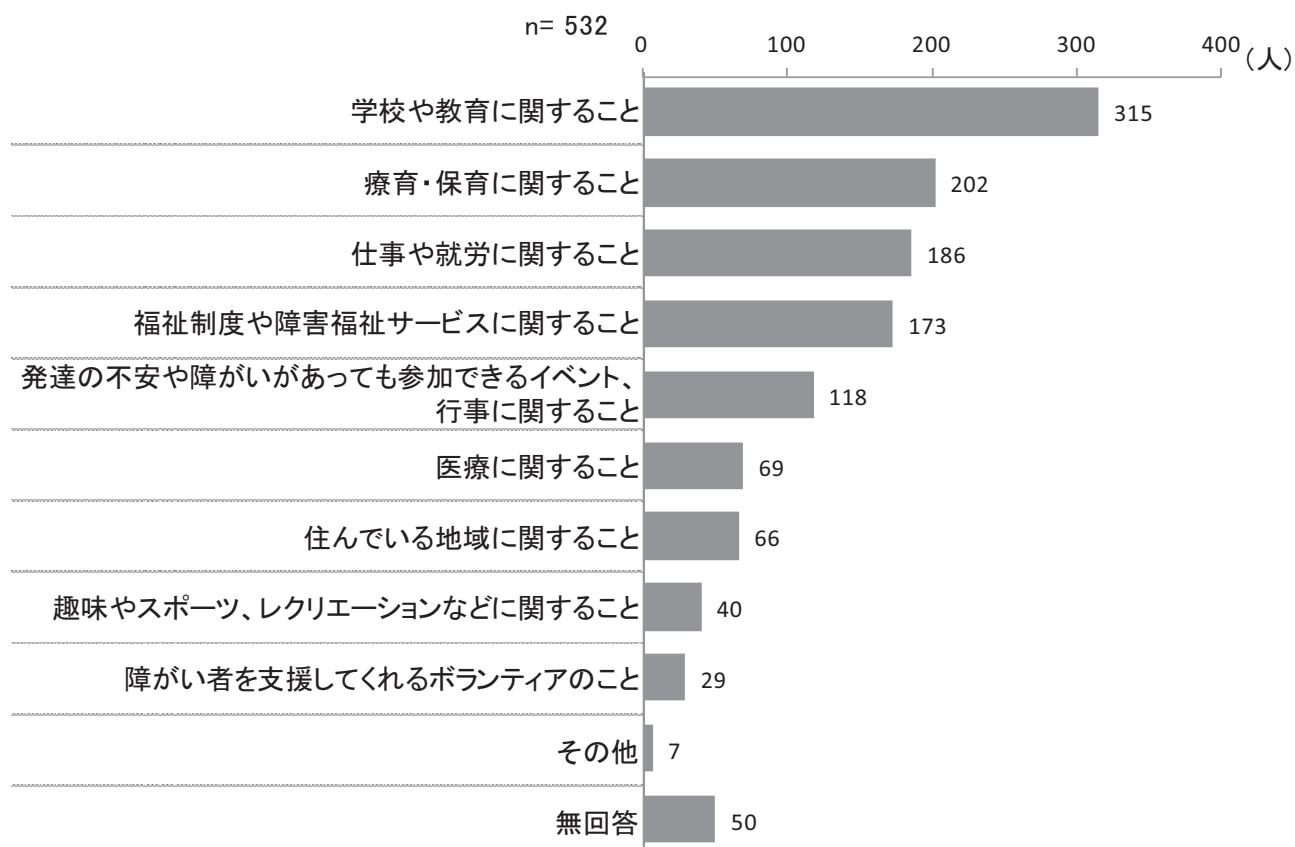
幼稚園・学校の先生／児童相談所／看板 等

(2) 障がい福祉の情報について必要とする内容

問25 障がい福祉に関する情報について、どのようなものが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

障がい福祉の情報について必要とする内容については、「学校や教育に関すること」が315人（59.2%）と最も多く、次いで「療育・保育に関すること」が202人（38.0%）、「仕事や就労に関すること」が186人（35.0%）となっています。



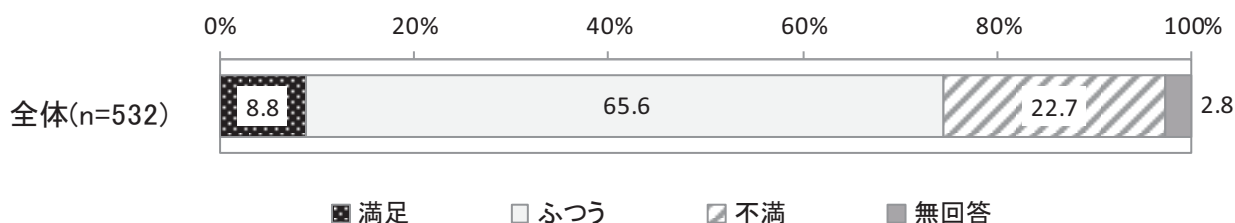
■「その他」の主な内容

親亡きあとのこと／家族への支援に関すること 等

(3) 情報入手手段の満足度

問26 現在、情報入手するための手段について、満足していますか。(〇は1つ)

情報入手手段の満足度については、「満足」が8.8%、「ふつう」が65.6%、「不満」が22.7%となっています。

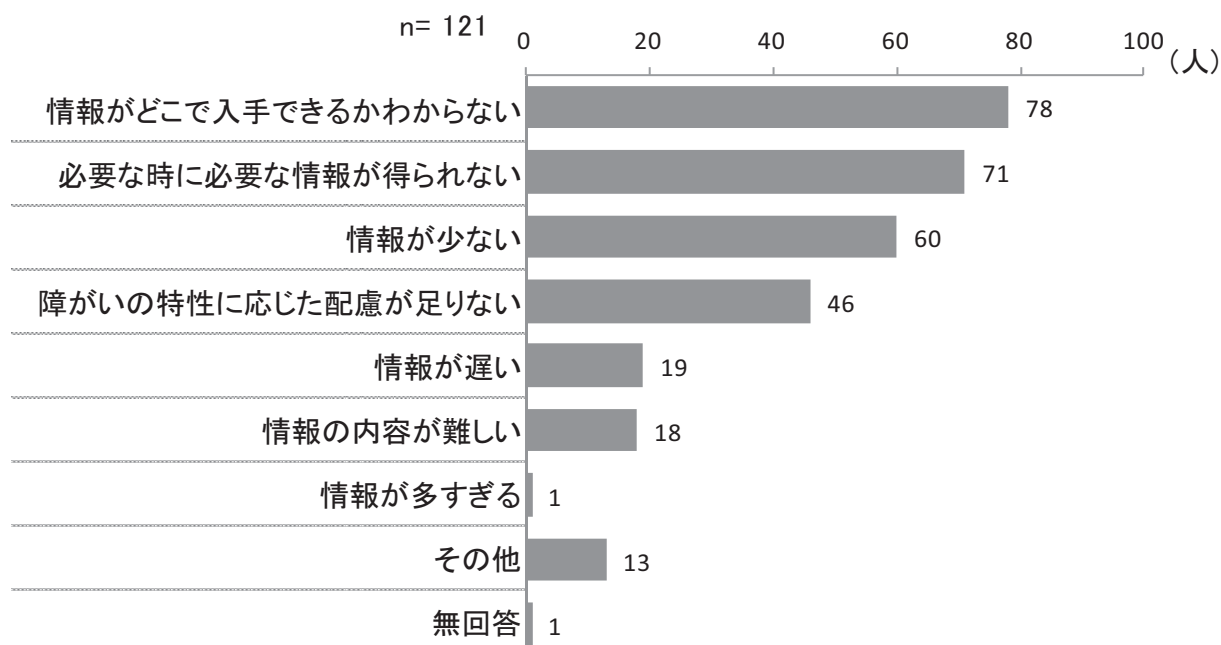


(4) 情報入手手段で不満に思うこと

【問26で「不満」と回答した方にお聞きます。】

問26-1 不満に思うのはどのようなことか教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

情報を入手する手段で不満に思うことは、「情報がどこで入手できるかわからない」が78人 (64.5%)、「必要な時に必要な情報が得られない」が71人 (58.7%)、「情報が少ない」が60人 (49.6%) となっています。



■「その他」の主な内容

一度に分らず情報の透明性がない／聞かないとパンフレット等が貰えない／市のホームページが分かりにくい 等

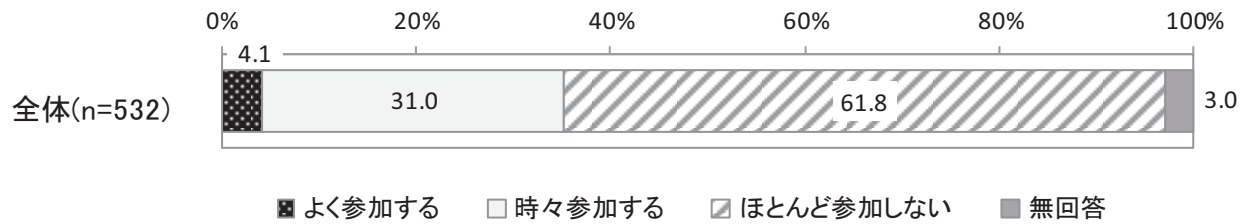
8. 地域活動や外出の状況について

(1) 子どもの地域での活動参加状況

問27 お子さまは、地域での活動※に参加していますか。(○は1つ)

※地域での活動とは…公民館、自治会や市で行う行事や活動

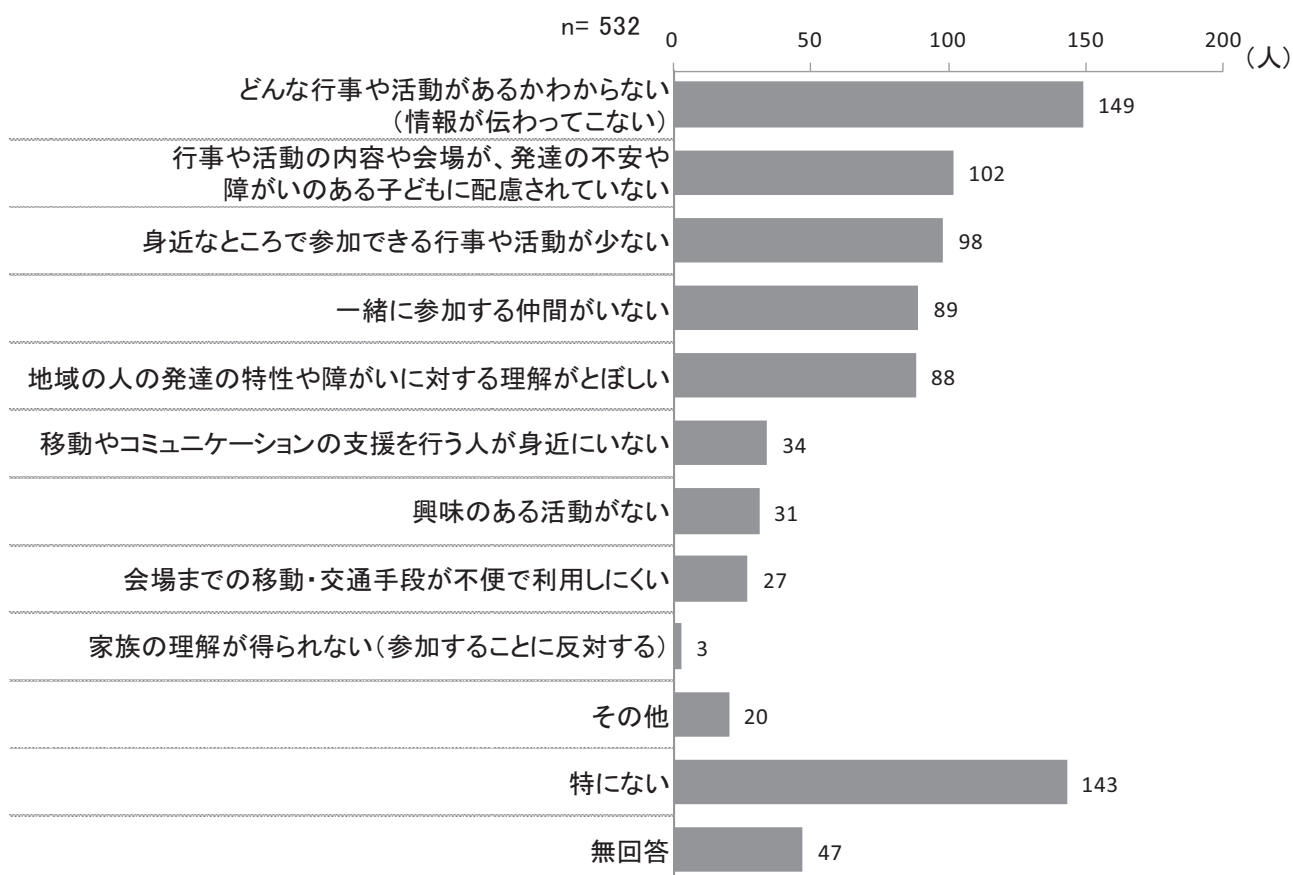
子どもの地域での活動参加状況については、「よく参加する」が4.1%、「時々参加する」が31.0%、「ほとんど参加しない」が61.8%となっています。



(2) 地域活動に参加する場合、困ること

問28 地域活動に参加する場合、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域活動に参加する場合、困ることについては、「どんな行事や活動があるかわからない(情報が伝わってこない)」が149人(28.0%)と最も多く、次いで「行事や活動の内容や会場が、発達の不安や障がいのある子どもに配慮されていない」が102人(19.2%)、「身近なところで参加できる行事や活動が少ない」が98人(18.4%)となっています。



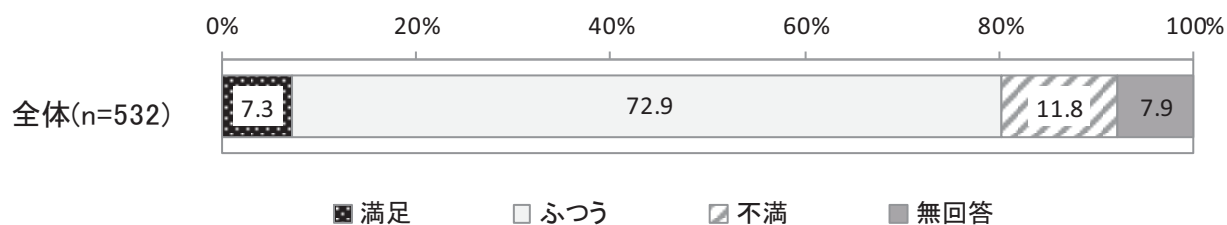
■「その他」の主な内容

集団が苦手／迷惑になるかと思い参加させる気になれない／障がい者用駐車スペースが少ない 等

(3) 地域活動や外出に関する支援やサービスの満足度

問29 地域活動や外出に関する支援やサービスについて満足していますか。(○は1つ)

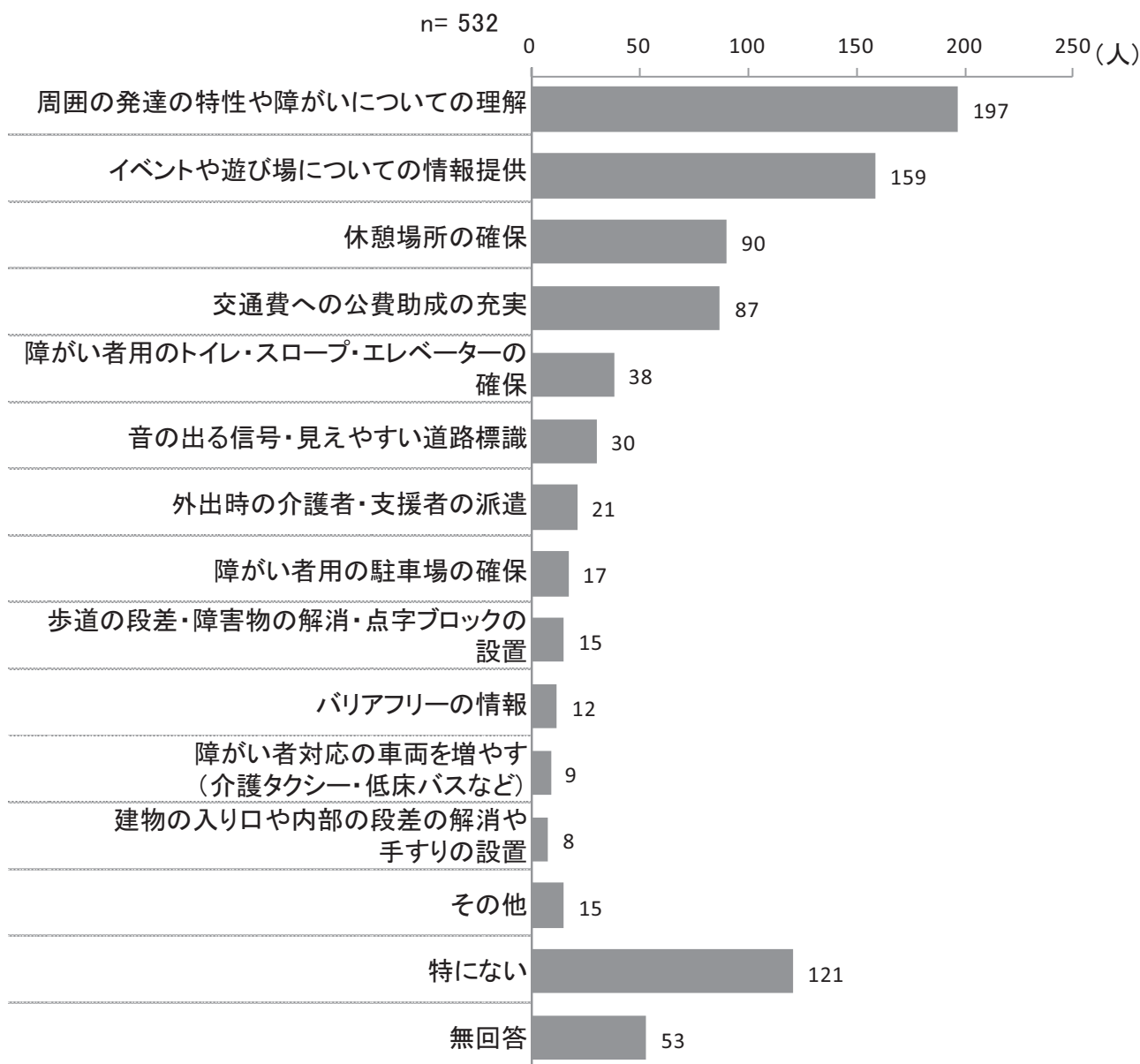
地域活動や外出に関する支援やサービスの満足度については、「満足」が7.3%、「ふつう」が72.9%、「不満」が11.8%となっています。



(4) 子どもと一緒に外出しやすくなるために必要と思うこと

問30 お子さまと一緒に外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

子どもと一緒に外出しやすくなるために必要と思うことについては、「周囲の発達の特性や障がいについての理解」が197人(37.0%)と最も多く、次いで「イベントや遊び場についての情報提供」が159人(29.9%)、「休憩場所の確保」が90人(16.9%)となっています。



■「その他」の主な内容

周囲の支援・障がい者への配慮／親へのフォロー／バス路線の充実・増便 等

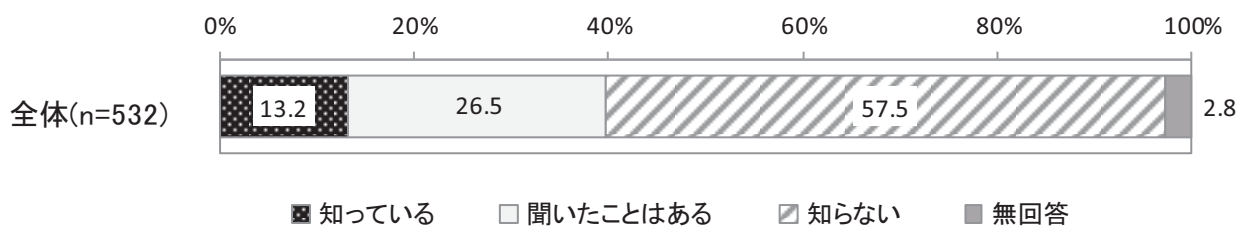
9. 差別解消について

(1) 障害者差別解消法の認知度

問31 あなた（保護者の方）は、障害者差別解消法※を知っていますか。（○は1つ）

※障害者差別解消法とは…障がいを理由とする差別の解消を推進するための法律です。平成28年4月1日から施行されました。この法律は、国や市町村、会社やお店などの事業者に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。また、障がいのある人が何らかの対応を求めているときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

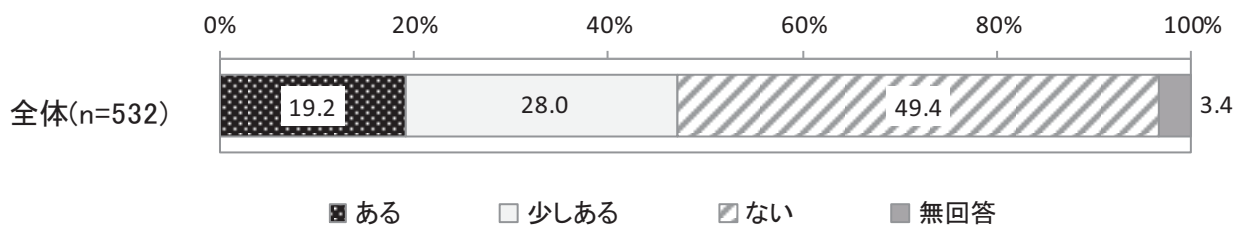
障害者差別解消法の認知度については、「知っている」が13.2%、「聞いたことはある」が26.5%となっており、これをあわせた39.7%の人が認知していることとなりますが、「知らない」と回答した57.5%を下回っています。



(2) 差別を受けたり、嫌な思いをした経験

問32 これまで発達の不安や障がいがあることによって差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたことはありますか。（○は1つ）

発達の不安や障がいがあることによって差別を受けたり、嫌な思いをした経験については、「ある」が19.2%、「少しある」が28.0%となっており、これを合わせた半数近くの人にその経験がみられます。



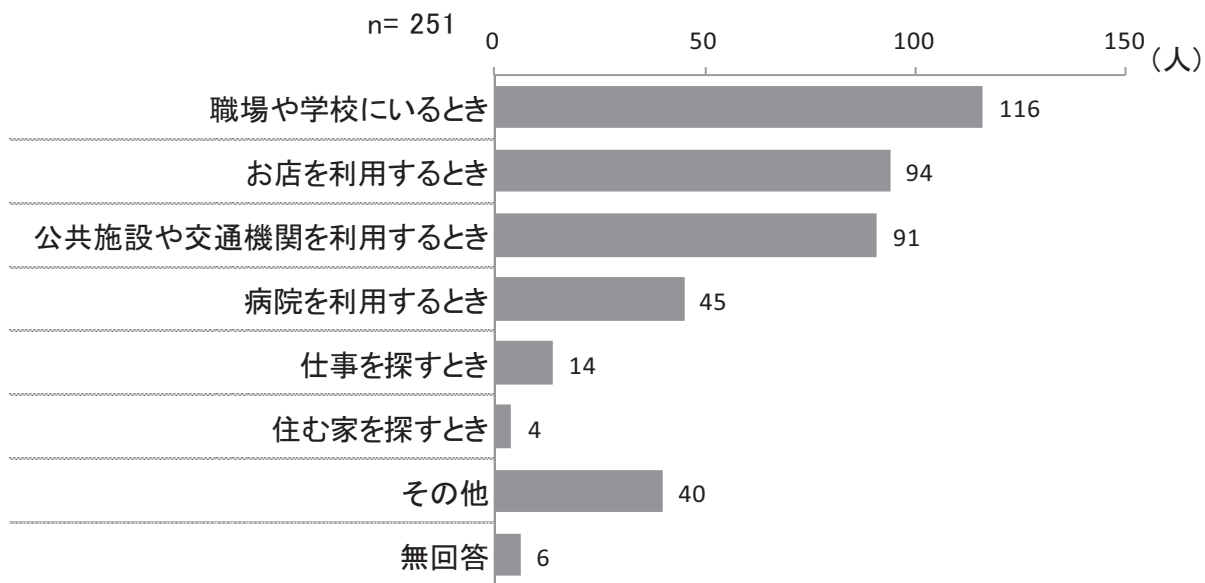
(3) 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）

【問32で「ある」、または「少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-1 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）は、「職場や学校にいるとき」が116人（46.2%）と最も多く、次いで「お店を利用するとき」が94人（37.5%）、「公共施設や交通機関を利用するとき」が91人（36.3%）となっています。



■「その他」の主な内容

保育園・幼稚園を探すとき／習い事・少年団・クラブ活動／公園や近所／子供同士の関わりの中で 等

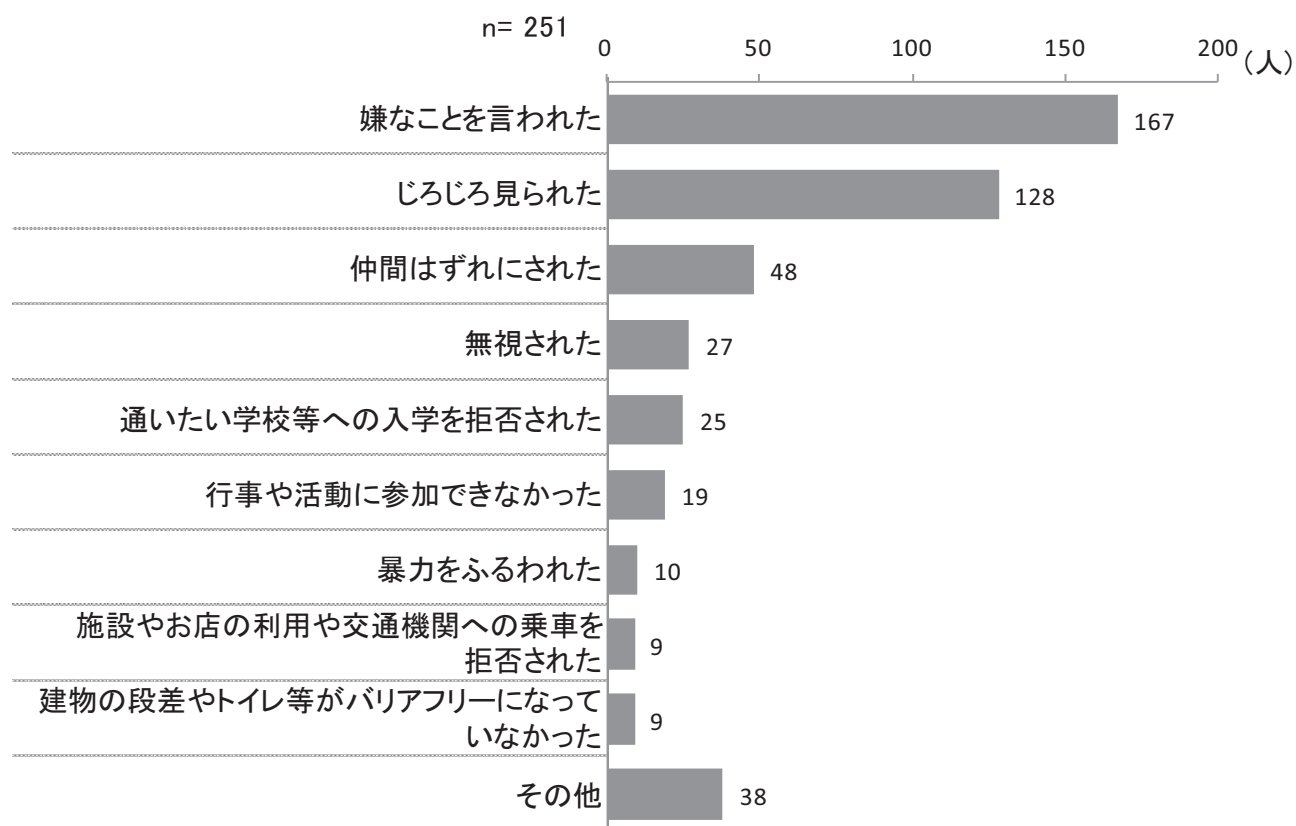
(4) 差別を受けたり、嫌な思いをした内容

【問32で「ある」、または「少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-2 差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたのはどのようなことが教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

差別を受けたり、嫌な思いをした内容については、「嫌なことを言われた」が167人（66.5%）と最も多く、次いで「じろじろ見られた」が128人（51.0%）、「仲間はずれにされた」が48人（19.1%）となっています。



■「その他」の主な内容

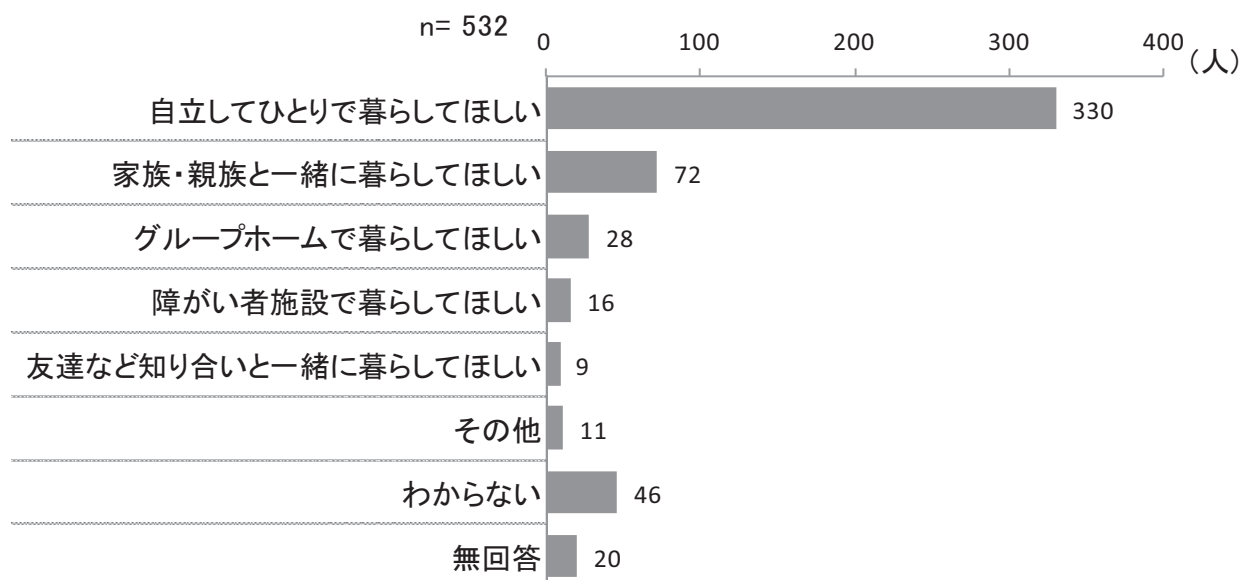
行動に対して否定される事が多かった／笑われた・からかわれた／迷惑そうにされた／役所の窓口の対応が不親切 等

10. 将来について

(1) 子どもに望む将来の暮らし方

問33 お子さまには、将来どのように暮らしてほしいですか。(〇は1つ)

子どもに望む将来の暮らし方については、「自立してひとりで暮らしてほしい」が330人(62.0%)と最も多く、次いで「家族・親族と一緒に暮らしてほしい」が72人(13.5%)、「グループホームで暮らしてほしい」が28人(5.3%)となっています。



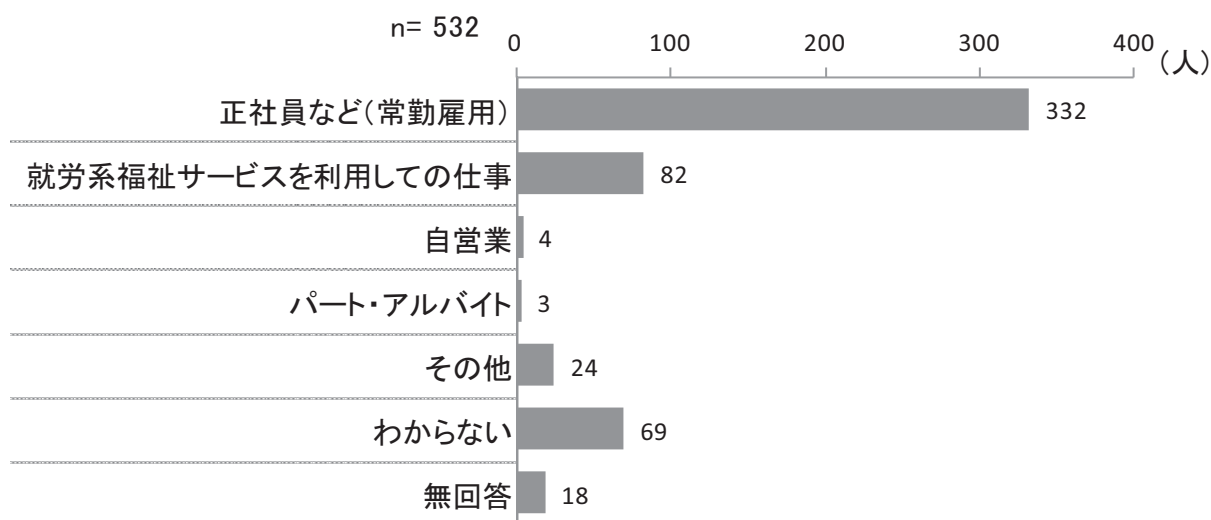
■「その他」の主な内容

本人が望む暮らし／自立を目指し生活してほしい／週末だけグループホーム 等

(2) 子どもに将来就いてほしい仕事

問34 お子さまには、将来どのような形で仕事に就いてほしいと思いますか。(〇は1つ)

子どもに将来就いてほしい仕事については、「正社員など（常勤雇用）」が332人（62.4%）と最も多く、次いで「就労系福祉サービスを利用しての仕事」が82人（15.4%）となっています。



■「その他」の主な内容

本人の好きな事・やりたい事／能力を発揮することが出来る仕事／仕事には就けない 等

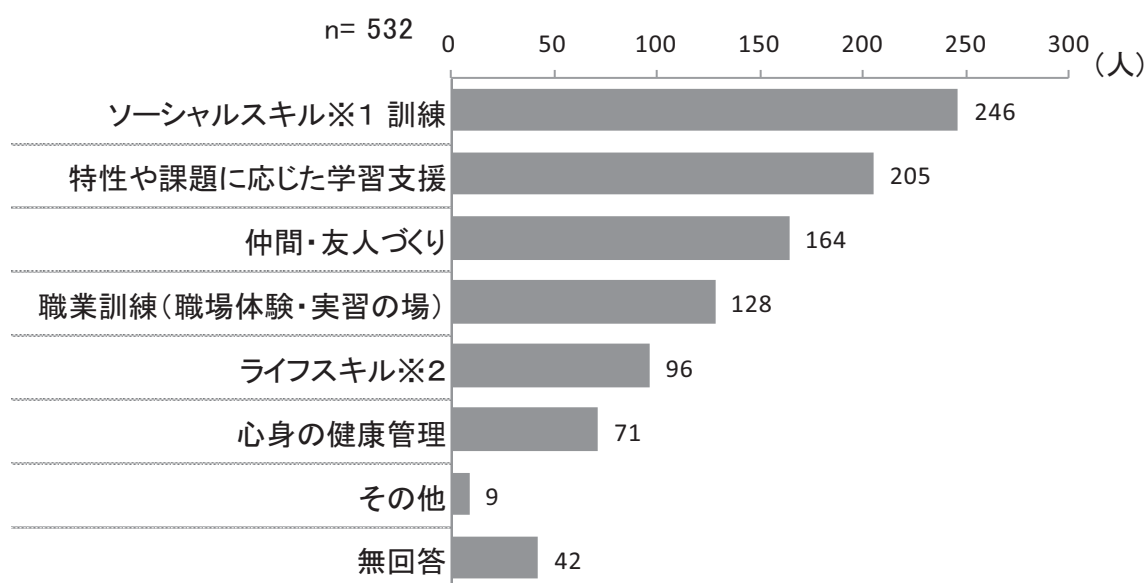
(3) 卒業後の日常生活等のために学齢期に必要な支援

問35 学校を卒業後も円滑な日常生活または社会生活を送るために、学齢期に必要なと思う支援は何ですか。(あてはまるもの2つまで○)

※1 ソーシャルスキルとは…社会生活を送る上で人との関係を確立し、円滑な人間関係を維持する術 (すべ)

※2 ライフスキルとは…移動や買い物、福祉サービスの利用方法など生きていく術 (すべ)

卒業後の日常生活等のために学齢期に必要な支援については、「ソーシャルスキル訓練」が246人 (46.2%) と最も多く、次いで「特性や課題に応じた学習支援」が205人 (38.5%)、「仲間・友人づくり」が164人 (30.8%) となっています。



■「その他」の主な内容

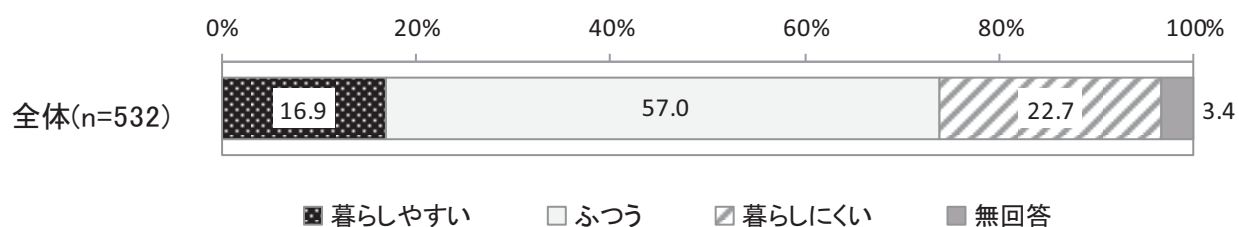
習い事や少年団など集団に所属すること／健常児と一緒にの学校で育つこと／医療との連携／小中学校の支援級に専門資格をもつ教員を配置すること／就職先を探す支援 等

11. 江別における子どもの生活について

(1) 江別のまちの暮らしやすさ

問36 江別のまちは、発達の不安や障がいのあるお子さまとその保護者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

江別のまちの暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が16.9%、「ふつう」が57.0%、「暮らしにくい」が22.7%となっています。

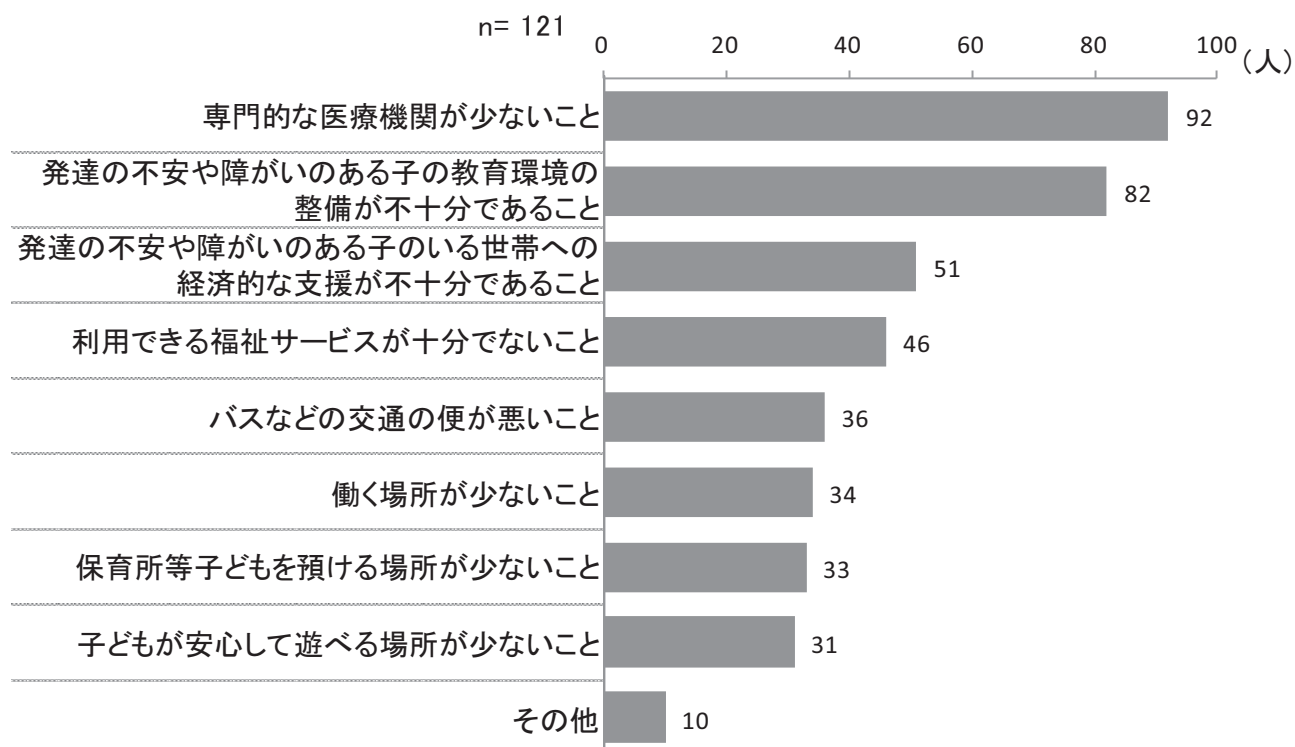


(2) 江別のまちが暮らしにくいと思う理由

【問36で、「暮らしにくい」と回答した方にお聞きます。】

問36-1 暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

江別のまちが暮らしにくいと思う理由については、「専門的な医療機関が少ないこと」が92人(76.0%)と最も多く、次いで「発達の不安や障がいのある子の教育環境の整備が不十分であること」が82人(67.8%)、「発達の不安や障がいのある子のいる世帯への経済的な支援が不十分であること」が51人(42.1%)となっています。



■「その他」の主な内容

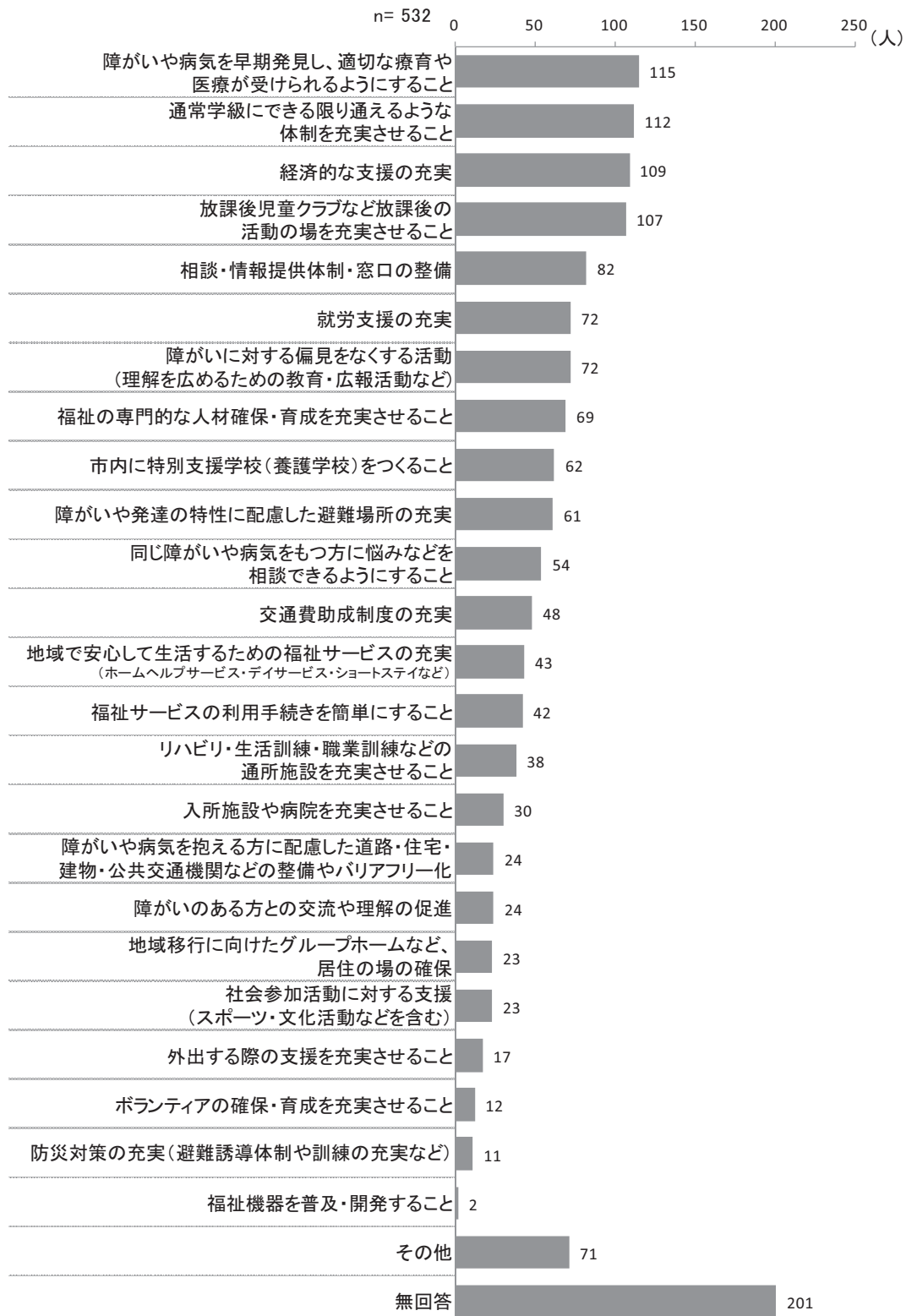
親への精神的・経済的支援が不十分／就労する場所が少ない／年配者には優しいサービスが沢山あるのに子育てに少し厳しい(助成金など) 等

12. 障がい福祉施策について

(1) 江別市が今後、力を入れるべきこと

問37 江別市が今後、力を入れるべきことは何だと思いませんか。下記の各項目からあてはまると思うものを5つまで選んで○をつけてください。(あてはまるもの5つまで○)

江別市が今後、力を入れるべきことについては、「障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療が受けられるようにすること」が115人(21.6%)と最も多く、次いで「通常学級にできる限り通えるような体制を充実させること」が112人(21.1%)、「経済的な支援の充実」が109人(20.5%)となっています。



■「その他」の主な内容

小中学校の教職員・支援員の増員／高等養護高校／現存の施設の改修や修繕／未発見のグレーゾーンにいる子どもを出来るだけ早期に見出せる環境／中学からの学習のデイサービスを充実／診察場の充実／ 等

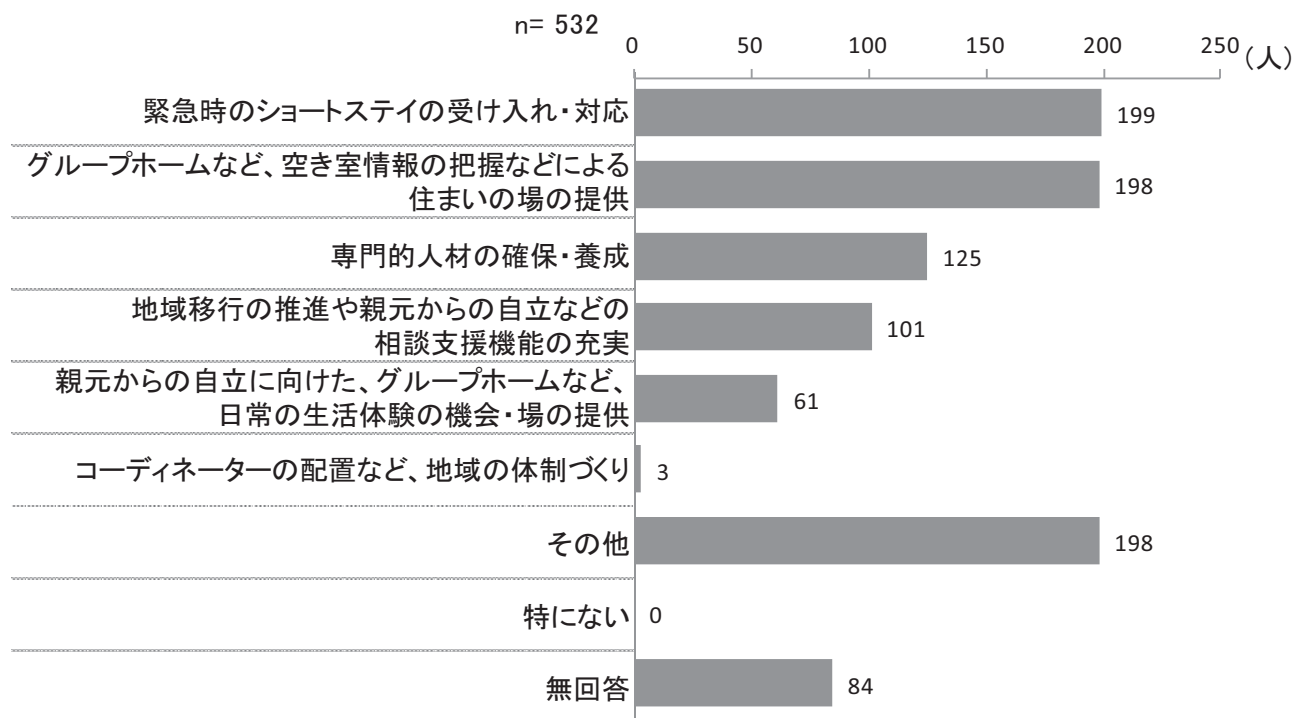
13. 地域の生活支援拠点について

（１）江別に地域生活支援拠点ができた場合に期待する機能

問38 今後、市内に地域生活支援拠点※となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。
（あてはまるもの3つまで○）

※地域生活支援拠点とは…障がい者の重度化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受入れ・地域体制づくりなど）を持つ場所や体制のことです。

江別に地域生活支援拠点ができた場合、どのような機能を期待するかについては、「緊急時のショートステイの受け入れ・対応」が199人（37.4%）と最も多く、次いで「グループホームなど、空き室情報の把握などによる住まいの場の提供」が198人（37.2%）、「専門的人材の確保・養成」が125人（23.5%）となっています。



■「その他」の主な内容

人材が充足し時間変更等の融通がきくようにする／就労の種類（人とかかわらない）を増やす／医療ケアがあっても入居できるグループホームの設置／見守るべき対象者でもあるので、常時把握できる体制づくり 等

14. 自由記載

問38 今後の障がい児福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を自由にお書きください。

今後の障がい児福祉施策や障害福祉サービスについては、201人の方から404件のご意見・ご要望をいただきました。以下、15項目に整理し、各項目の主な意見・要望を抜粋、要約して掲載しました。

項目	件数
サービスに関する意見・要望	97
教育に関する意見・要望	66
療育に関する意見・要望	19
医療に関する意見・要望	31
障がいへの理解に関する意見・要望	21
差別・偏見に関する意見・要望	10
就労に関する意見・要望	16
今後・将来に関する意見・要望	20
外出に関する意見・要望	9
交流の機会に関する意見・要望	11
災害時の対応に関する意見・要望	3
関係機関の連携に関する意見・要望	15
情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望	47
行政の対応に関する意見・要望	13
その他	26
計	404

【サービスに関する意見・要望】

- ・福祉サービスの申請はおいても、使える事業所が市内にない現状に今後のことを考えると不安です。
- ・通いたい放課後デイサービスがありますが、定員いっぱい空き待ちの状況です。他の施設をいくつか見学しましたが、症状の重いお子さんにスタッフの方がついていて、症状の軽いお子さんが放置されている状態の施設があるなど施設のレベルにばらつきがあるように感じます。
- ・学校（高等部）に行っている間は、サービスが充実していて満足しています。卒業後のサービスがほとんど使えなくなる事が理解出来ません。卒業後、進学や就職が決まった子は、いいのですが決まらない子が多い様なので、行き先が決まるまでのサービスも必要だと思います。

【教育に関する意見・要望】

- ・個別支援保育はなぜ働いている人しか入れないのでしょうか。幼稚園の入園を断られた子は5歳児まで集団の中に入れません。発達も遅れるし親も大変なのでなんとかすべきです。
- ・特別支援学級のみではなく、通常学級においても子ども達の教育に携わる全ての先生方に発達障がいを理解していただけるようになる事を望みます。
- ・支援級の生徒が支援員から声を荒げられているのを聞きました。対応は難しいとは思いますが、我が子

がこんな扱いを受けるのかと思うと悲しくなりました。第3者による監視をしてほしいです。

- ・発達障がいや敏感な子のためにも、普通級で学ぶインクルーシブ教育の充実を望みます。普通級の先生方にも基本知識として発達障がいについて理解していただきたい。
- ・中学校では支援員の数があまりにも少なすぎると思います。手のかかる子（外国人）につきっきりで見ていただく事ができません。
- ・特別支援学校の設立を早期に希望しています。中学校卒業後、札幌や他の地域に行かないで進学できるようにもうしてもらいたいです。

【療育に関する意見・要望】

- ・個別療育を充実させてほしい。
- ・放課後デイサービスや療育機関の情報が少ない。利用したい人があふれかえっているので療育機関を増やしてほしいです。
- ・専門的な療育を受けたくても、市内にはそのような場所もなく、自己流で療育的なことを自宅でしてみるも限界がある。専門の資格者の元で療育を受けたいです。
- ・発達に関する事を相談し「気になる点も見受けられる」とのことで、療育施設に通所していますが、今後療育が必要であるのか、親自身では判断がつかず困っている為（施設の方に相談しても微妙な返答）、専門の方に定期的に診ていただく機会があればと思います。

【医療に関する意見・要望】

- ・発達障がいの低年齢化に対して、早期発見、早期の療育が大切であると言われているが、江別に専門の病院や施設がなく、とても不便に感じる。
- ・今現在の発達の状況などを診断できる病院が江別市内にほしいです。
- ・小児精神科・精神ケア、小児心療内科、歯科、内科、耳鼻科、眼科、皮膚科、発達クリニック、など安心して通う事ができる病院や、障がいのある者でも大人になっても通える病院や、総合病院が市内にほしい（誘致してほしい）。
- ・定期受診等は札幌に通っているため、本人も親も通院が負担になっています。病院とは長い付き合いになるので、市内にあるといいなと思っています。
- ・江別市立病院での緊急（災害）時の身障児・者の受入組織的に行ってほしい。市民のための病院なのだから、受入拒否をしないでほしい。

【障がいへの理解に関する意見・要望】

- ・グレーゾーンに該当する子に対する支援や理解、協力が得られると良いと思います。子供の個性を大事にし、みんな違ってみんな良い世の中になってほしいです。
- ・障がいがあるからできないではなく1人の人間として自立、生活の質が上がることをはげましてくれる目線がほしいです。そのためには親はもちろんそこに関わる方も新しい知識やそれぞれの立場として、その人にあった支援をする必要があると思います。本人が何を求めているか、何の可能性があるか、本気で関わってほしいです。

【差別・偏見に関する意見・要望】

- ・障がいがあるなしに関わらず住みやすい世の中になってほしい。まだまだ差別などがあると感じています。学校でもいじめ防止などやっていますが中学校の時は外と学校の中とでは子供の対応が違います。学校では普通に接してくれますが外で会うと無視をされた事もあります。
- ・「療育を利用＝障がい有」というような目で見られがちな世の中です。だから親のエゴで利用すべき子が利用を避けているように思うことが多々あります。もっと発達支援を受けることのハードルが低くなると思います。全てはその子のためになるのだから、偏見などなく利用しやすい環境になればと思います。
- ・障がい者が住みやすい生活とは一般の方の理解が必要。大人になってからの偏見はなかなかおらず、保育園、小学校、中学校で毎日のかわり理解の教育があり、あたりまえに平等に過ごせる環境を作らないと、社会に出てからの偏見は絶対になくなる。福祉と教育は一緒にやらないとダメだと思う。

【就労に関する意見・要望】

- ・第一線のような仕事はできませんが、人の役に立っている、と思えるような仕事をゆるくでもできるような場所が欲しいです。
- ・卒業後の就職先の確保や障がいの程度により幅広い分野での活躍の場があると良いと思います。将来約束された補助（障害年金）がはっきりしないと、援助なしの状態ですぐに自立しなければならず、障がい者雇用では生活していけません。
- ・今、就労支援事業所、生活介護など空きがなくなっている様に思います。子供が何年後に卒業して就労先があるか不安です。
- ・障がい者枠のある企業を巡回訪問したり、企業と当事者の間に入ってくれる仕組みが必要だと思う。企業に理解があっても、一緒に働くスタッフに全く理解がなく、大きなトラブルになっているのを見ました。一緒に働く仲間にも理解できるような何らかの仕組みが必要だと思います。
- ・今子どもは小学生ですが、やはり一番心配なのは就労と生活です。江別市内で自立し、働き、生活できる場があってほしいと願っています。

【今後・将来に関する意見・要望】

- ・親亡き後の居場所を、生まれ育った江別につくってほしいです。
- ・障がい児本人及び家族が社会的に将来、及び経済的に安心して生活できる環境に向けた行政を心より願っています。
- ・今は、親がサポート出来るが、将来の生活が不安。早い段階から、自立に向けての特性にあった進学や職業の事を知ったり、学べたり出来る様になるとありがたいと思います。多少の障がい、特性があっても生活に困らずに（金銭的にも）日常生活が送れる社会であってほしいと思います。

【外出に関する意見・要望】

- ・外出する際気軽に支援して下さる方がいると助かります。
- ・障がいの軽度／重度に関係なく、暮らしやすい街づくり、経済的支援がますます必要になってきていると感じています。どの街にも言えることですが、障がい者が一人でも行ける、出来る街づくりを目指してほしいです。ベースを整えることで生活能力を高めてあげることができると思います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の中、マスクをめぐって色々なトラブルが起きていますね。当たり前のよう

ありマスクができません」マークのようなものがあると嬉しいです。市で配布していただくことは可能でしょうか？ヘルプマークは広めるためにもランドセル、リュック（お出かけ）にはつけています。

【交流の機会に関する意見・要望】

- ・何より親の気持ちを支えるのは最初は同じ立場の仲間です。親の会、親のネットワークになんとか多くの方をつなげて下さい。救われる方がたくさんいるはず。これをできるのは行政だと思います。
- ・障がいがあるか、ないかにかかわらず、誰もが集まって楽しめるイベントや行事、習い事、楽しいこと、あそべる施設、公園を充実させてほしい。
- ・普段（平日時）発達障がい児がのびのび遊べる場が少ないように感じます。（小学以上～）児童館もほぼ無い状態でコミュニケーションが苦手な我が子のような子は友達作りもままならず自宅で遊ぶことが多く危惧しております。同じような発達障がいを持つ子が遊べる施設を作って頂けるとうれしいです。
- ・難聴の子が（乳幼児）通って手話などで学んだり遊んだり、また親どうしの交流できる場があってもよいなど思っている。手話を学びたいのは聴こえる大人だけではなく、ろう児、難聴児またその保護者も豊かなコミュニケーションをとるために必要だということを知ってほしい。

【災害時の対応に関する意見・要望】

- ・災害時の避難場所を確保してほしいです。不安時に奇声やパニック、多動のある子（小さな子はまだしも中高生だと）が大勢の人が体育館のような場所に避難しているところには絶対に居られません。障がいに理解のあるスタッフやボランティアさんがいて「ここなら安心して身を寄せられる」と思える避難場を用意してほしいです。
- ・緊急時の対応。たぶん我が家は避難所に行くことが困難。車が通れない状況なら、子の体重は重いし、大人2人でも大変。こうした家庭と消防、行政とで、事前シミュレーションをすべきと思う。

【関係機関の連携に関する意見・要望】

- ・福祉と医療の連携があればより安心安全で過ごせると思います。市内に特別支援学校ができた場合、教育も合わせて必要になるかと思うので、横の繋がりを大切にしてより一層住みやすい江別市になると嬉しいです。
- ・小学校と幼児期療育の連携に際し、学校側の受け入れ体制や先生方の理解が不十分だと思います。
- ・教育、福祉、医療機関で情報を共有して学習支援、訓練等をしてほしいです。江別市民で良かったと思える環境づくりをお願いしたいです。
- ・進級するたびに引き継ぎが上手くできてないのかなと感じることがありました（学校）。
- ・子どもが安心して生きてゆけるために通所している施設、学校、家庭の情報共有がもっとスムーズに行えるようになればいいと思います。親が不安に感じていることや伝えたい情報を伝えやすい環境づくりをしてもらえたらなと思います。

【情報提供・相談支援・窓口の整備に関する意見・要望】

- ・グレーゾーンに対する対応（家族、支援内容）をわかりやすくしてほしい。どんな支援を受けたいのか？進学はどう選べばいいのか？医療機関を受けた方がいいのか？など。程度や判断基準がわからない。
- ・グレーゾーンの子供も支援がすぐに受けられるように、専門的な知識のある人が相談窓口が増えたらいいと思います。
- ・発達クリニックなどの医療機関の情報が乏しく敷居が高く感じてしまうので、気軽にかかれるような情報

提供や紹介などして欲しい。

- ・子供が受けることのできるであろうサービス支援、助成などの情報をどこで得たらいいのかわかりません。支援級に通っていますが、学校を通して「利用できる福祉の情報」などのお知らせを配布してほしいです。

【行政の対応に関する意見・要望】

- ・市の窓口で決めつけられる話し方をされる方がいました。すごく悩んで窓口へこられる方もたくさんいると思います。決めつけや思い込みで話すのはやめてほしいと思います。1人1人まったく子供達も違います。人それぞれ悩みも違います。
- ・病院の方や市役所の方、保健センターの方に心無い事をたくさん言われてきました。相談している時点で悩んでいる、困っていると思って頂いていると思いましたが、大した悩みではない様な事や、虐待を疑われた事もあります。専門的に理解をして頂ける人材は必要かと思います。
- ・市の窓口の方はみなさん親切に対応してくれますが、内容によって窓口が違いあちこちで手続きが必要で時間がかかります。一ヶ所で済めばいいのになと毎回思います。又、他の市では受けられていた助成（交通費など）が江別では受けられない等、引越ししてきた時、市によって色々違うということに少しおどろきました。

【その他】

- ・発達支援を受けていた事業所の職員の方たちがたくさん退職されました。理由はわかりかねますが、子どもや保護者に対して親身に接して下さる先生方でした。利用者側だけでなく、受け入れて下さる職員の方たちの処遇についても改善されると良いなと考えております。
- ・福祉のサービスを行う人たちへの支援を手厚くすることでより良いサービスにつながるのではないのでしょうか。支援の必要な子に対し職員の数が少ないように感じます。児童発達支援について不満はありませんが、もう少し福祉、保育関係者への配慮をお願いします。
- ・様々な障がい子ども達がいるので、すべての障がい児・者をカバーすることは難しいと思います。ただ、こういった形で当事者の思いや要望、求めていることを聞いてくれる姿勢はとてありがたく思います。すべての人々が希望どおりの支援やサービスを受けられたら、それが一番ですが、少しでも市として私たち一人一人にできるだけ目や耳を向けてもらいながら、今後もよりよい策を考えてほしいと願っています。

第4章 調査票

調査票記入者

今回の調査は、調査票を身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病患者、障がい児の5つの区分に分けて作成し、アンケートを配布・回収しています。

調査票は、身体障がい者と難病患者の設問を統一、知的障がい者と精神障がい者の設問を統一し、障がいの区分によって一部表現を変え、「障がい者」は2種類の調査票を作成、「障がい児」は1種類の調査票を作成しました。

ここでは、「身体障がい者」と「知的障がい者」と「障がい児」に対する調査票を掲載しています。

え べつ し 江 別 市

しょう ふく しけいかくとうさくてい かん 障 がい福祉計画等策定に関するアンケート

ひごろ しせい たい りかい きょうりょく まこと
日頃より、市政に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます
ます。

げんざい えべつし しょう うむ あんしん く
現在、江別市では障がいの有無によらず、安心して暮らせるまちづくりをすす
めるため、「障がい者支援・えべつ21プラン」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、皆様の実情やニーズを把握し、新しい計画に反映さ
せるために実施するものです。ご回答いただいた内容は、計画策定以外には使用
しませんので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力ください
ますようお願いいたします。

れいわ ねん がつ
令和2年9月

えべつしちょう み よし のぼる
江別市長 三 好 昇

きにゅう 【記入にあたって】

1 各質問は、身体障害手帳をお持ちのご本人にお聞きしていますが、ご本人の記入が
難しい場合には、ご家族や介助者、施設の職員の方が、ご本人の意見を聞いて記入し
てください。

2 視覚障がい等で記入が難しい方は、下記へご連絡ください。

3 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、

が につ 9月18日（金）までに 郵便ポストにお入れください。

4 今回の調査は、身体障害手帳をお持ちの方の中から、無作為抽出で選ばせていた
きました。

※ 障がいの「がい」の表記について

アンケートの中では、「障がい」の「がい」をひらがなで表記しております。ただし、法律
や条例、固有名詞などに使われている場合は、「障害」と表記しております。

このアンケート調査に関することは、下記へお問い合わせください。

えべつしけんこうふくしぶ しょう ふくしかしょう ふくしがかり
江別市健康福祉部 障がい福祉課障がい福祉係

でんわ
電話 011-381-1031 / ファックス 011-381-1073

Eメール fukushi@city.ebetsu.lg.jp

はじめに記入した方についてお聞きします。

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 本人（この調査票が郵送された宛名の方） | 2 本人の家族 |
| 3 家族以外の介助者 | |

問1 あなた自身（本人）のことについてお聞きします。

（1）あなた（本人）の年齢をご記入ください。

満（ ）歳（令和2年8月1日現在）

（2）あなた（本人）の性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）（※注）

- | | | |
|-----|-----|-------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他 |
|-----|-----|-------|

※注 戸籍上の区分にこだわらず、1～3の選択肢から1つ選んでご記入ください。

（3）あなた（本人）がお持ちの手帳や障がいについて教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------------|------|
| ●1 身体障害者手帳 ⇒（ ）級 | (4)へ |
| 2 知的障がい ⇒（療育手帳（A・B）） | |
| 3 精神障がい（精神障害者保健福祉手帳 ⇒（ ）級） | |
| 4 自立支援医療受給者証（精神通院） | |
| 5 難病（病名 | ） |

→（4）【問1（3）で「1 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

認定を受けた障がいを教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 視覚 | 2 聴覚 | 3 音声・言語 |
| 4 平衡機能 | 5 上肢 | 6 下肢 |
| 7 体幹 | 8 心臓 | 9 ぼうこう・直腸 |
| 10 小腸 | 11 じん臓 | 12 呼吸器 |
| 13 免疫機能 | 14 肝臓 | |

問2 あなたと一緒に生活している方についてお聞きします。

(1) あなたと一緒に生活している方は、どなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 父母・祖父母・兄弟姉妹	2 配偶者(夫または妻)
3 子ども	4 いない(一人で暮らしている)
5 その他()	

(2) あなたの世帯で主に生計を立てている方は、どなたですか。(あてはまる番号1つに○)

1 本人	2 配偶者	3 おや親	4 子ども
5 その他()			

(3) (2)の方の主な収入は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1 年金	2 給与	3 自営	4 その他()
------	------	------	----------

問3 あなたの暮らしについてお聞きします。

(1) あなたは現在どのように暮らしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1 一人で暮らしている
2 家族と暮らしている
3 グループホームで暮らしている
4 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている
5 病院に入院している
6 その他()

(2) 【問3(1)で4または5と回答した方にお聞きします。】

あなたは今後3年以内に地域で生活したいですか。(あてはまる番号1つに○)

1 今のまま生活したい	2 グループホームなどを利用したい
3 家族と一緒に生活したい	4 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5 その他()	

問4 介護や支援の状況についてお聞きします。

(1) あなたを介護や支援をしている方は、主にどなたですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ● 1 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 2 ホームヘルパーや施設の職員 |
| ● 3 配偶者(夫または妻) | 4 知人・友人 |
| ● 5 子ども | 6 ボランティア |
| 7 介護や支援を受けていない | 8 その他() |

➡(2) 【問4(1)で1または3または5と回答した方にお聞きします。】

あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、健康状態を教えてください。

① 年齢

満()歳 (令和2年8月1日現在)

② 健康状態(あてはまる番号1つに○)

1 よい 2 ふつう 3 よくない

問5 障がい者手帳や自立支援医療受給者証(精神通院)の交付を受けたときのことについてお聞きします。

(1) 今から考えて、手帳や受給者証の交付を受けたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。(あてはまる番号3つまで○)

- 1 障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること
- 2 障害福祉サービスの申請に関すること
- 3 手帳や受給者証の交付申請に関すること
- 4 手帳や受給者証の制度に関すること
- 5 雇用に関すること
- 6 経済的な支援に関すること
- 7 精神的な不安や孤独感をやわらげるための支援に関すること
- 8 その他()

問6 福祉に関するサービスについてお聞きします。

- (1) 現在利用している障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況、利用してみ
 の評価、今後、利用したいかについて、【記入例】を参考に、各欄に○をつけてください。
 (利用しているサービスの種類が分からない方は、お手持ちの障害福祉サービス受給者証を
 ご覧ください。なお、サービスを利用していない方は、今後、利用したい欄にご記入ください。)

サービスの種類		利用している	評価			今後 利用したい
			満足	ふつう	不満	
【記入例】障害福祉サービス		○	⇒ ○			⇒ ○
訪問 (ほうもん)	1 居宅介護 (ホームヘルプ) ヘルパーが家に行き、入浴、食事の用意、掃除、洗濯などを手伝う		⇒			
	2 重度訪問介護 ヘルパーが重い障がいのある方の家に行き、日常生活や外出を手伝う		⇒			
	3 同行援護 視覚障がいのある方が外出し、活動できるように手伝う		⇒			
	4 行動援護 知的、精神障がいのある方が外出し、活動できるように手伝う		⇒			
	5 重度障害者等包括支援 重い障がいがある方が生活するために必要なサービスを組み合わせ提供		⇒			
日中活動 (にちゅうかつどう)	6 生活介護 重い障がいのある方の食事や入浴などを手伝い、創作活動や生産活動の機会を提供		⇒			
	7 自立訓練 (機能訓練) 一定期間、体をうまく動かすことができるように訓練を実施		⇒			
	8 自立訓練 (生活訓練) 一定期間、自分の身の回りのことができるように訓練を実施		⇒			
	9 就労移行支援 会社に就職するために必要な知識や能力を身につける訓練を実施		⇒			
	10 就労継続支援 (A型) 会社で働くことが難しい方に、会社以外の事業所で雇用契約を結び働く機会を提供		⇒			

サービスの種類		利用している	評価			今後、利用したい
			満足	ふつう	不満	
日中活動（につちゆうかつどう）	11 就労継続支援（B型） 会社で働くことが難しい方に、会社以外の事業所で雇用契約を結ばず、支援を受けながら働くことのできる機会を提供		⇒			
	12 就労定着支援 会社で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を実施		⇒			
	13 療養介護 医療と常に介護を必要とする方に、医療機関で機能訓練、看護、介護などを実施		⇒			
	14 短期入所（ショートステイ） 家族の用事や休養のため、短期間、施設で食事や入浴などを手伝う		⇒			
住まい（すまい）	15 自立生活援助 施設入所や共同生活援助（グループホーム）を利用していた障がいのある方が、居宅生活を営むために、訪問や相談により、助言などを実施		⇒			
	16 共同生活援助（グループホーム） 障がいのある方たちが一緒に暮らすアパートや家で、夜間や休日に、世話人が日常生活を手伝う		⇒			
	17 施設入所支援 入所している施設で、夜間や休日に、食事や入浴などを手伝う		⇒			
相談（そうだん）	18 地域移行支援 施設で暮らしている方や入院をしている方が地域での暮らしを始めるとき、相談や住むところの確保などを支援		⇒			
	19 地域定着支援 ひとり暮らしをしている方や、家庭の状況などにより同居している家族による支援を受けられない方といつでも連絡をとれるようにして、緊急時の連絡・相談などの支援を行う		⇒			
	20 計画相談支援 障害福祉サービス又は地域相談支援（※注）を利用するすべての障がいのある方を対象に、サービス等利用計画の作成やサービス事業者との連絡調整、モニタリング（利用状況を確認し、計画の見直し）などを行う		⇒			

※注 地域相談支援とは、地域移行支援及び地域定着支援のことです。

サービスの種類		利用している	評価			今後利用したい
			満足	ふつう	不満	
地域生活支援事業（ちいきせいかつしえんじぎょう）	1 相談支援事業（※ 注） 障がいのある方の福祉に関する相談、情報提供などを実施		⇒			
	2 コミュニケーション支援事業 手話通訳者などの派遣		⇒			
	3 日常生活用具給付等事業 重い障がいのある方に、自立生活支援用具などの日常生活用具を給付		⇒			
	4 移動支援事業 屋外での移動が困難な障がいのある方への社会参加などのための支援		⇒			
	5 地域活動支援センター 創作的活動や社会との交流をすすめるなど多様な活動を実施。市内には「あすか地域活動支援センター」がある		⇒			
	6 日中一時支援事業 日中、家族の病気や外出のときに、障害福祉サービス事業所などにおいて活動の場の提供や見守りを実施		⇒			
	7 訪問入浴サービス 移動入浴車が家庭を訪問し、入浴サービスを実施		⇒			
	8 スポーツ大会・教室への参加 身体障がいのある方の福祉ダンスやボウリング大会を開催		⇒			
	9 点字広報、声の広報の利用 視覚障がいのある方に点訳、朗読した広報誌を郵送		⇒			
	10 重度訪問介護利用者大学修学支援事業 重度障がい者が大学に修学するために必要な身体介護などの提供を実施		⇒			

※ 注 相談支援事業は、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）で実施している事業のことです。

(2) (1) の利用の評価で「不満」と答えた方や現在サービスを利用していない方にお聞きします。どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思いますか。（あてはまる番号3つまで○）

1 サービスの内容をわかりやすくする	2 利用者負担を小さくする
3 制限なくサービスが利用できるようにする	4 利用できる事業所がある
5 サービスの質、水準が十分	6 手続きが簡単
7 その他（	）

(3) あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 りよう 利用している 2 りよう 利用していない

→ (4) 【問6(3)で「1 利用している」と回答した方にお聞きします。】

がいとう 該当する要介護度は何ですか(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 <small>ようしえん</small> 要支援1 | 2 <small>ようしえん</small> 要支援2 | 3 <small>ようかいご</small> 要介護1 |
| 4 <small>ようかいご</small> 要介護2 | 5 <small>ようかいご</small> 要介護3 | 6 <small>ようかいご</small> 要介護4 |
| 7 <small>ようかいご</small> 要介護5 | | |

問7 がいしゅつ 外出の状況についてお聞きします。

(1) がいしゅつ 外出する頻度は、およそどのくらいですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1 <small>まいにち</small> 毎日 | 2 <small>しゅう</small> 週に3～5回 | 3 <small>しゅう</small> 週に1、2回 |
| 4 <small>つき</small> 月に数回 | 5 <small>ねん</small> 年に数回(ほとんど外出不しい) | |
| 6 <small>がいしゅつ</small> まったく外出不しい | 7 <small>た</small> その他() | |

(2) がいしゅつ 外出する主な目的は、何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 1 <small>つうがく</small> 通学 | 2 <small>つうしょ</small> 通所・就労継続支援 | 3 <small>しごと</small> 仕事 |
| 4 <small>か</small> 買い物 | 5 <small>つういん</small> 通院・リハビリ | 6 <small>さんぽ</small> 散歩 |
| 7 <small>しゅみ</small> サークルや趣味の活動 | 8 <small>ゆうじん</small> 友人・知人との交流 | |
| 9 <small>た</small> その他() | | |

(3) がいしゅつ 外出するとき、利用する主な交通移動手段は、何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 <small>とほ</small> 徒歩 | 2 <small>くるま</small> 車いす |
| 3 <small>じてんしゃ</small> 自転車・オートバイ | 4 <small>じぶん</small> 自分で運転する自動車 |
| 5 <small>かぞく</small> 家族、知人が運転する自動車 | 6 <small>こうきょう</small> 公共交通機関(バス、JRなど) |
| 7 タクシー | 8 <small>た</small> その他() |

(4) 外出する際は、主にどなたと一緒にですか。(あてはまる番号1つに○)

1 一人で外出	2 家族	3 知人やボランティア
4 福祉の介護者、ホームヘルパー	5 その他 ()	

(5) 外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

1 歩道の段差・障害物の解消・点字ブロックの設置	
2 建物の入り口や内部の段差の解消や手すりの設置	
3 音の出る信号・見えやすい道路標識	
4 障がい者対応の車両を増やす(介護タクシー、低床バスなど)	
5 障がい者用の駐車場の確保	
6 障がい者用のトイレ、スロープ、エレベーターの確保	
7 休憩場所の確保	8 交通費への公費助成の充実
9 外出時の介護者、支援者の派遣	10 バリアフリーの情報
11 その他 ()	

(6) 市内で利用しやすい場所はどこですか。(あてはまる番号3つまで○)

1 職場や学校	2 市役所	3 市役所以外の公共施設
4 市立病院	5 その他の病院	6 通所施設・就労継続支援事業所
7 郵便局	8 商店街	9 商店街以外の商業施設
10 駅	11 銀行	12 その他 ()
13 特になし		

(7) あなたは、普段どれくらいスポーツ(ウォーキング・健康体操などの運動、サイクリング・キャンプなどのレクリエーションを含む)をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 週に3日以上	2 週に1～2日	3 月に1～3日
4 3か月に1～2日	5 年に1～3日	6 全くしていない

問8 社会参加の状況についてお聞きします。

(1) 家族以外の方との交流について、どのようなものがありますか。

(あてはまる番号3つまで○)

1 近所の方とあいさつをする程度	2 近所の方と世間話をする程度
3 自治会や地域の団体の活動に参加する	
4 一緒に出かけたり、親しく付き合っている方がいる	5 職場の人との交流
6 趣味の仲間との交流	7 特に付き合いはない
8 その他 ()	

(2) 障がいのある方が社会参加するときに、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまる番号3つまで○)

1 経済的な支援に関すること	2 周囲の理解や協力
3 一緒に参加する仲間	4 参加するための交通手段
5 暮らしに関する情報へのアクセスや提供	
6 社会活動に参加する際の、介護や支援	
7 その他 ()	

(3) 現在、あなたが参加している社会活動は何ですか。また、今後、参加してみたい活動は何ですか。(下の選択肢からそれぞれ3つまで選択し、解答欄に番号を記入してください。)

◆現在、参加している活動(3つまで)	()、()、()
◆今後、参加してみたい活動(3つまで)	()、()、()

【選択肢】	1 自治会の行事への参加	2 ボランティアや社会貢献の活動
	3 趣味やサークルの活動	
	4 インターネットなどを利用した情報発信、情報交換	
	5 スポーツやレクリエーションに関する活動	
	6 講演会や学習会などの学習活動	
	7 障がい者同士の交流活動	
	8 ボランティアや手話通訳など、介護者や支援者を育成する活動	
	9 市民に対し、障がい福祉に関することを広げる活動	
	10 市民に対し、心身の健康に関することを広げる活動	
	11 その他 ()	

問9 就労についてお聞きします。

(1) 現在、働いていますか。(あてはまる番号1つに○)

1 働いている	2 働いていない
---------	----------

↓ (①～⑥の1つに○) ↓ (①～⑥の1つに○)

① 正社員 ② 正社員以外のフルタイム勤務 ③ 正社員以外の短時間勤務 ④ 自営業 ⑤ 就労継続支援 ⑥ その他()	① 求職中 ⇒ (11ページ(4)以降回答) ② 障がいや病気のため働くことができない ③ 働くことを希望していない ④ 高齢である ⑤ 施設に入所している ⑥ その他()
--	--

11ページ(5)以降回答

11ページ 問10以降回答

(2) 【問9(1)で「1 働いている」と回答した方にお聞きします。】

仕事に就くきっかけは何でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1 ハローワークの紹介	2 相談機関
3 就労移行支援など福祉的就労	4 学校での進路指導・実習
5 職業訓練校などの指導・紹介	6 知人の紹介
7 親族の紹介	8 障がい者団体の紹介
9 親の後を継いだ	10 新聞・広告などで自分で探した
11 その他()	

(3) 現在の仕事について、悩みや不満などがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 仕事の内容や労働条件(労働時間や日数など)が障がいの程度にあっていない	
2 仕事の内容や労働条件(労働時間や日数など)が希望にあわない	
3 職場の障がいに対する理解が不足している	
4 職場の人間関係がうまくいかない	5 通勤が大変である
6 トイレなどの職場の設備が不十分	7 賃金や待遇面で不満がある
8 周囲の目が気になる	9 周囲の方の手助けが得られない
10 自分の考えや思ったことが伝えられない	
11 相談できる方がいない	
12 その他()	
13 特に悩みや不満はない	

(4) 今後どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 正社員	2 正社員以外のフルタイム勤務
3 正社員以外の短時間勤務	4 自営業
5 就労継続支援	6 その他 ()

(5) 障がいのある方が働くために必要なこと、また、どのようなことがあれば働けると思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

1 就労に適した設備、機器	2 通勤など交通手段の整備
3 障がいの程度にあった仕事	4 障がい者に配慮された勤務時間
5 障がいへの理解	6 雇用契約や身分の保障
7 就労訓練の充実	8 仕事の斡旋や仲介
9 障がいのある方が働くことを支援する相談窓口	
10 専門的な支援員の配置 (ジョブコーチなど)	
11 その他 ()	

問10 人権・権利擁護についてお聞きします。

(1) これまで障がいがあることによって差別や嫌な思いをしたことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 ある ⇒ (2) へ	2 少しある ⇒ (2) へ	3 ない ⇒ (3) へ
--------------	----------------	--------------

(2) 【問10(1)で「1 ある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】
差別や嫌な思いの内容とそのような思いをした場所について教えてください。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【内容】	1 差別的な扱い	2 差別的な発言	3 その他
	具体的な		
【場所】	1 学校・職場	2 仕事を探すとき	3 外出先
	4 余暇を楽しむとき	5 病院などの医療機関	6 住んでいる地域
	7 その他 ()		

(3) あなたは成年後見制度（※ 注）を知っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- 1 制度の内容や手続き方法を知っている
- 2 制度の内容を大まかに知っている
- 3 名前だけ知っている
- 4 よく知らない

※ 注 成年後見制度とは…認知症、知的 障 がい、精神 障 がいなどの理由で判断能 力が低下した方々を保護し、支援する制度です。

問 1 1 安全対策についてお聞きします。

(1) あなたは避難行動要支援者支援制度（※ 注）（災害時要援護者避難支援制度）を知っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- 1 知っていて申請している
- 2 聞いたことはあるが申請はしていない
- 3 知らない

※ 注 避難行動要支援者支援制度とは…一人暮らしの高齢者や 障 がいのある方など災害が起きたときに手助け（支援）を必要とする方に対して、自治会、自主防災会、民生委員・児童委員、近所の方など地域が連携して支援をしていく制度です。

(2) 水害や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1 投薬や治療が受けられない
- 2 補装具の使用が困難になる
- 3 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
- 4 救助を求めることができない
- 5 安全なところまで、迅速に避難することができない
- 6 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 7 周囲とのコミュニケーションがとれない
- 8 避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安
- 9 その他()
- 10 特にない

問12 障がい福祉に関する情報についてお聞きします。

(1) 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------------------|-------------|---------------|
| 1 新聞 | 2 テレビやラジオ | 3 インターネット |
| 4 雑誌・書籍 | 5 市の広報や市の窓口 | 6 福祉団体のパンフレット |
| 7 家族・知人 | 8 職場や通所先の方 | 9 民生委員・児童委員 |
| 10 施設・病院の職員やホームヘルパーなどの介護者 | | |
| 11 その他() | | |

(2) 障がい福祉の情報について、どのようなものが必要だと思いますか。
(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 福祉制度や障害福祉サービスに関すること | 2 医療に関すること |
| 3 仕事や就労に関すること | 4 学校や教育に関すること |
| 5 療育・保育に関すること | 6 住んでいる地域に関すること |
| 7 趣味やスポーツ、レクリエーションなどに関すること | |
| 8 障がいがあっても参加できるイベント、行事に関すること | |
| 9 障がい者を支援してくれるボランティアのこと | |
| 10 その他() | |

問 1 3 相談したいことや相談方法についてお聞きします。

(1) 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 |
| 3 相談支援専門員 (※注 1) | 4 相談支援機関の職員 (※注 2) |
| 5 医療機関の職員 | 6 障害福祉サービス事業所の職員 |
| 7 市役所の職員 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 相談する相手がいない | 10 相談することはない |
| 11 その他 () | |

※注 1 相談支援専門員とは、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある人の全般的な相談支援を行う人のことです。

※注 2 相談支援機関とは、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

(2) 相談したいことは、主にどのようなことですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 日常生活のこと | 2 家族や人間関係のこと |
| 3 障がいや病気のこと | 4 仕事や学校のこと |
| 5 社会参加のこと | 6 教育・療育・保育のこと |
| 7 住宅のこと | 8 経済的なこと |
| 9 福祉制度や福祉サービスのこと | 10 その他 |

(3) どのような「相談場所・体制」が望ましいと思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

- | |
|---------------------------|
| 1 福祉施設や病院など、よく通う場所での相談 |
| 2 街なかや駅など便利な場所での相談 |
| 3 市役所、保健所などでの相談 |
| 4 自宅に来てもらっての相談 |
| 5 地域で気軽に話せる相談員との相談 |
| 6 電話やファックス、Eメールによる相談 |
| 7 介護・医療・障がいなど連携された相談体制 |
| 8 病院から地域、施設から地域へ移行できる相談体制 |
| 9 その他 () |

問14 江別における障がい者の生活についてお聞きします。

(1) 江別のまちは、障^{しょう}がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

- 1 暮らしやすい 2 ふつう 3 暮らしにくい

(2) 【問14(1)で「3 暮らしにくい」と回答した方にお聞きします。】
暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用できる福祉サービスが十分でないこと
- 2 専門的な医療機関が少ないこと
- 3 障がいのある方が利用できる施設が少ないこと
- 4 バスなどの交通の便が悪いこと
- 5 障がいのある方の働く場所が少ないこと
- 6 バリアフリー化された住宅が少ないこと
- 7 地域住民の理解や協力が少ないこと
- 8 生活費や医療費等にお金がかかること
- 9 その他（

問15 ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠点についてお聞きします。

(1) 今後、市内に地域生活支援拠点（※注）となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。（あてはまる番号3つまで○）

- 1 ちい きい こう すいしん おやもと じりつ そうだんし えんき のう じゅうじつ
地域移行の推進や親元からの自立などの相談支援機能の充 実
- 2 きんきゅう じ う い たいおう
緊 急時のショートステイの受け入れ・対応
- 3 たいけん きかい ば ていきょう
グループホームなど、体験の機会・場の 提 供
- 4 あ しつじょうほう はあく す ば ていきょう
グループホームなど、空き室情報などの把握などによる住まいの場の 提 供
- 5 せんもんてきじんざい かくほ ようせい
専門的人材の確保・養成
- 6 はいち ちいき たいせい
コーディネーターの配置など、地域の体制づくり
- 7 た
その他（ ）
- 8 とく
特にない

※ 注 ちゆう ちい せい かい かつ し えん きょ てん しやう しゃ じゅう どうか こう れい かい おや な あと み す きょ じゅう
地域生活支援拠点とは… 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居 住
し えん きょ のう ちい けい し えん きょ のう そう だん きん きゅう じ う けい ちい きた い せい も
支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受入れ・地域体制づくりなど）を持
ば し ょ た い せい
つ 場所や体制のことです。

問 16 障がい福祉施策についてお聞きします。

江別市の取り組みについてどの程度満足していますか。また、江別市が今後、力をいれるべきことは何だと思えますか。【記入例】を参考に、該当する各欄に○をつけてください。

障がい福祉施策の種類	評価			重要度	
	満足	ふつう	不満	重要である	重要でない
【記入例】 江別市の取り組み	○			○	
1 相談・情報提供体制・窓口の整備					
2 障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける					
3 介護・医療・障がいなど連携された相談体制					
4 福祉サービス（ホームヘルプ、ショートステイなど）					
5 防災対策の充実（避難誘導體制や訓練の充実など）					
6 福祉サービスの利用手続き					
7 地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保					
8 入所施設や病院の充実					
9 道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化					
10 リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実					
11 就労支援の充実					
12 外出する際の支援を充実					
13 社会参加活動に対する支援（スポーツ、文化活動など含む）					
14 障がいに対する偏見をなくす活動（教育や広報など）					
15 障がいのある方との交流や理解の促進					
16 同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談					
17 経済的な支援の充実					
18 交通費助成制度の充実					
19 福祉の専門的な人材確保・育成を充実					
20 ボランティアの確保・育成を充実					

とい こんご しょう ふくししさく しょうがいふくし ほんにん かぞく いけん ようぼう
問 17 今後の障がい福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を
じゅう か
自由にお書きください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

この調査票は、同封の封筒に入れて、9月18日（金）までに投函してください。

江 別 市

障がい福祉計画等策定に関するアンケート

日頃より、市政に対し、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

現在、江別市では障がいの有無によらず、安心して暮らせるまちづくりをすすめるため、「障がい者支援・えべつ21プラン」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、皆様の実情やニーズを把握し、新しい計画に反映させるために実施するものです。ご回答いただいた内容は、計画策定以外には使用しませんので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年9月

江別市長 三好 昇

【記入にあたって】

1 各質問は、療育手帳をお持ちのご本人にお聞きしていますが、ご本人の記入が難しい場合には、ご家族や介助者、施設の職員の方が、ご本人の意見を聞いて記入してください。

2 視覚障がい等で記入が難しい方は、下記へご連絡ください。

3 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、

9月18日（金）までに郵便ポストにお入れください。

4 今回の調査は、療育手帳をお持ちの方の中から、無作為抽出で選ばせていただきました。

※障がいの「がい」の表記について

アンケートの中では、「障がい」の「がい」をひらがなで表記しております。ただし、法律や条例、固有名詞などに使われている場合は、「障害」と表記しております。

このアンケート調査に関することは、下記へお問い合わせください。

江別市健康福祉部 障がい福祉課障がい福祉係

電話 011-381-1031 / ファックス 011-381-1073

Eメール fukushi@city.ebetsu.lg.jp

はじめに記入した方についてお聞きします。

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。（あてはまる番号1つに○）

- 1 本人（この調査票が郵送された宛名の方） 2 本人の家族
3 家族以外の介助者

問1 あなた自身（本人）のことについてお聞きします。

（1）あなた（本人）の年齢をご記入ください。

満（ ）歳（令和2年8月1日現在）

（2）あなた（本人）の性別を教えてください。（あてはまる番号1つに○）（※注）

- 1 男 2 女 3 その他

※注 戸籍上の区分にこだわらず、1～3の選択肢から1つ選んでご記入ください。

（3）あなた（本人）がお持ちの手帳や障がいについて教えてください。
（あてはまる番号すべてに○）

- 1 身体障害者手帳 ⇒（ ）級 (4)へ
2 知的障がい ⇒（療育手帳（A・B））
3 精神障がい（精神障害者保健福祉手帳 ⇒（ ）級）
4 自立支援医療受給者証（精神通院）
5 難病（病名）

→（4）【問1（3）で「1 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

認定を受けた障がいを教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 視覚 | 2 聴覚 | 3 音声・言語 |
| 4 平衡機能 | 5 上肢 | 6 下肢 |
| 7 体幹 | 8 心臓 | 9 ぼうこう・直腸 |
| 10 小腸 | 11 じん臓 | 12 呼吸器 |
| 13 免疫機能 | 14 肝臓 | |

問2 あなたと一緒に生活している方についてお聞きします。

(1) あなたと一緒に生活している方は、どなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

1 父母・祖父母・兄弟姉妹	2 配偶者(夫または妻)
3 子ども	4 いない(一人で暮らしている)
5 その他()	

(2) あなたの世帯で主に生計を立てている方は、どなたですか。(あてはまる番号1つに○)

1 本人	2 配偶者	3 おや親	4 子ども
5 その他()			

(3) (2)の方の主な収入は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1 年金	2 給与	3 自営	4 その他()
------	------	------	----------

問3 あなたの暮らしについてお聞きします。

(1) あなたは現在どのように暮らしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1 一人で暮らしている
2 家族と暮らしている
3 グループホームで暮らしている
4 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている
5 病院に入院している
6 その他()

→ (2) 【問3(1)で4または5と回答した方にお聞きします。】

あなたは今後3年以内に地域で生活したいですか。(あてはまる番号1つに○)

1 今のまま生活したい	2 グループホームなどを利用したい
3 家族と一緒に生活したい	4 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5 その他()	

問4 介護や支援の状況についてお聞きします。

(1) あなたを介護や支援をしている方は、主にどなたですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ● 1 父母・祖父母・兄弟姉妹 | 2 ホームヘルパーや施設の職員 |
| ● 3 配偶者(夫または妻) | 4 知人・友人 |
| ● 5 子ども | 6 ボランティア |
| 7 介護や支援を受けていない | 8 その他() |

➡(2) 【問4(1)で1または3または5と回答した方にお聞きします。】

あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、健康状態を教えてください。

① 年齢

満()歳 (令和2年8月1日現在)

② 健康状態 (あてはまる番号1つに○)

1 よい 2 ふつう 3 よくない

問5 障がい者手帳や自立支援医療受給者証(精神通院)の交付を受けたときのことについてお聞きします。

(1) 今から考えて、手帳や受給者証の交付を受けたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。(あてはまる番号3つまで○)

- 1 障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること
- 2 障害福祉サービスの申請に関すること
- 3 手帳や受給者証の交付申請に関すること
- 4 手帳や受給者証の制度に関すること
- 5 雇用に関すること
- 6 経済的な支援に関すること
- 7 精神的な不安や孤独感をやわらげるための支援に関すること
- 8 その他()

問6 福祉に関するサービスについてお聞きします。

- (1) 現在利用している障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況、利用してみ
 の評価、今後、利用したいかについて、【記入例】を参考に、各欄に○をつけてください。
 (利用しているサービスの種類が分からない方は、お手持ちの障害福祉サービス受給者証を
 ご覧ください。なお、サービスを利用していない方は、今後、利用したい欄にご記入ください。)

サービスの種類		利用している	評価			今後 利用したい
			満足	ふつう	不満	
【記入例】障害福祉サービス		○	⇒ ○			○
訪問 (ほうもん)	1 居宅介護 (ホームヘルプ) ヘルパーが家に行き、入浴、食事の用意、掃除、洗濯などを手伝う		⇒			
	2 重度訪問介護 ヘルパーが重い障がいのある方の家に行き、日常生活や外出を手伝う		⇒			
	3 同行援護 視覚障がいのある方が外出し、活動できるように手伝う		⇒			
	4 行動援護 知的、精神障がいのある方が外出し、活動できるように手伝う		⇒			
	5 重度障害者等包括支援 重い障がいがある方が生活するために必要なサービスを組み合わせ提供		⇒			
日中活動 (にちゅうかつどう)	6 生活介護 重い障がいのある方の食事や入浴などを手伝い、創作活動や生産活動の機会を提供		⇒			
	7 自立訓練 (機能訓練) 一定期間、体をうまく動かすことができるように訓練を実施		⇒			
	8 自立訓練 (生活訓練) 一定期間、自分の身の回りのことができるように訓練を実施		⇒			
	9 就労移行支援 会社に就職するために必要な知識や能力を身につける訓練を実施		⇒			
	10 就労継続支援 (A型) 会社で働くことが難しい方に、会社以外の事業所で雇用契約を結び働く機会を提供		⇒			

サービスの種類		利用している	評価			今後、利用したい
			満足	ふつう	不満	
日中活動（につちゆうかつどう）	11 就労継続支援（B型） 会社で働くことが難しい方に、会社以外の事業所で雇用契約を結ばず、支援を受けながら働くことのできる機会を提供		⇒			
	12 就労定着支援 会社で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を実施		⇒			
	13 療養介護 医療と常に介護を必要とする方に、医療機関で機能訓練、看護、介護などを実施		⇒			
	14 短期入所（ショートステイ） 家族の用事や休養のため、短期間、施設で食事や入浴などを手伝う		⇒			
住まい（すまい）	15 自立生活援助 施設入所や共同生活援助（グループホーム）を利用していた障がいのある方が、居宅生活を営むために、訪問や相談により、助言などを実施		⇒			
	16 共同生活援助（グループホーム） 障がいのある方たちが一緒に暮らすアパートや家で、夜間や休日に、世話人が日常生活を手伝う		⇒			
	17 施設入所支援 入所している施設で、夜間や休日に、食事や入浴などを手伝う		⇒			
相談（そうだん）	18 地域移行支援 施設で暮らしている方や入院をしている方が地域での暮らしを始めるとき、相談や住むところの確保などを支援		⇒			
	19 地域定着支援 ひとり暮らしをしている方や、家庭の状況などにより同居している家族による支援を受けられない方といつでも連絡をとれるようにして、緊急時の連絡・相談などの支援を行う		⇒			
	20 計画相談支援 障害福祉サービス又は地域相談支援（※注）を利用するすべての障がいのある方を対象に、サービス等利用計画の作成やサービス事業者との連絡調整、モニタリング（利用状況を確認し、計画の見直し）などを行う		⇒			

※注 地域相談支援とは、地域移行支援及び地域定着支援のことです。

サービスの種類		利用している	評価			今後利用したい
			満足	ふつう	不満	
地域生活支援事業（ちいきせいいかつしえんじぎょう）	1 相談支援事業（※注） 障がいのある方の福祉に関する相談、情報提供などを実施		⇒			
	2 コミュニケーション支援事業 手話通訳者などの派遣		⇒			
	3 日常生活用具給付等事業 重い障がいのある方に、自立生活支援用具などの日常生活用具を給付		⇒			
	4 移動支援事業 屋外での移動が困難な障がいのある方への社会参加などのための支援		⇒			
	5 地域活動支援センター 創作的活動や社会との交流をすすめるなど多様な活動を実施。市内には「あすか地域活動支援センター」がある		⇒			
	6 日中一時支援事業 日中、家族の病気や外出のときに、障害福祉サービス事業所などにおいて活動の提供や見守りを実施		⇒			
	7 訪問入浴サービス 移動入浴車が家庭を訪問し、入浴サービスを実施		⇒			
	8 スポーツ大会・教室への参加 身体障がいのある方の福祉ダンスやボウリング大会を開催		⇒			
	9 点字広報、声の広報の利用 視覚障がいのある方に点訳、朗読した広報誌を郵送		⇒			
	10 重度訪問介護利用者大学修学支援事業 重度障がい者が大学に修学するために必要な身体介護などの提供を実施		⇒			

※注 相談支援事業は、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）で実施している事業のことです。

(2) (1) の利用の評価で「不満」と答えた方や現在サービスを利用していない方にお聞きします。どのようなことがあれば「満足」またはサービスを利用しようと思いますか。（あてはまる番号3つまで○）

1 サービスの内容をわかりやすくする	2 利用者負担を小さくする
3 制限なくサービスが利用できるようにする	4 利用できる事業所がある
5 サービスの質、水準が十分	6 手続きが簡単
7 その他（ ）	

(3) あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 りよう 利用している 2 りよう 利用していない

(4) 【問6(3)で1と回答した方にお聞きします。】

該当する要介護度は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 <small>ようしえん</small> 要支援1 | 2 <small>ようしえん</small> 要支援2 | 3 <small>ようかいご</small> 要介護1 |
| 4 <small>ようかいご</small> 要介護2 | 5 <small>ようかいご</small> 要介護3 | 6 <small>ようかいご</small> 要介護4 |
| 7 <small>ようかいご</small> 要介護5 | | |

問7 がいしゅつ 外出の状況についてお聞きします。

(1) 外出する頻度は、およそどのくらいですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1 <small>まいにち</small> 毎日 | 2 <small>しゅう</small> 週に3～5回 | 3 <small>しゅう</small> 週に1、2回 |
| 4 <small>つき</small> 月に数回 | 5 <small>ねん</small> 年に数回(ほとんど外出しない) | |
| 6 <small>がいしゅつ</small> まったく外出しない | 7 <small>た</small> その他() | |

(2) 外出する主な目的は、何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 1 <small>つうがく</small> 通学 | 2 <small>つうしょ</small> 通所・就労継続支援 | 3 <small>しごと</small> 仕事 |
| 4 <small>か</small> 買い物 | 5 <small>つういん</small> 通院・リハビリ | 6 <small>さんぽ</small> 散歩 |
| 7 <small>しゅみ</small> サークルや趣味の活動 | 8 <small>ゆうじん</small> 友人・知人との交流 | |
| 9 <small>た</small> その他() | | |

(3) 外出するとき、利用する主な交通移動手段は、何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 <small>とほ</small> 徒歩 | 2 <small>くるま</small> 車いす |
| 3 <small>じてんしゃ</small> 自転車・オートバイ | 4 <small>じぶん</small> 自分で運転する自動車 |
| 5 <small>かぞく</small> 家族、知人が運転する自動車 | 6 <small>こうきょうこうつうきかん</small> 公共交通機関(バス、JRなど) |
| 7 タクシー | 8 <small>た</small> その他() |

(4) 外出する際は、主にどなたと一緒にですか。(あてはまる番号1つに○)

1 一人で外出	2 家族	3 知人やボランティア
4 福祉の介護者、ホームヘルパー	5 その他 ()	

(5) 外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。(あてはまる番号3つまで○)

1 歩道の段差・障害物の解消・点字ブロックの設置	
2 建物の入り口や内部の段差の解消や手すりの設置	
3 音の出る信号・見えやすい道路標識	
4 障がい者対応の車両を増やす(介護タクシー、低床バスなど)	
5 障がい者用の駐車場の確保	
6 障がい者用のトイレ、スロープ、エレベーターの確保	
7 休憩場所の確保	8 交通費への公費助成の充実
9 外出時の介護者、支援者の派遣	10 バリアフリーの情報
11 その他 ()	

(6) 市内で利用しやすい場所はどこですか。(あてはまる番号3つまで○)

1 職場や学校	2 市役所	3 市役所以外の公共施設
4 市立病院	5 その他の病院	6 通所施設・就労継続支援事業所
7 郵便局	8 商店街	9 商店街以外の商業施設
10 駅	11 銀行	12 その他 ()
13 特になし		

(7) あなたは、普段どれくらいスポーツ(ウォーキング・健康体操などの運動、サイクリング・キャンプなどのレクリエーションを含む)をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 週に3日以上	2 週に1～2日	3 月に1～3日
4 3か月に1～2日	5 年に1～3日	6 全くしていない

問8 社会参加の状況についてお聞きします。

(1) 家族以外の方との交流について、どのようなものがありますか。

(あてはまる番号3つまで○)

1 近所の方とあいさつをする程度	2 近所の方と世間話をする程度
3 自治会や地域の団体の活動に参加する	
4 一緒に出かけたり、親しく付き合っている方がいる	5 職場の人との交流
6 趣味の仲間との交流	7 特に付き合いはない
8 その他 ()	

(2) 障がいのある方が社会参加するときに、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまる番号3つまで○)

1 経済的な支援に関すること	2 周囲の理解や協力
3 一緒に参加する仲間	4 参加するための交通手段
5 暮らしに関する情報へのアクセスや提供	
6 社会活動に参加する際の、介護や支援	
7 その他 ()	

(3) 現在、あなたが参加している社会活動は何ですか。また、今後、参加してみたい活動は何ですか。(下の選択肢からそれぞれ3つまで選択し、解答欄に番号を記入してください。)

◆現在、参加している活動(3つまで)	()、()、()
◆今後、参加してみたい活動(3つまで)	()、()、()

【選択肢】	1 自治会の行事への参加	2 ボランティアや社会貢献の活動
	3 趣味やサークルの活動	
	4 インターネットなどを利用した情報発信、情報交換	
	5 スポーツやレクリエーションに関する活動	
	6 講演会や学習会などの学習活動	
	7 障がい者同士の交流活動	
	8 ボランティアや手話通訳など、介護者や支援者を育成する活動	
	9 市民に対し、障がい福祉に関することを広げる活動	
	10 市民に対し、心身の健康に関することを広げる活動	
	11 その他 ()	

問9 就労についてお聞きします。

(1) 現在、働いていますか。(あてはまる番号1つに○)

1 働いている	2 働いていない
---------	----------

↓ (①～⑥の1つに○) ↓ (①～⑥の1つに○)

① 正社員 ② 正社員以外のフルタイム勤務 ③ 正社員以外の短時間勤務 ④ 自営業 ⑤ 就労継続支援 ⑥ その他()	① 求職中 ⇒ (11ページ(4)以降回答) ② 障がいや病気のため働くことができない ③ 働くことを希望していない ④ 高齢である ⑤ 施設に入所している ⑥ その他()
--	--

11ページ(5)以降回答

11ページ 問10以降回答

(2) 【問9(1)で「1 働いている」と回答した方にお聞きします。】

仕事に就くきっかけは何でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1 ハローワークの紹介	2 相談機関
3 就労移行支援など福祉的就労	4 学校での進路指導・実習
5 職業訓練校などの指導・紹介	6 知人の紹介
7 親族の紹介	8 障がい者団体の紹介
9 親の後を継いだ	10 新聞・広告などで自分で探した
11 その他()	

(3) 現在の仕事について、悩みや不満などがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 仕事の内容や労働条件(労働時間や日数など)が障がいの程度にあっていない	
2 仕事の内容や労働条件(労働時間や日数など)が希望にあわない	
3 職場の障がいに対する理解が不足している	
4 職場の人間関係がうまくいかない	5 通勤が大変である
6 トイレなどの職場の設備が不十分	7 賃金や待遇面で不満がある
8 周囲の目が気になる	9 周囲の方の手助けが得られない
10 自分の考えや思ったことが伝えられない	
11 相談できる方がいない	
12 その他()	
13 特に悩みや不満はない	

(4) 今後どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 正社員	2 正社員以外のフルタイム勤務
3 正社員以外の短時間勤務	4 自営業
5 就労継続支援	6 その他 ()

(5) 障がいのある方が働くために必要なこと、また、どのようなことがあれば働けると思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

1 就労に適した設備、機器	2 通勤など交通手段の整備
3 障がいの程度にあった仕事	4 障がい者に配慮された勤務時間
5 障がいへの理解	6 雇用契約や身分の保障
7 就労訓練の充実	8 仕事の斡旋や仲介
9 障がいのある方が働くことを支援する相談窓口	
10 専門的な支援員の配置 (ジョブコーチなど)	
11 その他 ()	

問10 人権・権利擁護についてお聞きします。

(1) これまで障がいがあることによって差別や嫌な思いをしたことはありますか。
(あてはまる番号1つに○)

1 ある ⇒ (2) へ	2 少しある ⇒ (2) へ	3 ない ⇒ (3) へ
--------------	----------------	--------------

(2) 【問10(1)で「1 ある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】
差別や嫌な思いの内容とそのような思いをした場所について教えてください。
(それぞれあてはまる番号すべてに○)

【内容】	1 差別的な扱い	2 差別的な発言	3 その他
	具体的な		
【場所】	1 学校・職場	2 仕事を探すとき	3 外出先
	4 余暇を楽しむとき	5 病院などの医療機関	6 住んでいる地域
	7 その他 ()		

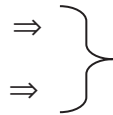
(3) あなたは成年後見制度（※ 注）を知っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- 1 制度の内容や手続き方法を知っている
- 2 制度の内容を大まかに知っている
- 3 名前だけ知っている
- 4 よく知らない

※ 注 成年後見制度とは...認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が低下した方々を保護し、支援する制度です。

(4) あなたはあなたが認知症等により判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を利用したいと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- 1 現在利用している
- 2 今後利用したい
- 3 利用は考えていない
- 4 分からない



13ページ（6）以降回答

→ (5) 【問10（4）で3または4と回答した方にお聞きします。】

あなたは成年後見制度を利用しない理由は何ですか。（あてはまる番号 すべて に○）

- 1 どうやって手続きしたらよいか分からない
- 2 利用すると、どんな効果があるのかわからない
- 3 成年後見人への報酬など費用の負担が心配
- 4 誰が成年後見人になるか不安
- 5 家族との違いがわからない
- 6 不正が怖い
- 7 その他（ ）

(6) あなたは成年後見人ができることはどれだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1	金銭の管理や医療費・利用料等の支払いなど、財産の管理
2	入院・入所時などの契約行為
3	医療費・利用料などの支払いが滞った際の保証
4	衣類や食料品などの日用品の購入、提供、持ち運び
5	手術などの医療行為に関する同意
6	体調が急変した際や夜間の緊急連絡先
7	通院の介助
8	死亡時の遺体・遺品の引き取り
9	死亡届の提出
10	火葬・埋葬の契約
11	その他 ()
12	わからない

(7) あなたは将来において不安に思っていることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1	日常の金銭管理(日常の買物、支払いなど)
2	身の回りのことができなくなってきたこと
3	自分自身の将来
4	財産の管理や家(土地)などの処分
5	借金問題
6	悪徳商法などに騙されること
7	身体的(病気など)なこと
8	契約(施設入所など)ができないこと
9	親亡き後の子どもの将来(生活など)
10	相続や遺言について
11	その他 ()
12	不安に思っていることはない

(8) 江別市では成年後見制度の利用に関する支援を行うために、平成29年11月に江別市
成年後見支援センターを開設しました。
あなたは江別市成年後見支援センターを知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 知っていて、利用したことがある
- 2 利用したことはないが、名前も事業内容も知っている
- 3 名前は聞いたことがあるが、事業内容は知らない
- 4 知らない

(9) あなたは成年後見制度に関する相談をどの機関にしていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 市役所 | 2 江別市成年後見支援センター |
| 3 地域包括支援センター | 4 障がい者支援センター |
| 5 法テラス | 6 家庭裁判所 |
| 7 専門職(弁護士・司法書士など) | 8 消費者協会(消費者センター) |
| 9 どの機関に相談してよいかわからない | 10 相談をする必要がない |
| 11 その他() | |

問11 安全対策についてお聞きします。

(1) あなたは避難行動要支援者支援制度(※注)(災害時要援護者避難支援制度)を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 知っていて申請している
- 2 聞いたことはあるが申請はしてない
- 3 知らない

※注 避難行動要支援者支援制度とは…一人暮らしの高齢者や障がいのある方など災害
が起きたときに手助け(支援)を必要とする方に対して、自治会、自主防災会、民生
委員・児童委員、近所の方など地域が連携して支援をしていく制度です。

(2) 水害や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 1 投薬や治療が受けられない
- 2 補装具の使用が困難になる
- 3 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
- 4 救助を求めることができない
- 5 安全なところまで、迅速に避難することができない
- 6 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
- 7 周囲とのコミュニケーションがとれない
- 8 避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安
- 9 その他()
- 10 特になし

問12 障がい福祉に関する情報についてお聞きします。

(1) 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|---------------------------|-------------|---------------|
| 1 新聞 | 2 テレビやラジオ | 3 インターネット |
| 4 雑誌・書籍 | 5 市の広報や市の窓口 | 6 福祉団体のパンフレット |
| 7 家族・知人 | 8 職場や通所先の方 | 9 民生委員・児童委員 |
| 10 施設・病院の職員やホームヘルパーなどの介護者 | | |
| 11 その他() | | |

(2) 障がい福祉の情報について、どのようなものが必要だと思いますか。
(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1 福祉制度や障害福祉サービスに関すること | 2 医療に関すること |
| 3 仕事や就労に関すること | 4 学校や教育に関すること |
| 5 療育・保育に関すること | 6 住んでいる地域に関すること |
| 7 趣味やスポーツ、レクリエーションなどに関すること | |
| 8 障がいがあっても参加できるイベント、行事に関すること | |
| 9 障がい者を支援してくれるボランティアのこと | |
| 10 その他() | |

問 1 3 相談したいことや相談方法についてお聞きします。

(1) 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 |
| 3 相談支援専門員 (※注 1) | 4 相談支援機関の職員 (※注 2) |
| 5 医療機関の職員 | 6 障害福祉サービス事業所の職員 |
| 7 市役所の職員 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 相談する相手がいない | 10 相談することはない |
| 11 その他 () | |

※注 1 相談支援専門員とは、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある人の全般的な相談支援を行う人のことです。

※注 2 相談支援機関とは、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

(2) 相談したいことは、主にどのようなことですか。(あてはまる番号3つまで○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 日常生活のこと | 2 家族や人間関係のこと |
| 3 障がいや病気のこと | 4 仕事や学校のこと |
| 5 社会参加のこと | 6 教育・療育・保育のこと |
| 7 住宅のこと | 8 経済的なこと |
| 9 福祉制度や福祉サービスのこと | 10 その他 |

(3) どのような「相談場所・体制」が望ましいと思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

- | |
|---------------------------|
| 1 福祉施設や病院など、よく通う場所での相談 |
| 2 街なかや駅など便利な場所での相談 |
| 3 市役所、保健所などでの相談 |
| 4 自宅に来てもらっての相談 |
| 5 地域で気軽に話せる相談員との相談 |
| 6 電話やファックス、Eメールによる相談 |
| 7 介護・医療・障がいなど連携された相談体制 |
| 8 病院から地域、施設から地域へ移行できる相談体制 |
| 9 その他 () |

問 14 江別における障がい者の生活についてお聞きします。

(1) 江別のまちは、障^{しょう}がいのある方にとって暮らしやすいまちだと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

- 1 暮らしやすい 2 ふつう 3 暮らしにくい

(2) 【問14(1)で「3 暮らしにくい」と回答した方にお聞きします。】
暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 利用できる福祉サービスが十分でないこと
- 2 専門的な医療機関が少ないこと
- 3 障がいのある方が利用できる施設が少ないこと
- 4 バスなどの交通の便が悪いこと
- 5 障がいのある方の働く場所が少ないこと
- 6 バリアフリー化された住宅が少ないこと
- 7 地域住民の理解や協力が少ないこと
- 8 生活費や医療費等にお金がかかること
- 9 その他（

問15 ちいきせいかつしえんきょてん 地域生活支援拠点 き についてお聞きします。

(1) 今後、市内に地域生活支援拠点（※注）となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。（あてはまる番号3つまで○）

- 1 ちいさいこう すいしん おやもと じりつ そうだんしえんきのう じゅうじつ
地域移行の推進や親元からの自立などの相談支援機能の充実
- 2 きんきゅうじ う い たいおう
緊急時のショートステイの受け入れ・対応
- 3 たいけん きかい ば ていきょう
グループホームなど、体験の機会・場の提供
- 4 あ しつじょうほう はあく す ば ていきょう
グループホームなど、空き室情報などの把握などによる住まいの場の提供
- 5 せんもんてきじんざい かくほ ようせい
専門的人材の確保・養成
- 6 はいち ちいき たいせい
コーディネーターの配置など、地域の体制づくり
- 7 た
その他（ ）
- 8 とく
特になし

※ 注 ちゆう ちい せい かい かつ し えん き よう てん しやう しゃ じゆう どうか こう れい かい おや な あと み す きょじゆう
地域生活支援拠点とは… 障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居 住
し えん き の う ちい せい し えん き の う そう だん きん きゆう じ う け い ちい きた い せい も
支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受入れ・地域体制づくりなど）を持
つ場所や体制のことです。

問 16 障がい福祉施策についてお聞きします。

江別市の取り組みについてどの程度満足していますか。また、江別市が今後、力をいれるべきことは何だと思えますか。【記入例】を参考に、該当する各欄に○をつけてください。

障がい福祉施策の種類	評価			重要度	
	満足	ふつう	不満	重要である	重要でない
【記入例】 江別市の取り組み	○			○	
1 相談・情報提供体制・窓口の整備					
2 障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療を受ける					
3 介護・医療・障がいなど連携された相談体制					
4 福祉サービス（ホームヘルプ、ショートステイなど）					
5 防災対策の充実（避難誘導體制や訓練の充実など）					
6 福祉サービスの利用手続き					
7 地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保					
8 入所施設や病院の充実					
9 道路・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化					
10 リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設の充実					
11 就労支援の充実					
12 外出する際の支援を充実					
13 社会参加活動に対する支援（スポーツ、文化活動など含む）					
14 障がいに対する偏見をなくす活動（教育や広報など）					
15 障がいのある方との交流や理解の促進					
16 同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談					
17 経済的な支援の充実					
18 交通費助成制度の充実					
19 福祉の専門的な人材確保・育成を充実					
20 ボランティアの確保・育成を充実					

とい こんご しょう ふくししさく しょうがいふくし ほんにん かぞく いけん ようぼう
問 17 今後の 障がい福祉施策や障 害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を
じゅう か
自由にお書きください。

アンケートにご 協 力いただき、ありがとうございました。

この調 査 票は、同封の封筒に入れて、9月18日（金）までに投函してください。

江 別 市

子どもの福祉に関するアンケート

日頃より、市政に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、江別市では障がいの有無によらず、安心して暮らせるまちづくりをすすめるため、「第6期障がい福祉計画」および「第2期障がい児福祉計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、障がい者手帳または児童発達支援等の通所受給者証をお持ちのお子さまの保護者の方に対し、お子さまの日常生活の様子や将来の希望などについてお伺いし、障がい児福祉計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施するものです。

アンケート調査票は、対象となるお子さま一人ひとりにお送りしているため、対象者が複数いるご家庭には同じ調査票が届きますが、それぞれのお子さまについてご記入ください。

なお、ご回答いただいた内容は、計画策定以外には使用しませんので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年9月 江別市長 三 好 昇

【記入にあたって】

1. アンケートの回答は、あて名のお子さまの保護者の方がお答えください。また、可能な場合は、お子さまの将来のために、お子さまの思いもお聞きいただきながらお答えください。
2. 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、

9月18日（金）までに郵便ポストにお入れください。

※障がいの「がい」の表記について

アンケートの中では、「障がい」の「がい」をひらがなで表記しております。ただし、法律や条例、固有名詞などに使われている場合は、「障害」と表記しております。

【このアンケート調査に関することは、下記へお問い合わせください。】

江別市健康福祉部 子育て支援室 子育て支援課 子ども家庭係

電話 011-381-1408 / ファックス 011-381-1070

e-mail kosodate@city.ebetsu.lg.jp

このアンケートでは、

アンケートの宛名に名前があるご本人を「**お子さま**」

アンケートに回答していただく保護者の方を「**あなた**」
とお呼びします。

◎この調査票を記入した方は、どなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|---------|------|
| 1. 本人（お子さま本人） | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. 両親以外の家族 | 5. その他（ | ） |

お子さまのことについてお聞きします。

問1 お子さまの年齢をご記入ください。

満（ ）歳 （令和2年8月1日現在）

問2 お子さまの性別を教えてください。＊¹（○は1つ）

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

＊¹：戸籍上の区分にこだわらず、1～3の選択肢から1つ選んでご記入ください。

問3 お子さまがお持ちの手帳や発達の不安について教えてください。

（あてはまるものすべてに○をつけ、該当する等級等もご記入・選択してください）

- | |
|----------------------------------|
| 1. 身体障害者手帳 ⇒ （ ）級 |
| 2. 知的障がい ⇒ （療育手帳〔A・B〕） |
| 3. 精神障がい ⇒ （精神障害者保健福祉手帳〔1・2・3〕級） |
| 4. 難病 |
| 5. 高次脳機能障がい |
| 6. 発達障がい |
| 7. 言語発達に関する不安 |
| 8. 運動発達に関する不安 |
| 9. 多動や衝動性等行動に関する不安 |
| 10. 対人関係や社会性に関する不安 |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特にない |

→【問3で「1. 身体障害者手帳」と回答した方にお聞きします。】

問3－1 主な障がいの部位は次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 1. 視覚 | 2. 聴覚・平衡機能 |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能 | 4. 肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能） |
| 5. 内部障がい（心臓・呼吸器・じん臓・肝臓・膀胱・直腸・小腸・免疫機能） | |

問4 お子さまは現在、日常的に医療的ケアを受けていますか。（○は1つ）

1. 受けている

2. 受けていない

【問4で「1. 受けている」と回答した方にお聞きします。】

問4-1 お子さまが現在受けている医療的ケアの種類は次のどれですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 吸引^{きゅういん}

3. 経管栄養^{けいかんえいよう}

5. 導尿^{どうよう}

7. 咽頭エアウェイ^{いんとう}

9. 気管切開部の管理（ガーゼ交換等）^{きかんせつかいぶ かんり こうかんと}

11. 人工肛門・人工膀胱の管理^{じんこうこうもん じんこうぼうこう かんり}

13. 人工透析^{じんこうとうせき}

15. その他（

2. 吸入^{きゅうにゅう}

4. 中心静脈栄養^{ちゅうしんじょうみやくえいよう}

6. 在宅酸素^{ざいたくさんそ}

8. パルスオキシメーター

10. 人工呼吸器の管理^{じんこうこきゅうき かんり}

12. インシュリン注射^{ちゅうしや}

14. 服薬管理^{ふくやくかんり}

）

問5 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたきっかけは何ですか。また、それはいつ頃ですか。

（○は1つ）

1. 生まれてまもなく病院で知らされた

2. 家族・親族が気付いた

3. 定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された

4. 病院で医師から指摘された

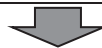
5. 就学時健康診断の際に指摘された

6. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教師や職員から指摘された

7. 知人から指摘された

8. その他（

）



発達の不安や障がいに気付いた時のお子さまの年齢（ ）歳

問6 お子さまの発達の不安や障がいに気付いたとき、誰に（どこに）相談しましたか。

（あてはまるものすべてに○）

1. 家族・親族

2. 保健センター

3. 保育所・幼稚園・認定こども園

4. かかりつけの病院

5. 市役所の窓口

6. 子ども発達支援センター

7. 子育て支援センター・子育てひろば

8. 相談支援機関*¹

9. 民生委員・児童委員

10. 児童相談所

11. その他（

）

* 1：相談支援機関とは、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

問7 お子さまの発達の不安や障がい気付いたときに、どのようなことを説明してほしかったですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--|---|
| 1. 発育・発達の課題や障がいに関する今後の見通し
2. 障害福祉サービスの仕組みや内容に関すること
3. 障害福祉サービス以外で利用できるサービスやボランティアに関すること
4. 手帳の交付申請に関すること
5. 雇用に関すること
6. 経済的な支援に関すること
7. 精神的な不安や孤独感をやわらげるための支援に関すること
8. その他（ |) |
|--|---|

お子さまの暮らしについてお聞きします。

問8 現在、お子さまが主に暮らしているところは、どこですか。（○は1つ）

- | | | |
|------------------------------------|----------------------|---|
| 1. 自宅（持ち家・賃貸・社宅など）
3. 障がい児の入所施設 | 2. 学校の寄宿舎
4. その他（ |) |
|------------------------------------|----------------------|---|

問9 お子さまと一緒に生活されている方は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--|--------------------------------|---|
| 1. 父
3. 祖父母
5. その他の親族
7. その他（ | 2. 母
4. 兄弟姉妹
6. 施設や学校の職員 |) |
|--|--------------------------------|---|

問10 お子さまの父親、母親の就労状況についてお答えください。（それぞれ1つに○）

【父親の就労状況】

【母親の就労状況】

- | | | |
|--|--|---|
| 1. 正社員として働いている
2. 正社員以外のフルタイム勤務
3. 正社員以外の短時間勤務
4. 自営業
5. 働いていないが、できれば働きたい
6. 働いていないし、その意向もない
7. その他（ | 1. 正社員として働いている
2. 正社員以外のフルタイム勤務
3. 正社員以外の短時間勤務
4. 自営業
5. 働いていないが、できれば働きたい
6. 働いていないし、その意向もない
7. その他（ |) |
| 8. 父親はいない | 8. 母親はいない |) |

保育や教育についてお聞きします。

問11 お子さまは、平日の昼間、主にどこで過ごしていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 自宅 | 2. 保育所・幼稚園・認定こども園 |
| 3. 通所施設（療育施設） | 4. 通常学級（小・中学校） |
| 5. 特別支援学級（小・中学校） | 6. 特別支援学校（幼・小・中等部） |
| 7. 高等学校（全日制） | 8. 高等学校（定時制を含むその他の課程） |
| 9. 特別支援学校高等部 | 10. 職業訓練校 |
| 11. 専門学校・専修学校 | 12. その他（ ） |

【問11で「1」～「6」と回答した方にお聞きします。】

問11-1 お子さまの高等学校期にはどのような進路を希望しますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 特別支援学校高等部へ進学 |
| 2. 高等学校（全日制）へ進学 |
| 3. 高等学校（定時制を含むその他の課程）へ進学 |
| 4. 職業訓練校へ進学 |
| 5. 専門学校・専修学校へ進学 |
| 6. その他（ ） |

【問11で「7」～「12」と回答した方にお聞きします。】

問11-2 お子さまが現在通っている学校などを卒業した後、どのような進路を希望しますか。
(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1. 進学させたい |
| 2. 就職させたい（アルバイトなどを含む） |
| 3. 障がい者の施設に通所させたい |
| 4. 障がい者の施設に入所させたい |
| 5. その他（ ） |

問12 保育や教育のことで希望することや充実させるべきだと思う点がありますか。

(あてはまるもの2つまで○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 障がいや発達の特性に応じた保育や教育 |
| 2. 受け入れ人数の拡大 |
| 3. 障がいや発達の特性に対応した施設や設備の充実 |
| 4. 進学・進級時の情報の引継ぎ |
| 5. 早期からの集団保育の実施 |
| 6. 市内の小・中学校特別支援学級への進学 |
| 7. その他（ ） |

問13 小学生以上のお子さまがいる方にお聞きします。現在、お子さまは下校後や長期休暇時など、どのように過ごされていますか。（あてはまるもの2つまで○）

1. 友人と遊んでいる
2. 習い事をしている
3. 自宅で過ごしている
4. 祖父母宅で過ごしている
5. 親の職場などで過ごしている
6. 学校のクラブ活動・部活動をしている
7. 放課後児童クラブや児童センターで過ごしている
8. 放課後等デイサービス*¹など、福祉サービスを提供する施設で過ごしている
9. その他（ ）

* 1：発達に不安のあるお子さまが、学校の授業終了後や学校休業日に通い、専門のスタッフが療育や発達の支援を行うサービスのこと。

問14 お子さまが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思う点がありますか。（あてはまるもの3つまで○）

1. 会話やトイレなど日常生活に対する支援
2. 学習に対する支援
3. 友達など人とのかかわり方に対する支援
4. 保護者への支援
5. 療育を行う施設の増設
6. 費用に対する助成
7. 送り迎えなど通園・通学に対するサービス
8. 療育や支援の内容についての情報
9. 放課後や長期休業中の支援
10. 就労に向けた支援
11. 教職員の理解や支援
12. 投薬や吸引などの医療的ケア
13. その他（ ）
14. 特にない
15. 支援やサービスは受けていない

介護や支援の状況についてお聞きます。

問15 お子さまの介護や支援をしている方は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 父 | 2. 母 |
| 3. 祖父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. その他の親族 | 6. 施設や病院・学校の職員 |
| 7. ホームヘルパー | 8. ボランティア |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 介護や支援は受けていない | |

問16 問15で「1」～「9」と回答した方にお聞きます。問15で選ばれた方の中で、主に介護や支援をしている方はどなたですか。

問15で回答した番号から一つ記入 ⇒

問17 お子さまやお子さまと同居する家族のことで悩んだり困っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. お子さまの育児や教育のこと |
| 2. 現在お子さまが受けている医療やリハビリのこと |
| 3. 現在お子さまが受けている援助（介護）のこと |
| 4. 医療費など経済的なこと |
| 5. お子さまの進学のこと |
| 6. お子さまの就職のこと |
| 7. 交通機関が使いにくいこと |
| 8. かかりつけ病院に歯科診療所がないこと |
| 9. 子育てや障がいについて必要な情報が得られない、得るのが難しいこと |
| 10. お子さまを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと |
| 11. お子さまに友達や相談相手がいないこと |
| 12. 地域の理解を得ること |
| 13. お子さまの将来の生活のこと |
| 14. お子さまの父親や母親の健康状態、就労・家事のこと |
| 15. お子さまの兄弟姉妹の育児のこと |
| 16. その他（ |
| ） |
| 17. 特に悩みはない |

問18 困ったことや疑問に思うことは、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. ホームヘルパーなどの介護者
4. 保健センターの職員
5. 保育所・幼稚園・認定こども園・学校の教職員
6. 医療機関の職員
7. 市役所の職員
8. 子ども発達支援センターの職員
9. 子育て支援センター・子育てひろばの職員
10. 通所支援事業所の職員
11. 相談支援専門員^{*1}・相談支援機関の職員^{*2}
12. 民生委員・児童委員
13. その他 ()
14. 相談する相手がいない
15. 相談することはない

*1：相談支援専門員とは、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や地域生活への移行など障がいのある人の全般的な相談支援を行う人のことです。

*2：相談支援機関とは、障がい者支援センター（一般相談）、えべつ障がい者しごと相談室すてら（就労相談）、江別あすか福祉会（精神相談）のことです。

問19 現在の相談の体制について満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 1. 満足 | 2. ふつう | 3. 不満 |
|-------|--------|-------|

問20 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

1. 気軽に話を聞いてもらえること
2. 身近なところで相談できること
3. 電話やファックス、Eメール等によりいつでも相談できること
4. 最初の相談窓口がはっきりしていること
5. 手話通訳や要約筆記などを配置した窓口を設置すること
6. 一か所で用件を済ますことのできる総合的な窓口を設置すること
7. 適切なアドバイスができる専門的な人材がいること
8. プライバシーへの配慮がなされていること
9. 相談からサービス提供まで一貫した支援体制を充実すること
10. その他 ()

福祉に関するサービスについてお聞きします。

問21 障害福祉サービスについて①現在、利用しているか、②今後、利用したいか、③今のところ必要ないかを、それぞれア～シの各項目の該当する欄に○をつけてください。（それぞれあてはまるものすべてに○） ※「② 今後、利用したい」は現在の利用の有無を問いません。

サービスの種類	① 現在、 利用 している	② 今後、 利用 したい	③ 今のところ 必要ない
ア ホームヘルプサービス（ きょたくかいご 居宅介護・ じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護など） ヘルパーが家に行き、入浴、食事の用意、掃除、洗濯などを行うサービス			
イ 福祉施設などでの通所介護（ せいかつかいご 生活介護・ じりつくんれん 自立訓練） 施設で日中介護やレクリエーションを行ったり、調理や掃除など自立に向けた訓練を行うサービス			
ウ 福祉施設などでの就労（ しゅうろういこうしえん 就労移行支援・ しゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援） 施設で一般就労に向けた訓練や、福祉的就労などを行うサービス			
エ 福祉施設への入所（ しせつにゅうしよしえん 施設入所支援・ りょうようかいご 療養介護） 入所している施設で、食事や入浴など生活全般にわたる支援を行うサービス			
オ たんきにゅうしよ 短期入所（ショートステイ） 家族の用事や休養のため、短期間、施設で食事や入浴などを行うサービス			
カ きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助（グループホーム） 障がいのある人たちが一緒に暮らす家やアパートで、夜間や休日に、世話人が日常生活を手伝うサービス			
キ そうだんしえん 相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行うサービス			
ク じどうはったつしえん 児童発達支援・ ほうかごとう 放課後等デイサービス 発達に不安がある子どもに、療育や発達支援を行うサービス			
ケ きょたくほうもんがたじどうはったつしえん 居宅訪問型児童発達支援 外出することが著しく困難な子どもに、居宅を訪問して、療育や発達支援を行うサービス			
コ ほいくしょうほうもんしえん 保育所等訪問支援 保育所等児童が集団生活を行う施設において、集団生活への適応のための専門的支援を行うサービス			
サ にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業 日中、家族の病気や外出のときに、障害福祉サービス事業所などにおいて活動の場の提供や見守りを行うサービス			
シ 移動支援サービス（ いどうしえんじぎょう 移動支援事業・ こうどうえんご 行動援護・ どうこうえんご 同行援護） 屋外での移動が困難な障がいのある方に、ヘルパーによる移動の支援を行うサービス			

問22 福祉に関するサービスを利用するときに何か困ったことはありませんか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 使いたいサービスが使えなかった
2. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
3. どの事業者が良いのかわからない
4. 契約の方法がわからなかった(わかりにくかった)
5. 利用してトラブルがあった
6. 費用負担があるため、サービスが使いづらい
7. 利用したい事業所があるが、移動手段がない
8. どんなサービスがあるのか知らない
9. 事業者情報が不十分
10. その他 ()
11. 特に困ったことはない
12. わからない

問23 福祉に関するサービスで、今後、力を入れてほしいことは何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

1. 日常生活や福祉サービスなどの相談の場
2. 障がいの程度や生活に応じた障害福祉サービスの提供
3. 重度の障がいや医療的ケアに対応したサービスの提供
4. 福祉サービスや事業所の情報提供や利用についてのPR、支援
5. 訪問系サービス(ホームヘルプなど)
6. 日中活動系サービス(生活介護・自立訓練・就労支援・移動支援など)
7. 居住系サービス(施設入所・グループホームなど)
8. 就労能力の向上、就労の場の確保
9. 社会参加の支援
10. 介護する家族への支援と事業者との連携
11. その他 ()

福祉に関する情報についてお聞きます。

問24 障がい福祉に関する情報は、主にどのような手段で入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビやラジオ |
| 3. インターネット | 4. 雑誌・書籍 |
| 5. 市の広報や市の窓口 | 6. 福祉団体のパンフレット |
| 7. 家族・知人 | 8. 職場や通所先の方 |
| 9. 相談支援機関の職員 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. 施設・病院の職員やホームヘルパーなどの介護者 | |
| 12. その他 () | |

問25 障がい福祉に関する情報について、どのようなものが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 福祉制度や障害福祉サービスに関すること |
| 2. 医療に関すること |
| 3. 仕事や就労に関すること |
| 4. 学校や教育に関すること |
| 5. 療育・保育に関すること |
| 6. 趣味やスポーツ、レクリエーションなどに関すること |
| 7. 住んでいる地域に関すること |
| 8. 発達の不安や障がいがあっても参加できるイベント、行事に関すること |
| 9. 障がい者を支援してくれるボランティアのこと |
| 10. その他 () |

問26 現在、情報を入手するための手段について、満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 1. 満足 | 2. ふつう | 3. 不満 |
|-------|--------|-------|

↓

【問26で「3. 不満」と回答した方にお聞きます。】

問26-1 不満に思うのはどのようなことか教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1. 情報がどこで入手できるかわからない |
| 2. 情報が多すぎる |
| 3. 情報が少ない |
| 4. 情報の内容が難しい |
| 5. 情報が遅い |
| 6. 必要な時に必要な情報が得られない |
| 7. 障がいの特性に応じた配慮が足りない |
| 8. その他 () |

地域活動や外出の状況についてお聞きます。

問27 お子さまは、地域での活動^{*1}に参加していますか。(○は1つ)

* 1 : 公民館、自治会や市で行う行事や活動

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. 時々参加する | 3. ほとんど参加しない |
|-----------|-----------|--------------|

問28 地域活動に参加する場合、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身近なところで参加できる行事や活動が少ない
2. どんな行事や活動があるかわからない（情報が伝わってこない）
3. 会場までの移動・交通手段が不便で利用しにくい
4. 移動やコミュニケーションの支援を行う人が身近にいない
5. 行事や活動の内容や会場が、発達の不安や障がいのある子どもに配慮されていない
6. 家族の理解が得られない（参加することに反対する）
7. 一緒に参加する仲間がいない
8. 地域の人の子どもの発達の特性や障がいに対する理解がとぼしい
9. 興味のある活動がない
10. その他（ ）
11. 特になし

問29 地域活動や外出に関する支援やサービスについて満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 1. 満足 | 2. ふつう | 3. 不満 |
|-------|--------|-------|

問30 お子さまと一緒に外出しやすくなるために、必要と思うことは何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

1. 歩道の段差・障害物の解消・点字ブロックの設置
2. 建物の入り口や内部の段差の解消や手すりの設置
3. 音の出る信号・見えやすい道路標識
4. 障がい者対応の車両を増やす（介護タクシー・低床バスなど）
5. 障がい者用の駐車場の確保
6. 障がい者用のトイレ・スロープ・エレベーターの確保
7. 休憩場所の確保
8. 交通費への公費助成の充実
9. 外出時の介護者・支援者の派遣
10. バリアフリーの情報
11. 周囲の発達の特性や障がいについての理解
12. イベントや遊び場についての情報提供
13. その他（ ）
14. 特にない

差別解消についてお聞きします。

問31 あなた（保護者の方）は、^{しょうがいしゃさべつかいしょうほう}障害者差別解消法^{*1}を知っていますか。（○は1つ）

*1：障がい（しょうがい）を理由とする差別の解消を推進するための法律です。平成28年4月1日から施行されました。この法律は、国や市町村、会社やお店などの事業者に対して、正当な理由なく、障がい（しょうがい）を理由として差別することを禁止しています。また、障がいのある人が何らかの対応を求めているときに、負担が重すぎない範囲で対応することを求めています。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

問32 これまで発達の不安や障がいがあることによって差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたことはありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

→【問32で「1. ある」、または「2. 少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-1 差別を受けたり、嫌な思いをしたりした場所（場面）について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 公共施設や交通機関を利用するとき | 2. 職場や学校にいるとき |
| 3. お店を利用するとき | 4. 病院を利用するとき |
| 5. 仕事を探すとき | 6. 住む家を探すとき |
| 7. その他（ | ） |

→【問32で「1. ある」、または「2. 少しある」と回答した方にお聞きします。】

問32-2 差別を受けたり、嫌な思いをしたりしたのはどのようなことか教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 無視された |
| 2. じろじろ見られた |
| 3. 嫌なことを言われた |
| 4. 暴力をふるわれた |
| 5. 仲間はずれにされた |
| 6. 通いたい学校等への入学を拒否された |
| 7. 施設やお店の利用や交通機関への乗車を拒否された |
| 8. 建物の段差やトイレ等がバリアフリーになっていなかった |
| 9. 行事や活動に参加できなかった |
| 10. その他（ |
| ） |

将来についてお聞きします。

問33 お子さまには、将来どのように暮らしてほしいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 自立してひとりで暮らしてほしい | 2. 家族・親族と一緒に暮らしてほしい |
| 3. 友達など知り合いと一緒に暮らしてほしい | 4. グループホームで暮らしてほしい |
| 5. 障がい者施設で暮らしてほしい | 6. その他 () |
| 7. わからない | |

問34 お子さまには、将来どのような形で仕事に就いてほしいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 正社員など(常勤雇用) | 2. パート・アルバイト |
| 3. 自営業 | 4. 就労系福祉サービスを利用する仕事 |
| 5. その他 () | 6. わからない |

問35 学校を卒業後も円滑な日常生活または社会生活を送るために、学齢期に必要なと思う支援は何ですか。(あてはまるもの2つまで○)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 特性や課題に応じた学習支援 | 2. 職業訓練(職場体験・実習の場) |
| 3. ソーシャルスキル ^{*1} 訓練 | 4. ライフスキル ^{*2} |
| 5. 心身の健康管理 | 6. 仲間・友人づくり |
| 7. その他 () | |

*1：社会生活を送る上で人との関係を確立し、円滑な人間関係を維持する術(すべ)

*2：移動や買い物、福祉サービスの利用方法など生きていく術(すべ)

江別におけるお子さまの生活についてお聞きします。

問36 江別のまちは、発達の不安や障がいのあるお子さまとその保護者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|--------|-----------|
| 1. 暮らしやすい | 2. ふつう | 3. 暮らしにくい |
|-----------|--------|-----------|

【問36で、「3. 暮らしにくい」と回答した方にお聞きします。】

問36-1 暮らしにくいと思う理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 利用できる福祉サービスが十分でないこと |
| 2. 専門的な医療機関が少ないこと |
| 3. 子どもが安心して遊べる場所が少ないこと |
| 4. バスなどの交通の便が悪いこと |
| 5. 保育所等子どもを預ける場所が少ないこと |
| 6. 働く場所が少ないこと |
| 7. 発達の不安や障がいのある子のいる世帯への経済的な支援が不十分であること |
| 8. 発達の不安や障がいのある子の教育環境の整備が不十分であること |
| 9. その他 () |

障がい福祉施策についてお聞きします。

問37 江別市が今後、力を入れるべきことは何だと思いませんか。下記の各項目からあてはまると思うものを5つまで選んで○をつけてください。

5つまで○をつけてください。



相談支援・連携	相談・情報提供体制・窓口の整備	
	障がいや病気を早期発見し、適切な療育や医療が受けられるようにすること	
生活支援サービス	地域で安心して生活するための福祉サービスの充実 (ホームヘルプサービス・デイサービス・ショートステイなど)	
	福祉機器を普及・開発すること	
	福祉サービスの利用手続きを簡単にすること	
居住の場	地域移行に向けたグループホームなど、居住の場の確保	
	入所施設や病院を充実させること	
	障がいや病気を抱える方に配慮した道路・住宅・建物・公共交通機関などの整備やバリアフリー化	
就労支援・日中活動の場	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を充実させること	
	就労支援の充実	
社会参加・情報提供	外出する際の支援を充実させること	
	通常学級にできる限り通えるような体制を充実させること	
	市内に特別支援学校(養護学校)をつくること	
	放課後児童クラブなど放課後の活動の場を充実させること	
	社会参加活動に対する支援(スポーツ・文化活動などを含む)	
	障がいに対する偏見をなくする活動(理解を広めるための教育・広報活動など)	
	障がいのある方との交流や理解の促進	
	同じ障がいや病気をもつ方に悩みなどを相談できるようにすること	
経済的支援・人材確保	経済的な支援の充実	
	交通費助成制度の充実	
	福祉の専門的な人材確保・育成を充実させること	
	ボランティアの確保・育成を充実させること	
災害時の支援	防災対策の充実(避難誘導體制や訓練の充実など)	
	障がいや発達の特性に配慮した避難場所の充実	
	その他()	

地域の生活支援拠点についてお聞きます。

問38 今後、市内に地域生活支援拠点*¹となる場所ができた場合、どのような機能を期待しますか。
(あてはまるもの3つまで○)

※ 1：地域生活支援拠点とは…障がい者の重度化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能や地域支援機能（相談・緊急時の受入れ・地域体制づくりなど）を持つ場所や体制のことです。

1. 地域移行の推進や親元からの自立などの相談支援機能の充実
2. 緊急時のショートステイの受け入れ・対応
3. 親元からの自立に向けた、グループホームなど、日常生活体験の機会・場の提供
4. グループホームなど、空き室情報の把握などによる住まいの場の提供
5. 専門的人材の確保・養成
6. コーディネーターの配置など、地域の体制づくり
7. その他（ ）
8. 特にない

今後の子どもの福祉について

問39 今後の障がい児福祉施策や障害福祉サービスについて、ご本人、ご家族の意見や要望を自由にお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

この調査票は、同封の封筒（切手不要）に入れて、

9月18日（金）までに投函してください。

江別市 障がい福祉計画等策定に関するアンケート調査
江別市 子どもの福祉に関するアンケート調査
集計結果報告書

令和3（2021）年3月

江別市健康福祉部障がい福祉課障がい福祉係

電 話：011-381-1031

ファックス：011-381-1073

江別市健康福祉部子育て支援室子育て支援課子ども家庭係

電 話：011-381-1408

ファックス：011-381-1070

